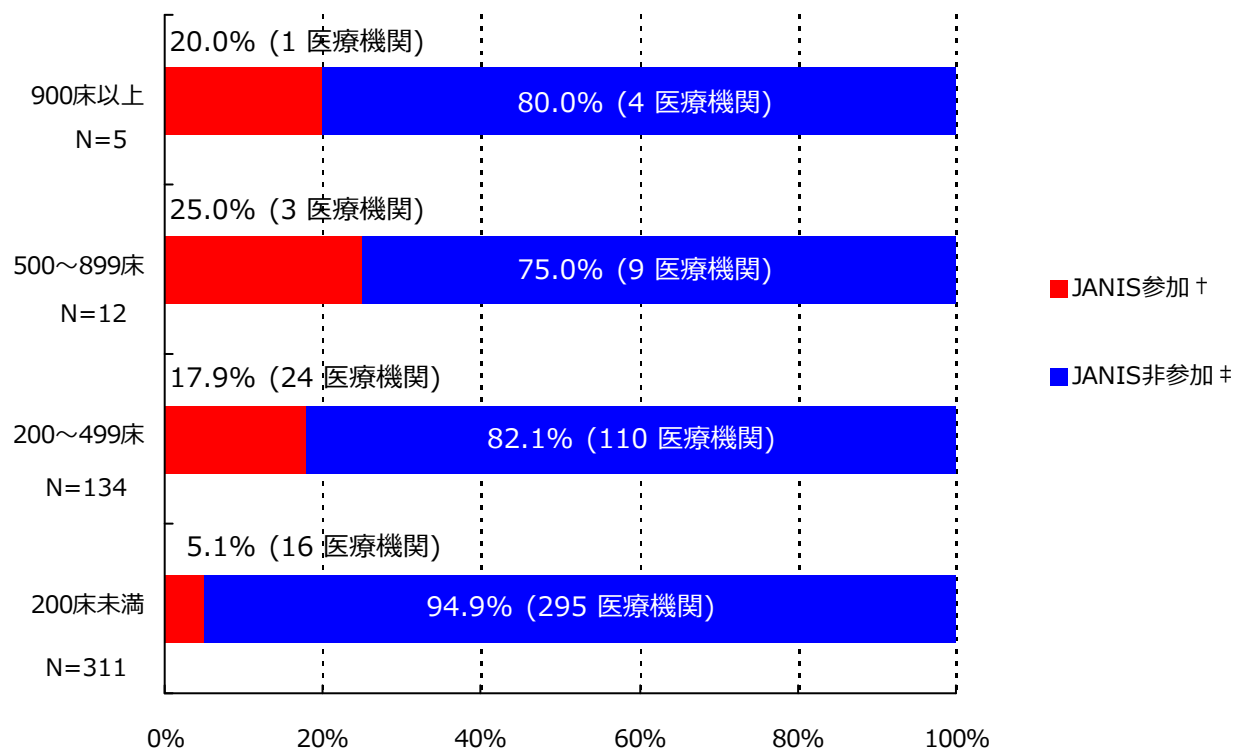


1. データ提出医療機関*数(44医療機関)



*ここではデータ提出医療機関は集計対象医療機関を表す

† JANIS参加 = 2018年1月～12月 集計対象医療機関数

‡ JANIS非参加 = (2017年 都道府県別医療機関数¶) - (2018年1月～12月 集計対象医療機関数)

病床数	2017年 都道府県別医療機関数¶	2018年1月～12月 集計対象医療機関数 (都道府県別医療機関数に占める割合)
900床以上	5	1 (20%)
500～899床	12	3 (25%)
200～499床	134	24 (17.9%)
200床未満	311	16 (5.1%)
病床数不明	-	0 (-)
合計	462	44 (9.5%)

¶2017年医療施設（動態）調査を参照した。

(福岡県)

公開情報 2018年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

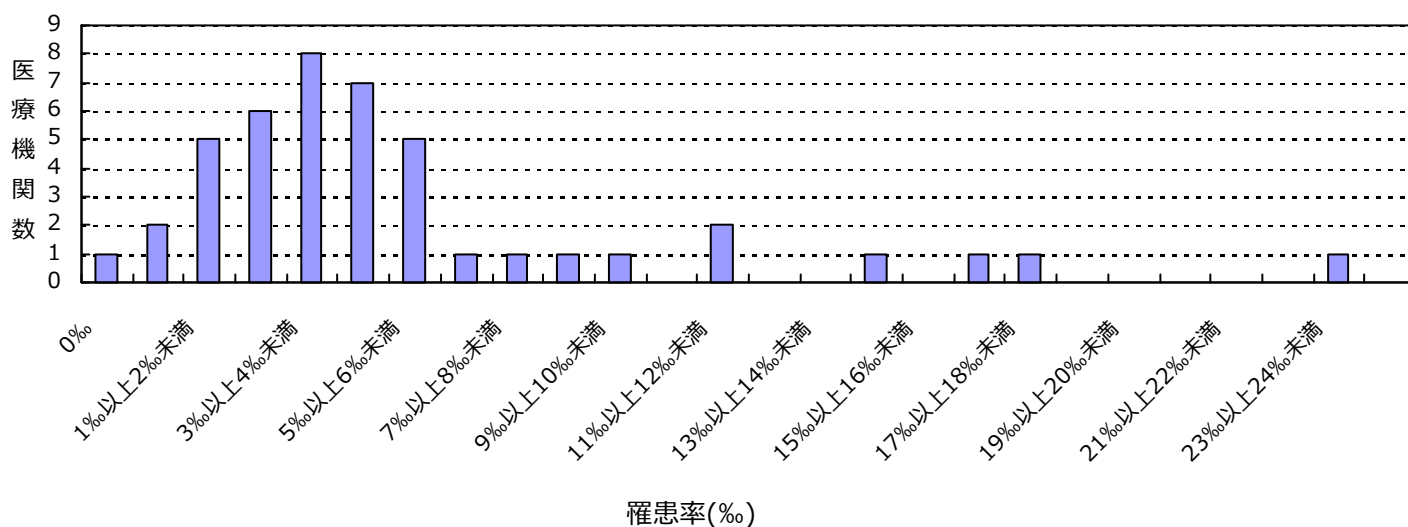


2. 新規感染症患者数と罹患率

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
MRSA	212,841	8	845	3.97%	0.00 3.91 23.26 H

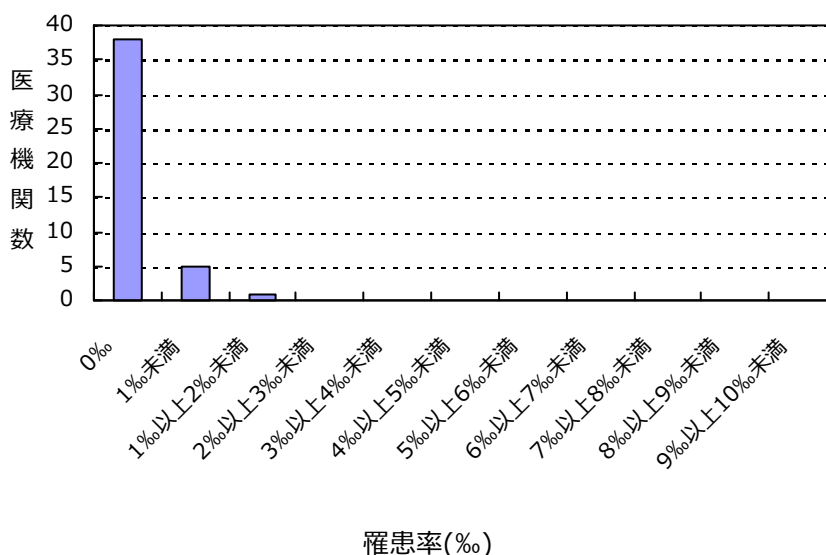
集計対象医療機関の罹患率(N=44)



ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
PRSP	212,841	0	6	0.03%	0.00 0.00 1.68 H

集計対象医療機関の罹患率(N=44)



(福岡県)

公開情報 2018年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)
院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

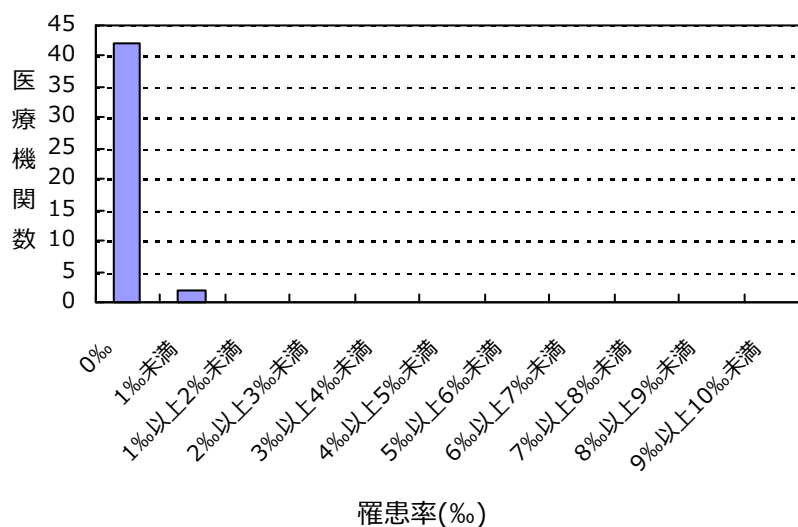


2. 新規感染症患者数と罹患率

多剤耐性緑膿菌(MDRP)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(‰)の分布
MDRP	212,841	0	2	0.01%	0.00 0.00 0.97

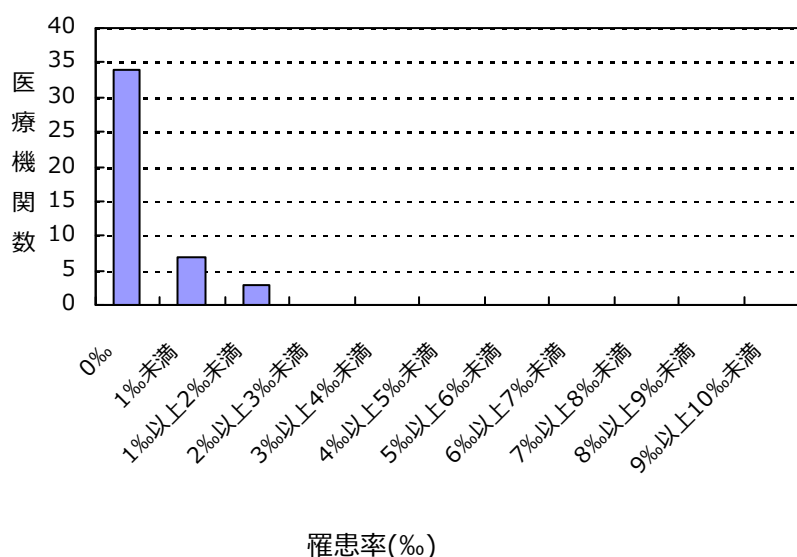
集計対象医療機関の罹患率(N=44)



カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(‰)の分布
CRE	212,841	0	28	0.13%	0.00 0.00 1.11

集計対象医療機関の罹患率(N=44)



(福岡県)

公開情報 2018年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌(VRSA)感染症の報告はありませんでした

バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性アシネトバクター属(MDRA)感染症の報告はありませんでした

総入院患者数、新規感染症患者数、罹患率の説明

総入院患者数 = (対象期間の各月の新規入院患者数の合計) + (対象期間の一番初めの月の継続入院患者数)

感染症患者数 = (新規感染症患者数) + (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)

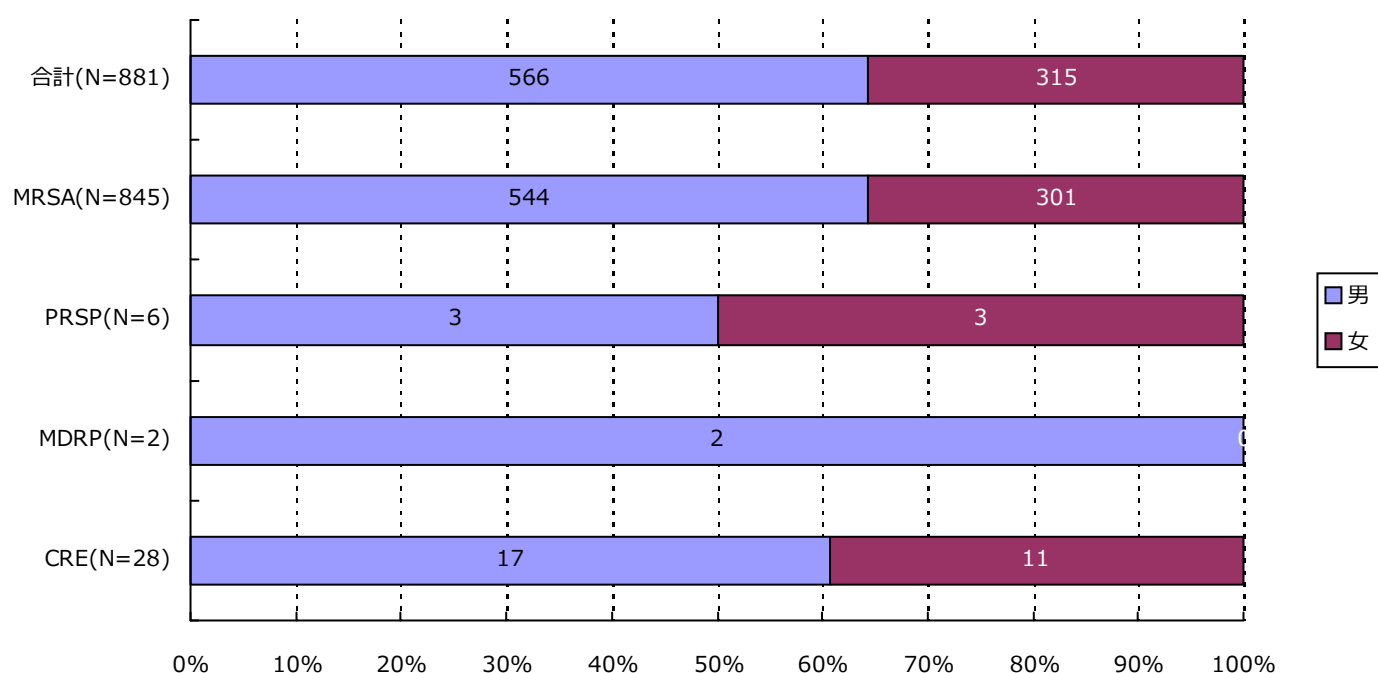
新規感染症患者数 = 対象期間の各月の新規感染症患者数の合計

継続感染症患者数 = 対象期間の一番初めの月より前に新規感染症患者とされ、対象期間の一番初めの月に改めて検査した際にも、継続的に同じ耐性菌に感染していた患者の数

罹患率 = (新規感染症患者数) ÷ ((総入院患者数) - (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)) × 1000

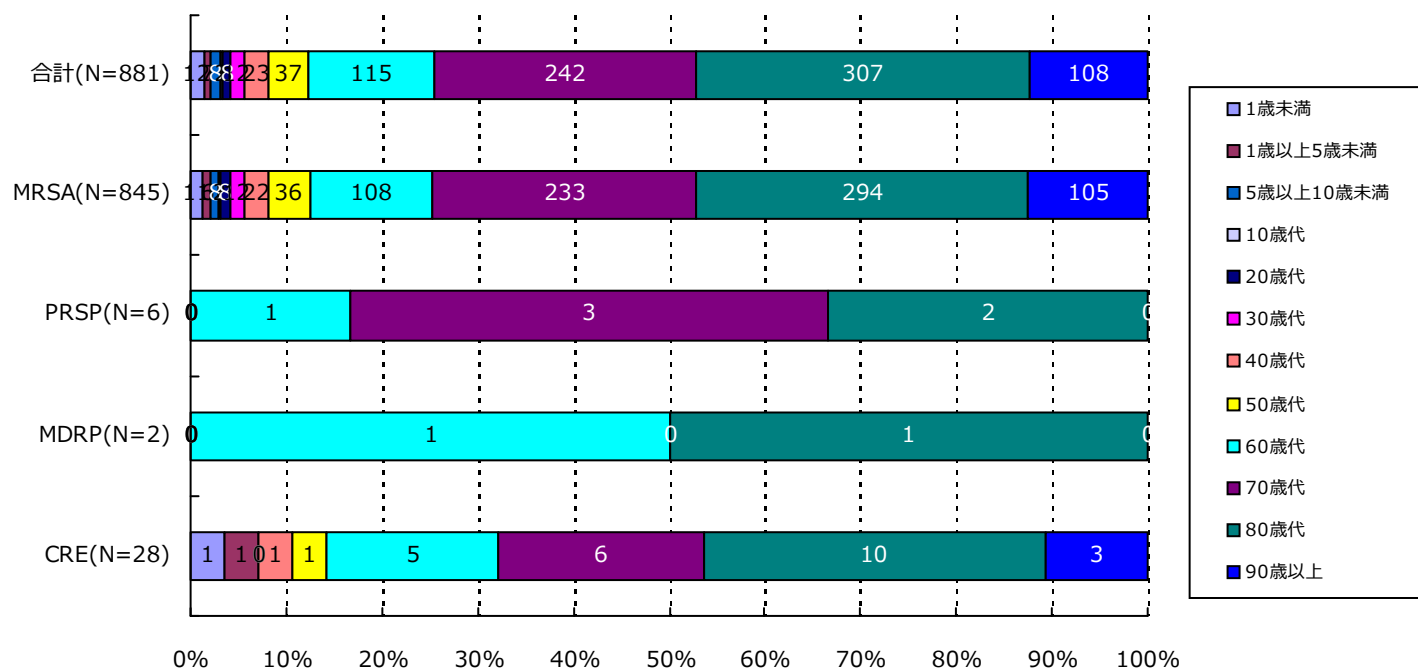
全体の罹患率 = (集計対象医療機関の新規感染症患者数合計) ÷ ((集計対象医療機関の総入院患者数合計) - (集計対象医療機関の対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数合計)) × 1000

3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳



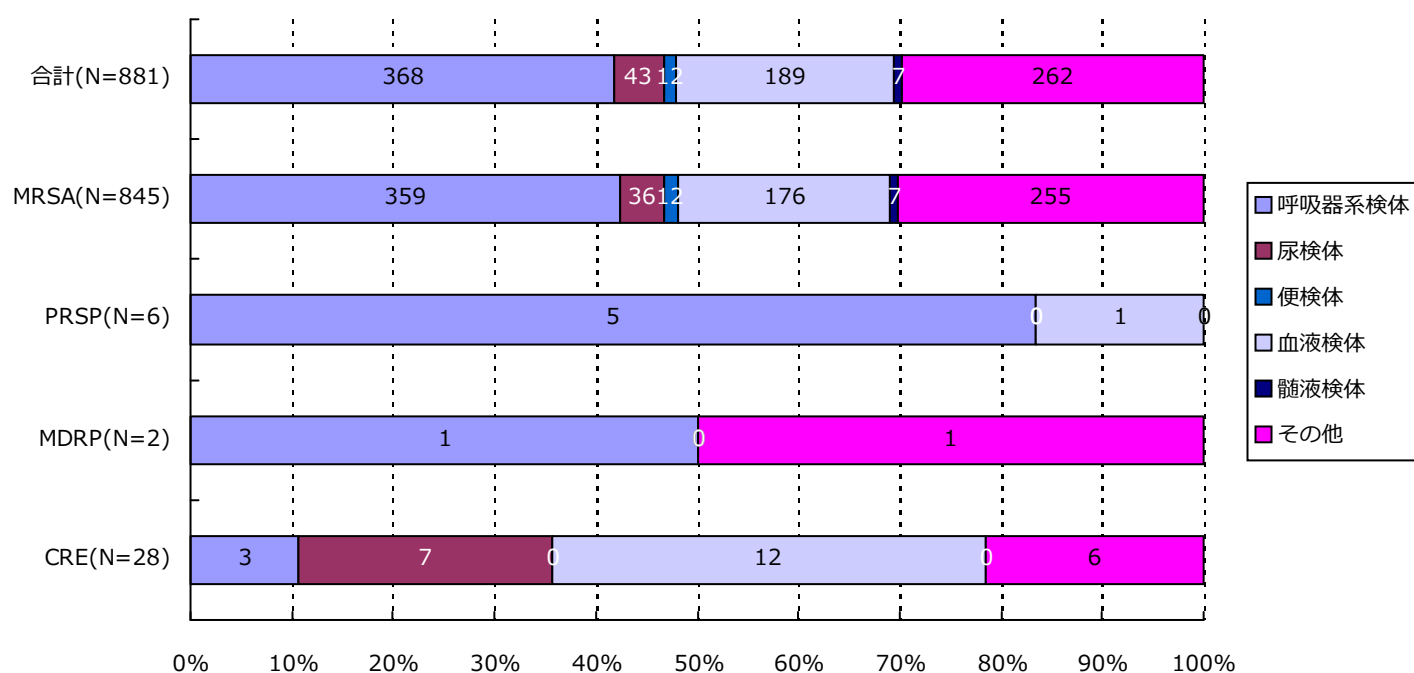
分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
男	566 (64.2%)	544 (64.4%)	0 (-)	0 (-)	3 (50.0%)	2 (100.0%)	0 (-)	17 (60.7%)
女	315 (35.8%)	301 (35.6%)	0 (-)	0 (-)	3 (50.0%)	0 (-)	0 (-)	11 (39.3%)
合計	881	845	0	0	6	2	0	28

4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
1歳未満	12(1.4%)	11(1.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(3.6%)
1歳以上5歳未満	7(0.8%)	6(0.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(3.6%)
5歳以上10歳未満	8(0.9%)	8(0.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
10歳代	2(0.2%)	2(0.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
20歳代	8(0.9%)	8(0.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
30歳代	12(1.4%)	12(1.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
40歳代	23(2.6%)	22(2.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(3.6%)
50歳代	37(4.2%)	36(4.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(3.6%)
60歳代	115(13.1%)	108(12.8%)	0(-)	0(-)	1(16.7%)	1(50.0%)	0(-)	5(17.9%)
70歳代	242(27.5%)	233(27.6%)	0(-)	0(-)	3(50.0%)	0(-)	0(-)	6(21.4%)
80歳代	307(34.8%)	294(34.8%)	0(-)	0(-)	2(33.3%)	1(50.0%)	0(-)	10(35.7%)
90歳以上	108(12.3%)	105(12.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	3(10.7%)
合計	881	845	0	0	6	2	0	28

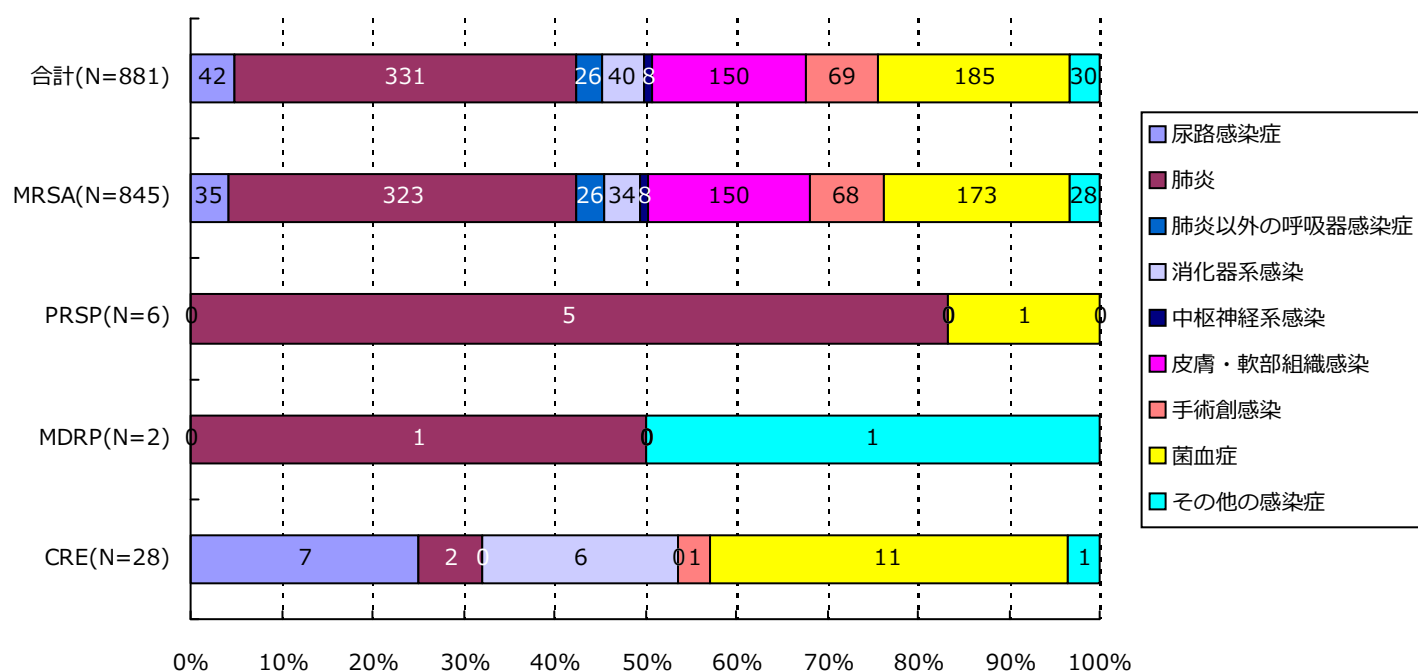
5. 耐性菌新規感染症患者の検体*内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
呼吸器系	368(41.8%)	359(42.5%)	0(-)	0(-)	5(83.3%)	1(50.0%)	0(-)	3(10.7%)
尿検体	43(4.9%)	36(4.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	7(25.0%)
便検体	12(1.4%)	12(1.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
血液検体	189(21.5%)	176(20.8%)	0(-)	0(-)	1(16.7%)	0(-)	0(-)	12(42.9%)
髄液検体	7(0.8%)	7(0.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	262(29.7%)	255(30.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(50.0%)	0(-)	6(21.4%)
合計	881	845	0	0	6	2	0	28

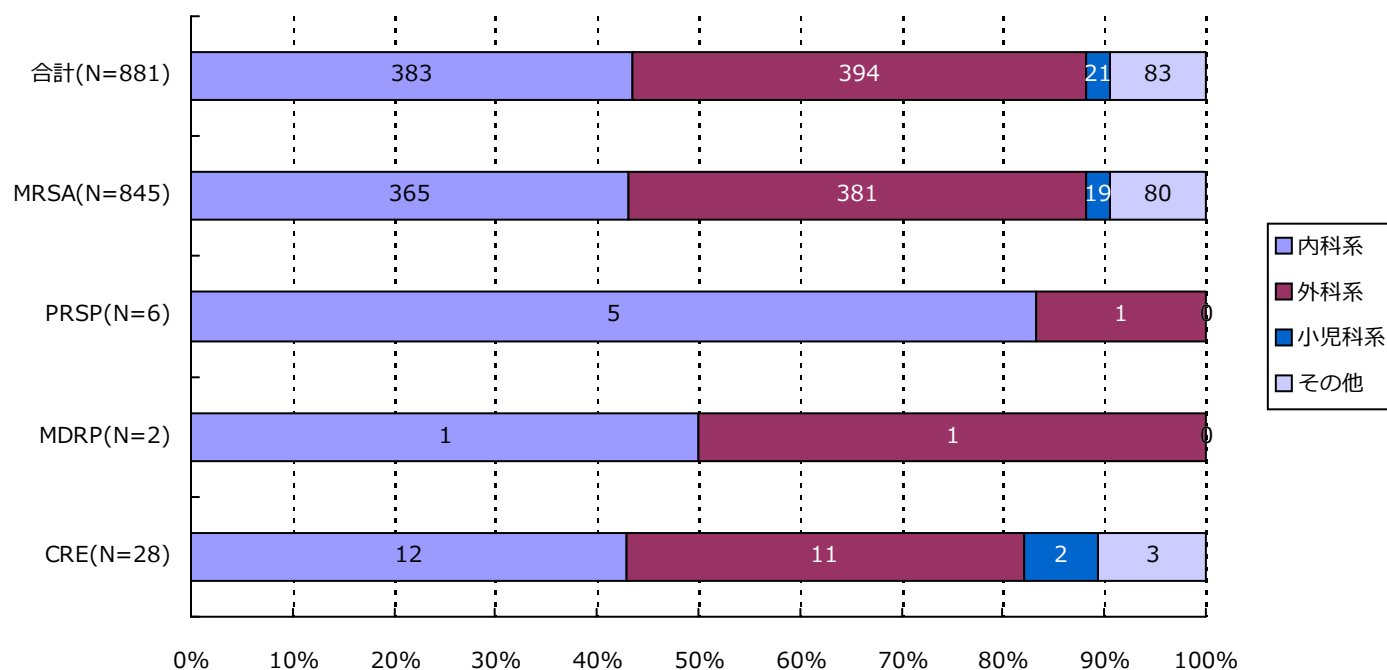
*検体区分については巻末の資料 1 を参照

6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
尿路	42(4.8%)	35(4.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	7(25.0%)
肺炎	331(37.6%)	323(38.2%)	0(-)	0(-)	5(83.3%)	1(50.0%)	0(-)	2(7.1%)
肺炎以外	26(3.0%)	26(3.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
消化器系	40(4.5%)	34(4.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	6(21.4%)
中枢神経系	8(0.9%)	8(0.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
皮膚・軟部	150(17.0%)	150(17.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
手術創	69(7.8%)	68(8.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(3.6%)
菌血症	185(21.0%)	173(20.5%)	0(-)	0(-)	1(16.7%)	0(-)	0(-)	11(39.3%)
その他	30(3.4%)	28(3.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(50.0%)	0(-)	1(3.6%)
合計	881	845	0	0	6	2	0	28

7. 耐性菌新規感染症患者の診療科*別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
内科系	383(43.5%)	365(43.2%)	0(-)	0(-)	5(83.3%)	1(50.0%)	0(-)	12(42.9%)
外科系	394(44.7%)	381(45.1%)	0(-)	0(-)	1(16.7%)	1(50.0%)	0(-)	11(39.3%)
小児科系	21(2.4%)	19(2.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	2(7.1%)
その他	83(9.4%)	80(9.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	3(10.7%)
合計	881	845	0	0	6	2	0	28

*診療科の内訳については巻末の資料2を参照

・資料 1

呼吸器系検体	喀出痰
	気管内採痰
	気管支洗浄液
	咽頭粘液
	鼻腔内
	口腔内
	生検材料(肺)
	胸水
	その他(呼吸器)
尿検体	自然排尿
	採尿カテーテル
	留置カテーテル
	カテーテル尿
便検体	糞便
血液検体	静脈血
	動脈血
髄液検体	髄液
その他	尿道分泌液
	膣分泌液
	胃・十二指腸液
	胆汁
	生検材料(消化管)
	腹水
	関節液
	その他

・資料 2

内科系	内科
	循環器内科
	神経内科
	呼吸器内科
	消化器内科
	胃腸科
	内分泌・代謝内科
	腎臓内科
	糖尿病内科
	アレルギー・膠原病内科
	膠原病内科
	アレルギー内科
	リウマチ内科
	血液内科
	感染症内科
	老人内科
	心療内科
	その他
神経科	
精神科	
放射線科	
総合診療部	
救急部	
救急・集中治療部	
集中治療部(ICU)	
冠動脈疾患集中治療部(CCU)	
内視鏡科	
透析科	
理学療法・リハビリテーション科	
理学療法科	
リハビリテーション科	
麻酔科	
その他	

外科系	外科
	消化器外科
	肛門科
	肝胆脾外科
	心臓血管外科
	内分泌外科
	呼吸器外科
	小児外科
	小児循環器外科
	小児消化器外科
	産婦人科
	産科
	婦人科
	整形外科
	美容外科
	眼科
	耳鼻咽喉科
	気管食道科
	泌尿器科
	皮膚・泌尿器科
皮膚科	
小児科系	脳神経外科
	形成外科
	歯科口腔外科
	歯科
	小児歯科
	矯正歯科
	口腔外科
	手術部
	移植・人工臓器科
	小児科
	新生児科
	新生児集中治療部(NICU)
周産期センター	

・資料 3 厚生労働省 院内感染対策サーベイランス 薬剤耐性菌 判定基準 (Ver.3.1)

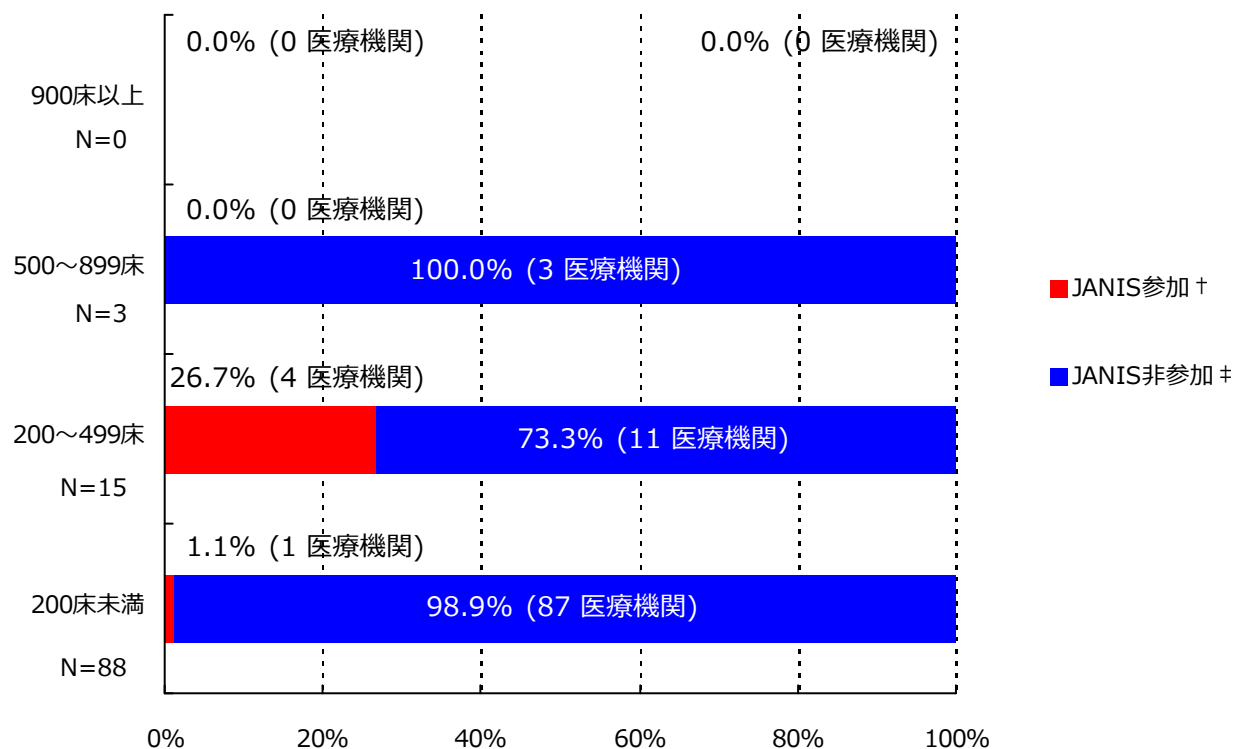
菌名	概要*	菌名コード	微量液体希釈法の基準*	ディスク拡散法の基準
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA)	MPIPC が “R” の <i>Staphylococcus aureus</i> (または CFX がディスク拡散法で “R”)、または選択培地で MRSA と確認された菌	1301、1303	MPIPC \geq 4 μ g/ml	MPIPC \leq 10mm または CFX \leq 21mm
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌 (VRSA)	VCM が微量液体希釈法で “R” の <i>Staphylococcus aureus</i>	1301、1303-1306	VCM \geq 16 μ g/ml	
バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)	下記のいずれかの条件を満たす <i>Enterococcus</i> spp. ・ VCM が微量液体希釈法で耐性 + ・ VCM がディスク拡散法で “R” ・ 選択培地で VRE と確認された菌 注) 種の同定が行われていない <i>Enterococcus</i> sp. は除く	1201、1202、1205、1206、1209、1210、1213-1217	VCM \geq 16 μ g/ml +	VCM \leq 14mm
ペニシリン耐性肺炎球菌 (PRSP)	PCG が微量液体希釈法で耐性 +、または MPIPC がディスク拡散法で “S 以外” の <i>Streptococcus pneumoniae</i>	1131	PCG \geq 0.125 μ g/ml +	MPIPC \leq 19mm または PCG が試薬会社の基準で “S 以外” (例 \leq 23mm) †
多剤耐性緑膿菌 (MDRP)	下記のすべての条件を満たす <i>Pseudomonas aeruginosa</i> ・ カルバペネム系 (IPM、MEPM のいずれか) が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (NFLX、OFLX、LVFX、LFLX、CPFX、GFLX のいずれか)	4001	IPM・MEPM \geq 16 μ g/ml + AMK \geq 32 μ g/ml + NFLX \geq 16 μ g/ml OFLX・LVFX・LFLX・GFLX \geq 8 μ g/ml CPFX \geq 4 μ g/ml	IPM・MEPM \leq 13mm + AMK \leq 14mm NFLX・OFLX \leq 12mm LVFX \leq 13mm、LFLX \leq 18mm CPFX \leq 15mm、GFLX \leq 14mm
多剤耐性アシネトバクター属 (MDRA)	下記のすべての条件を満たす <i>Acinetobacter</i> spp. ・ カルバペネム系が “R” (IPM、MEPM のいずれか) ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (LVFX、CPFX、GFLX のいずれか)	4400-4403	IPM・MEPM \geq 16 μ g/ml AMK \geq 32 μ g/ml + LVFX・GFLX \geq 8 μ g/ml CPFX \geq 4 μ g/ml	IPM・MEPM \leq 13mm AMK \leq 14mm LVFX \leq 13mm、GFLX \leq 14mm CPFX \leq 15mm
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌 (CRE)	下記のいずれかの条件を満たす腸内細菌科細菌 ・ MEPM が耐性 + ・ IPM が耐性 +、かつ CMZ が “R”	2000-2691、3150-3151	MEPM \geq 2 μ g/ml + IPM \geq 2 μ g/ml + かつ CMZ \geq 64 μ g/ml	MEPM \leq 22mm IPM \leq 22mm、かつ CMZ \leq 12mm

* 原則 S,I,R の判定は CLSI2012(M100-S22)に準拠

+ 感染症発生动向調査の基準に準拠

‡ PR(I)SP のスクリーニングにディスク拡散法で PCG を用いることは推奨されていないが、国内の現状を考慮し採用

1. データ提出医療機関*数(5医療機関)



*ここではデータ提出医療機関は集計対象医療機関を表す

† JANIS参加 = 2018年1月～12月 集計対象医療機関数

‡ JANIS非参加 = (2017年 都道府県別医療機関数¶) - (2018年1月～12月 集計対象医療機関数)

病床数	2017年 都道府県別医療機関数¶	2018年1月～12月 集計対象医療機関数 (都道府県別医療機関数に占める割合)
900床以上	0	0 (-)
500～899床	3	0 (0%)
200～499床	15	4 (26.7%)
200床未満	88	1 (1.1%)
病床数不明	-	0 (-)
合計	106	5 (4.7%)

¶2017年医療施設（動態）調査を参照した。

(佐賀県)

公開情報 2018年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

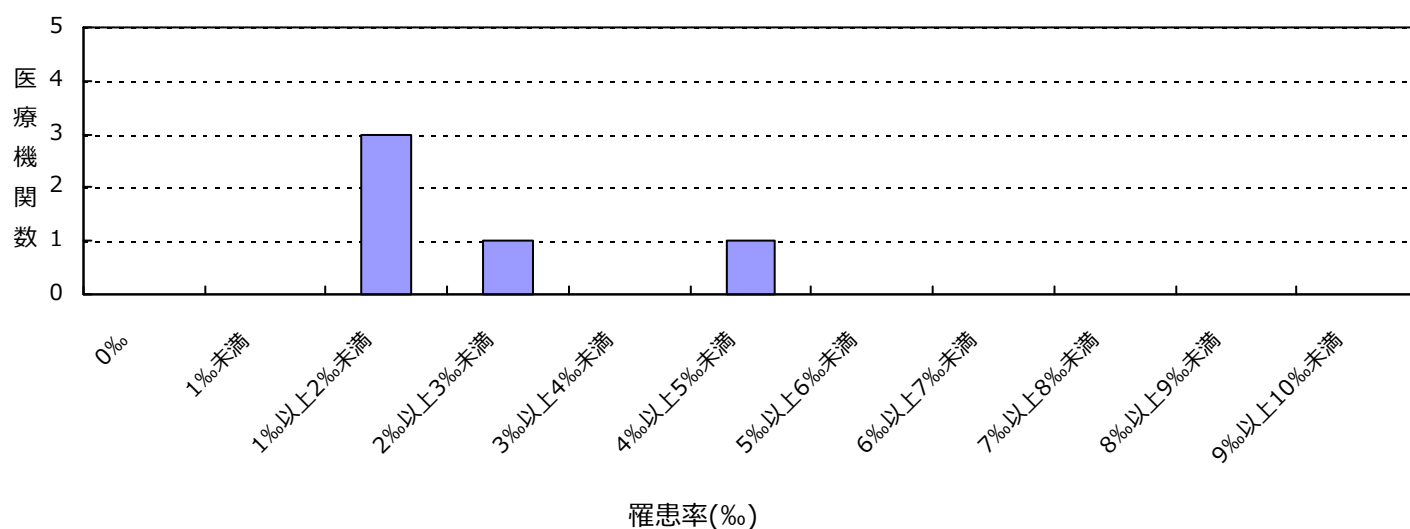


2. 新規感染症患者数と罹患率

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
MRSA	34,520	2	84	2.43%	1.03 1.52 4.22

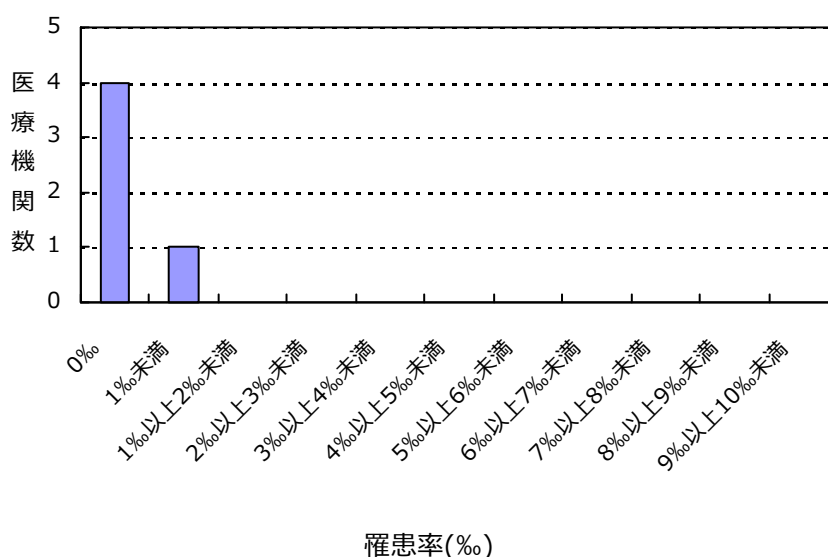
集計対象医療機関の罹患率(N=5)



ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
PRSP	34,520	0	7	0.20%	0.00 0.00 0.55

集計対象医療機関の罹患率(N=5)



(佐賀県)

公開情報 2018年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

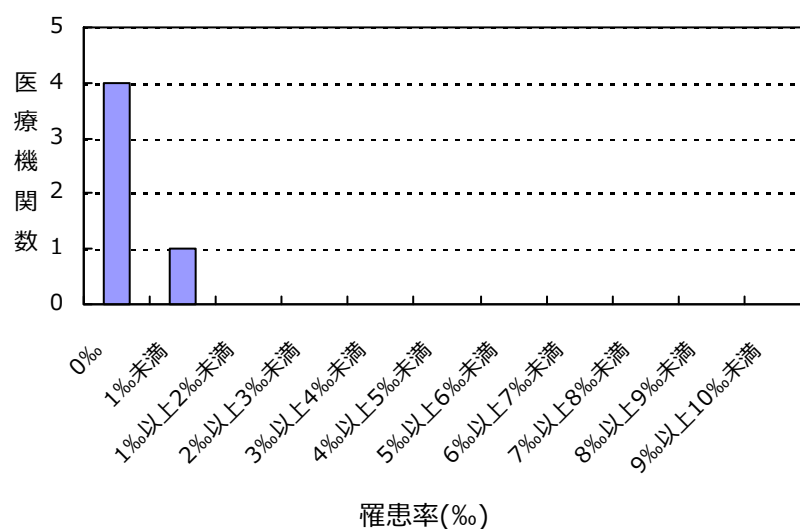


2. 新規感染症患者数と罹患率

多剤耐性緑膿菌(MDRP)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(‰)の分布
MDRP	34,520	0	1	0.03%	0.00 0.00 0.08

集計対象医療機関の罹患率(N=5)



(佐賀県)

公開情報 2018年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌(VRSA)感染症の報告はありませんでした

バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性アシネトバクター属(MDRA)感染症の報告はありませんでした

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE)感染症の報告はありませんでした

総入院患者数、新規感染症患者数、罹患率の説明

総入院患者数 = (対象期間の各月の新規入院患者数の合計) + (対象期間の一番初めの月の継続入院患者数)

感染症患者数 = (新規感染症患者数) + (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)

新規感染症患者数 = 対象期間の各月の新規感染症患者数の合計

継続感染症患者数 = 対象期間の一番初めの月より前に新規感染症患者とされ、対象期間の一番初めの月に改めて検査した際にも、継続的に同じ耐性菌に感染していた患者の数

罹患率 = (新規感染症患者数) ÷ ((総入院患者数) - (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)) × 1000

全体の罹患率 = (集計対象医療機関の新規感染症患者数合計) ÷ ((集計対象医療機関の総入院患者数合計) - (集計対象医療機関の対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数合計)) × 1000

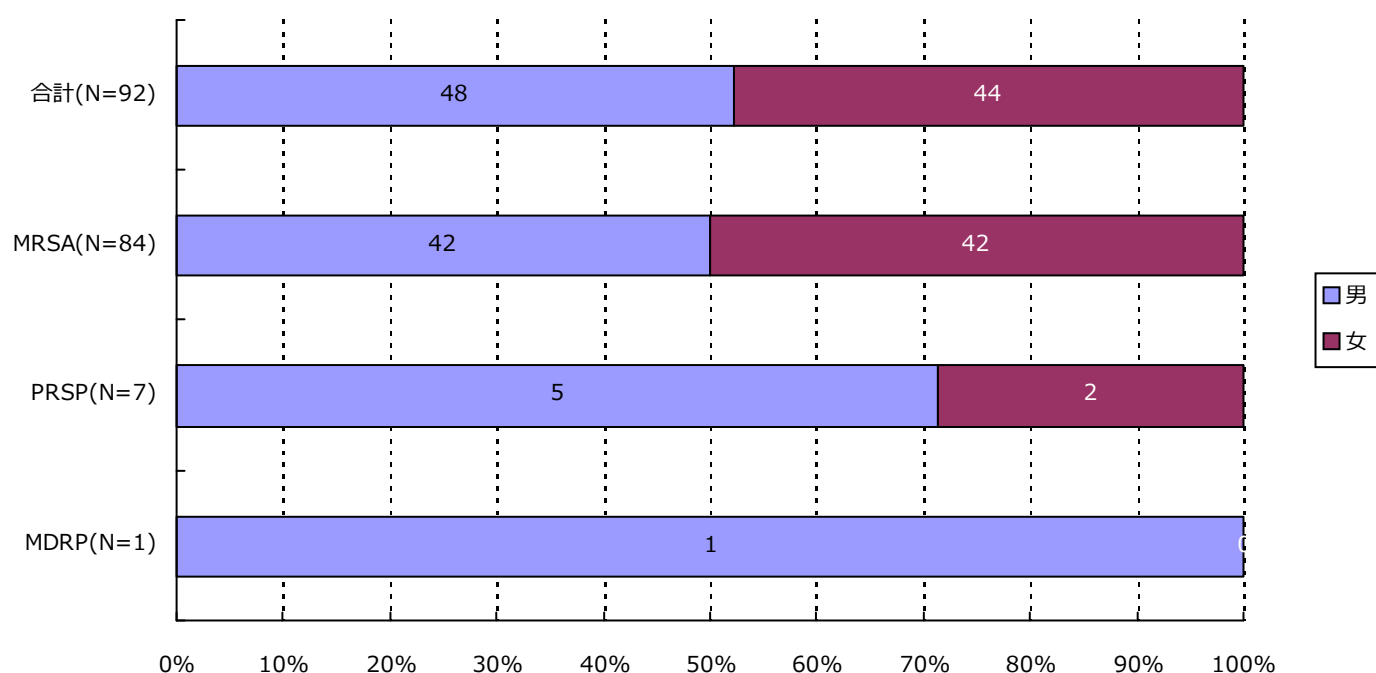
(佐賀県)

公開情報 2018年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
男	48 (52.2%)	42 (50.0%)	0 (-)	0 (-)	5 (71.4%)	1 (100.0%)	0 (-)	0 (-)
女	44 (47.8%)	42 (50.0%)	0 (-)	0 (-)	2 (28.6%)	0 (-)	0 (-)	0 (-)
合計	92	84	0	0	7	1	0	0

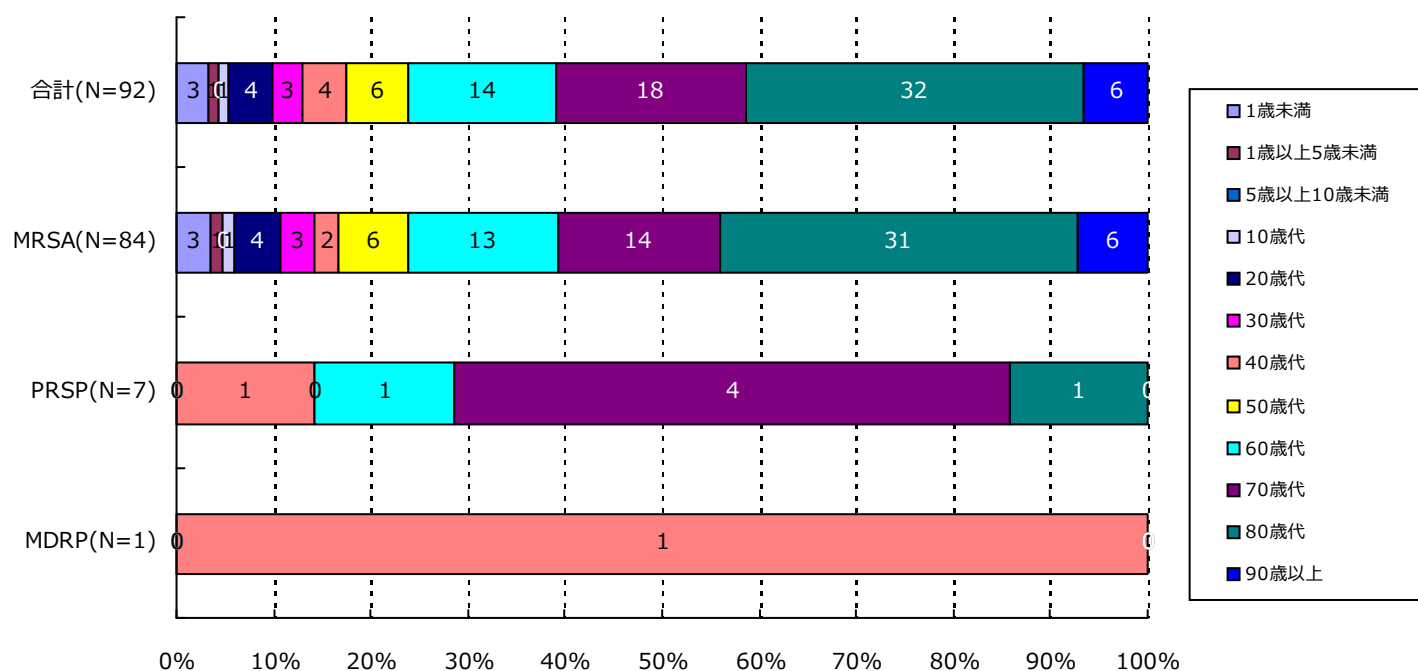
(佐賀県)

公開情報 2018年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
1歳未満	3(3.3%)	3(3.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
1歳以上5歳未満	1(1.1%)	1(1.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
5歳以上10歳未満	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
10歳代	1(1.1%)	1(1.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
20歳代	4(4.3%)	4(4.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
30歳代	3(3.3%)	3(3.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
40歳代	4(4.3%)	2(2.4%)	0(-)	0(-)	1(14.3%)	1(100.0%)	0(-)	0(-)
50歳代	6(6.5%)	6(7.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
60歳代	14(15.2%)	13(15.5%)	0(-)	0(-)	1(14.3%)	0(-)	0(-)	0(-)
70歳代	18(19.6%)	14(16.7%)	0(-)	0(-)	4(57.1%)	0(-)	0(-)	0(-)
80歳代	32(34.8%)	31(36.9%)	0(-)	0(-)	1(14.3%)	0(-)	0(-)	0(-)
90歳以上	6(6.5%)	6(7.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	92	84	0	0	7	1	0	0

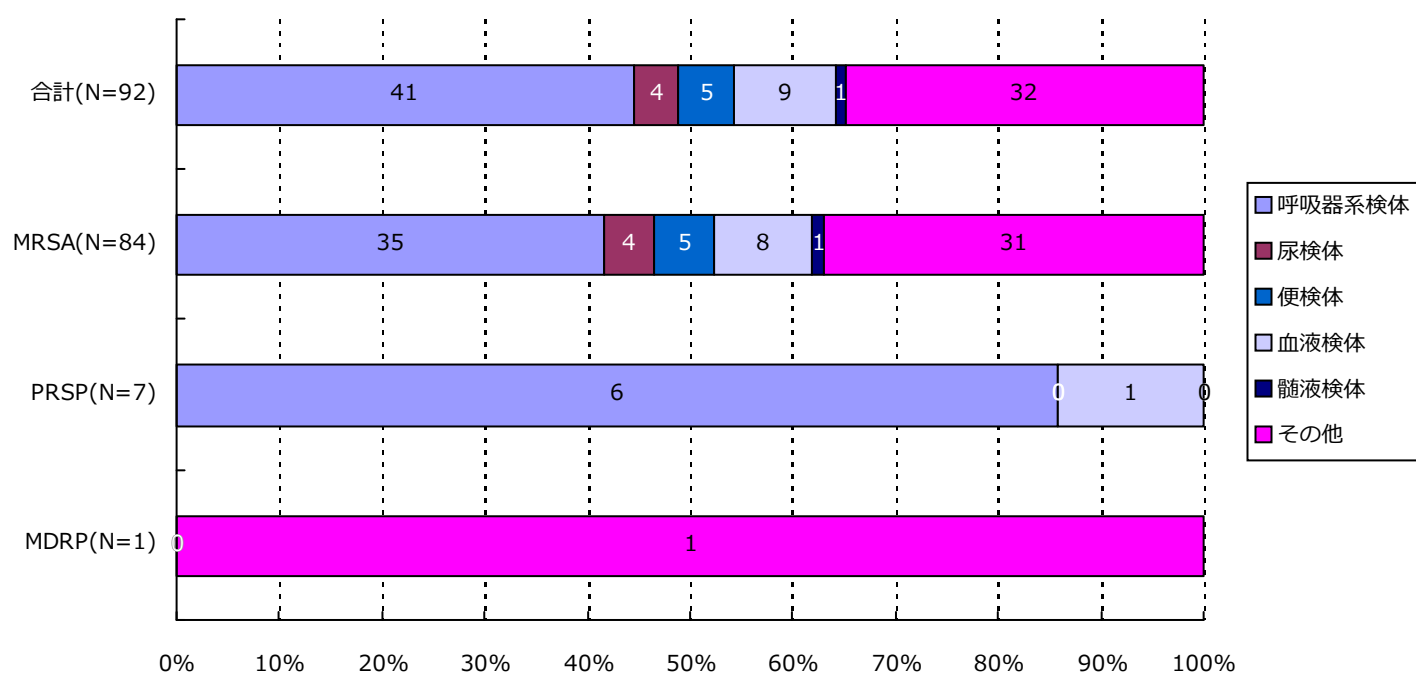
(佐賀県)

公開情報 2018年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



5. 耐性菌新規感染症患者の検体*内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
呼吸器系	41(44.6%)	35(41.7%)	0(-)	0(-)	6(85.7%)	0(-)	0(-)	0(-)
尿検体	4(4.3%)	4(4.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
便検体	5(5.4%)	5(6.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
血液検体	9(9.8%)	8(9.5%)	0(-)	0(-)	1(14.3%)	0(-)	0(-)	0(-)
髄液検体	1(1.1%)	1(1.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	32(34.8%)	31(36.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(100.0%)	0(-)	0(-)
合計	92	84	0	0	7	1	0	0

*検体区分については巻末の資料 1 を参照

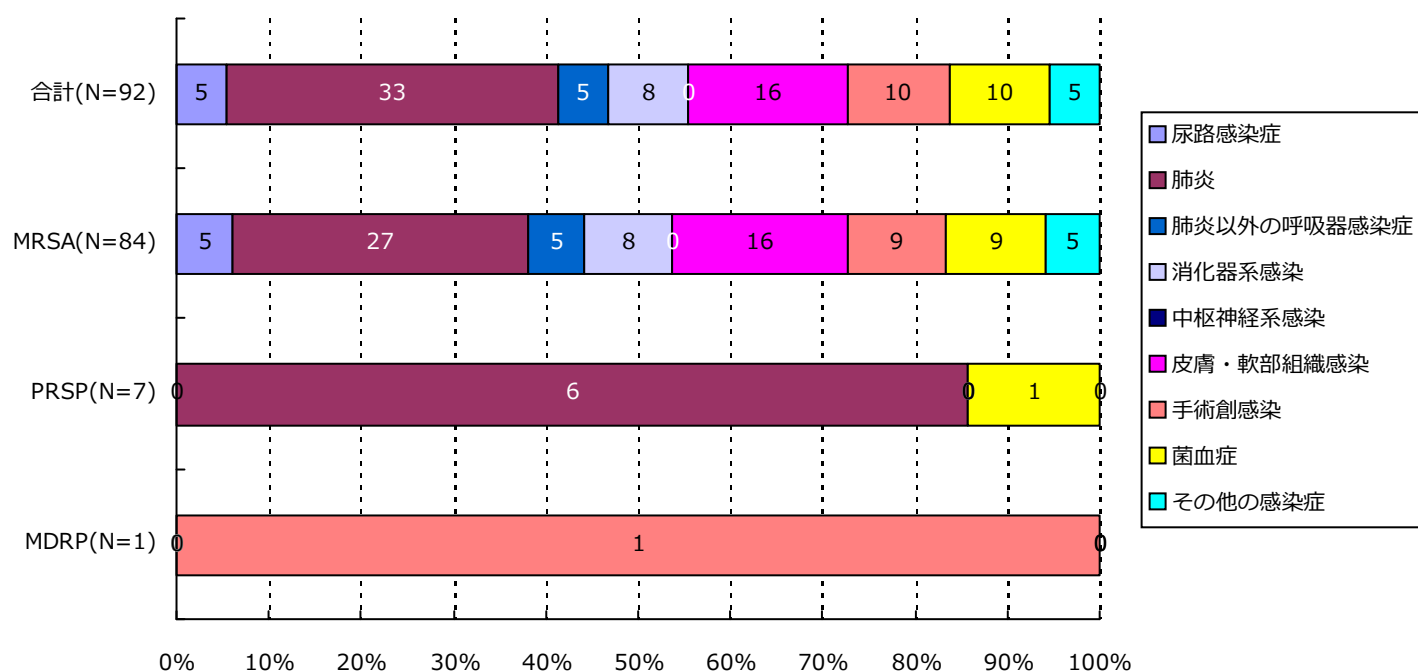
(佐賀県)

公開情報 2018年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
尿路	5(5.4%)	5(6.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
肺炎	33(35.9%)	27(32.1%)	0(-)	0(-)	6(85.7%)	0(-)	0(-)	0(-)
肺炎以外	5(5.4%)	5(6.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
消化器系	8(8.7%)	8(9.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
中枢神経系	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
皮膚・軟部	16(17.4%)	16(19.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
手術創	10(10.9%)	9(10.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(100.0%)	0(-)	0(-)
菌血症	10(10.9%)	9(10.7%)	0(-)	0(-)	1(14.3%)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	5(5.4%)	5(6.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	92	84	0	0	7	1	0	0

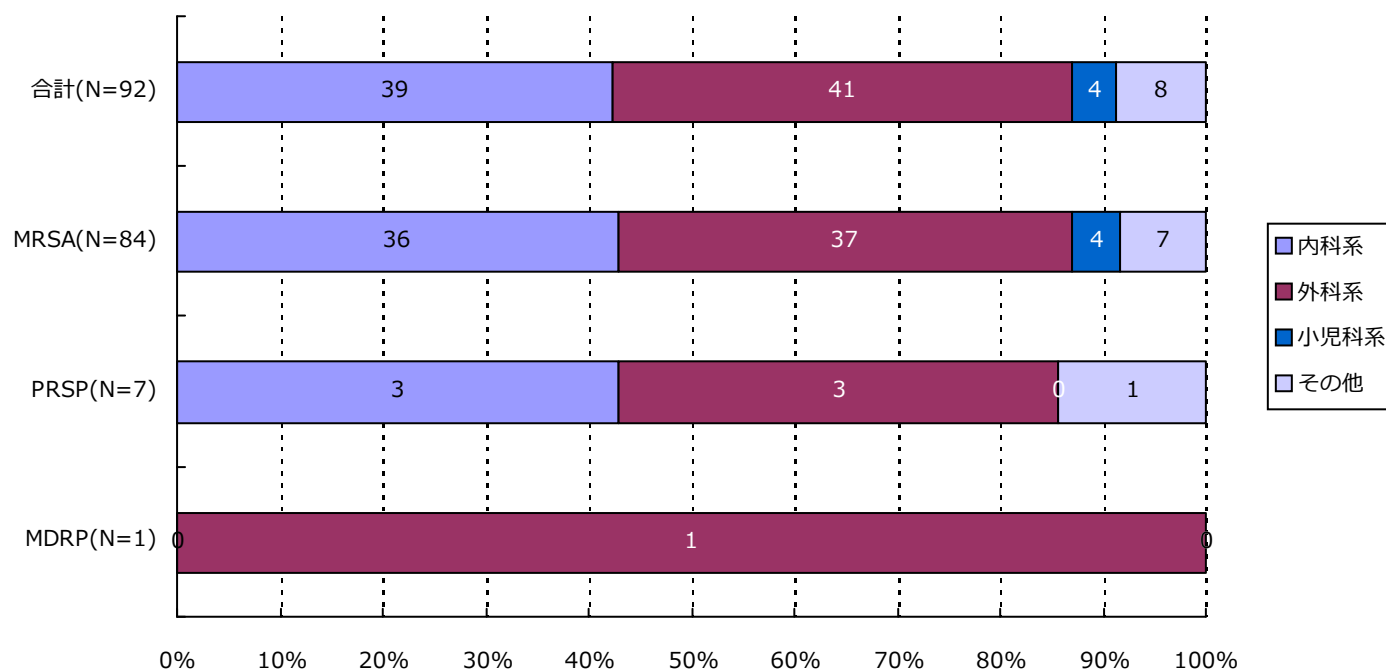
(佐賀県)

公開情報 2018年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



7. 耐性菌新規感染症患者の診療科*別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
内科系	39(42.4%)	36(42.9%)	0(-)	0(-)	3(42.9%)	0(-)	0(-)	0(-)
外科系	41(44.6%)	37(44.0%)	0(-)	0(-)	3(42.9%)	1(100.0%)	0(-)	0(-)
小児科系	4(4.3%)	4(4.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	8(8.7%)	7(8.3%)	0(-)	0(-)	1(14.3%)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	92	84	0	0	7	1	0	0

*診療科の内訳については巻末の資料2を参照

・資料 1

呼吸器系検体	喀出痰
	気管内採痰
	気管支洗浄液
	咽頭粘液
	鼻腔内
	口腔内
	生検材料(肺)
	胸水
	その他(呼吸器)
尿検体	自然排尿
	採尿カテーテル
	留置カテーテル
	カテーテル尿
便検体	糞便
血液検体	静脈血
	動脈血
髄液検体	髄液
その他	尿道分泌液
	膣分泌液
	胃・十二指腸液
	胆汁
	生検材料(消化管)
	腹水
	関節液
	その他

・資料 2

内科系	内科	外科系	外科
	循環器内科		消化器外科
	神経内科		肛門科
	呼吸器内科		肝胆脾外科
	消化器内科		心臓血管外科
	胃腸科		内分泌外科
	内分泌・代謝内科		呼吸器外科
	腎臓内科		小児外科
	糖尿病内科		小児循環器外科
	アレルギー・膠原病内科		小児消化器外科
	膠原病内科		産婦人科
	アレルギー内科		産科
	リウマチ内科		婦人科
	血液内科		整形外科
	感染症内科		美容外科
その他	老人内科	眼科	
	心療内科	耳鼻咽喉科	
	性病科	気管食道科	
	神経科	泌尿器科	
	精神科	皮膚・泌尿器科	
	放射線科	皮膚科	
	総合診療部	脳神経外科	
	救急部	形成外科	
	救急・集中治療部	歯科口腔外科	
	集中治療部(ICU)	歯科	
	冠動脈疾患集中治療部(CCU)	小児歯科	
	内視鏡科	矯正歯科	
	透析科	口腔外科	
	理学療法・リハビリテーション科	手術部	
	理学療法科	移植・人工臓器科	
	リハビリテーション科	小児科系	小児科
	麻酔科		新生児科
	その他		新生児集中治療部(NICU)
			周産期センター

・資料 3 厚生労働省 院内感染対策サーベイランス 薬剤耐性菌 判定基準 (Ver.3.1)

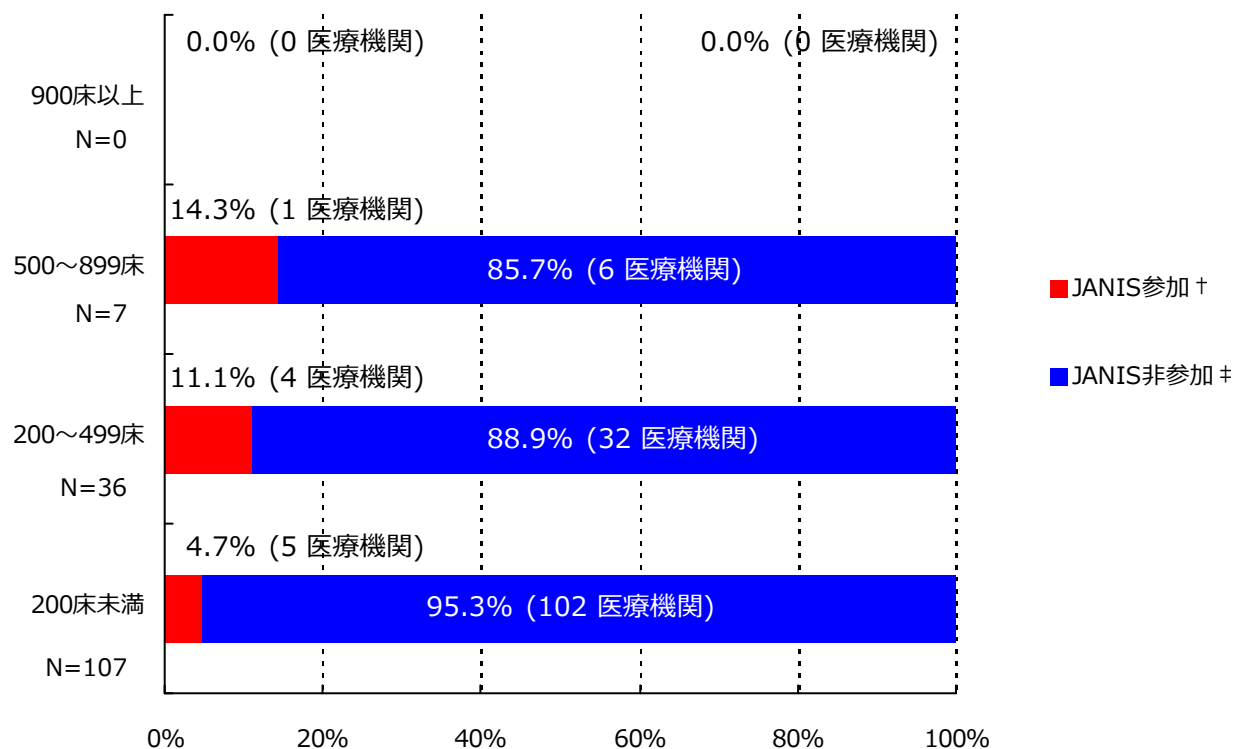
菌名	概要*	菌名コード	微量液体希釈法の基準*	ディスク拡散法の基準
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA)	MPIPC が “R” の <i>Staphylococcus aureus</i> (または CFX がディスク拡散法で “R”)、または選択培地で MRSA と確認された菌	1301、1303	MPIPC \geq 4 μ g/ml	MPIPC \leq 10mm または CFX \leq 21mm
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌 (VRSA)	VCM が微量液体希釈法で “R” の <i>Staphylococcus aureus</i>	1301、1303-1306	VCM \geq 16 μ g/ml	
バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)	下記のいずれかの条件を満たす <i>Enterococcus</i> spp. ・ VCM が微量液体希釈法で耐性 + ・ VCM がディスク拡散法で “R” ・ 選択培地で VRE と確認された菌 注) 種の同定が行われていない <i>Enterococcus</i> sp. は除く	1201、1202、1205、1206、1209、1210、1213-1217	VCM \geq 16 μ g/ml +	VCM \leq 14mm
ペニシリン耐性肺炎球菌 (PRSP)	PCG が微量液体希釈法で耐性 +、または MPIPC がディスク拡散法で “S 以外” の <i>Streptococcus pneumoniae</i>	1131	PCG \geq 0.125 μ g/ml +	MPIPC \leq 19mm または PCG が試薬会社の基準で “S 以外” (例 \leq 23mm) ‡
多剤耐性緑膿菌 (MDRP)	下記のすべての条件を満たす <i>Pseudomonas aeruginosa</i> ・ カルバペネム系 (IPM、MEPM のいずれか) が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (NFLX、OFLX、LVFX、LFLX、CPFX、GFLX のいずれか)	4001	IPM・MEPM \geq 16 μ g/ml + AMK \geq 32 μ g/ml + NFLX \geq 16 μ g/ml OFLX・LVFX・LFLX・GFLX \geq 8 μ g/ml CPFX \geq 4 μ g/ml	IPM・MEPM \leq 13mm + AMK \leq 14mm NFLX・OFLX \leq 12mm LVFX \leq 13mm、LFLX \leq 18mm CPFX \leq 15mm、GFLX \leq 14mm
多剤耐性アシネトバクター属 (MDRA)	下記のすべての条件を満たす <i>Acinetobacter</i> spp. ・ カルバペネム系が “R” (IPM、MEPM のいずれか) ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (LVFX、CPFX、GFLX のいずれか)	4400-4403	IPM・MEPM \geq 16 μ g/ml AMK \geq 32 μ g/ml + LVFX・GFLX \geq 8 μ g/ml CPFX \geq 4 μ g/ml	IPM・MEPM \leq 13mm AMK \leq 14mm LVFX \leq 13mm、GFLX \leq 14mm CPFX \leq 15mm
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌 (CRE)	下記のいずれかの条件を満たす腸内細菌科細菌 ・ MEPM が耐性 + ・ IPM が耐性 +、かつ CMZ が “R”	2000-2691、3150-3151	MEPM \geq 2 μ g/ml + IPM \geq 2 μ g/ml + かつ CMZ \geq 64 μ g/ml	MEPM \leq 22mm IPM \leq 22mm、かつ CMZ \leq 12mm

* 原則 S,I,R の判定は CLSI2012(M100-S22)に準拠

+ 感染症発生動向調査の基準に準拠

‡ PR(I)SP のスクリーニングにディスク拡散法で PCG を用いることは推奨されていないが、国内の現状を考慮し採用

1. データ提出医療機関*数(10医療機関)



*ここではデータ提出医療機関は集計対象医療機関を表す

† JANIS参加 = 2018年1月～12月 集計対象医療機関数

‡ JANIS非参加 = (2017年 都道府県別医療機関数¶) - (2018年1月～12月 集計対象医療機関数)

病床数	2017年 都道府県別医療機関数¶	2018年1月～12月 集計対象医療機関数 (都道府県別医療機関数に占める割合)
900床以上	0	0 (-)
500～899床	7	1 (14.3%)
200～499床	36	4 (11.1%)
200床未満	107	5 (4.7%)
病床数不明	-	0 (-)
合計	150	10 (6.7%)

¶2017年医療施設（動態）調査を参照した。

(長崎県)

公開情報 2018年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

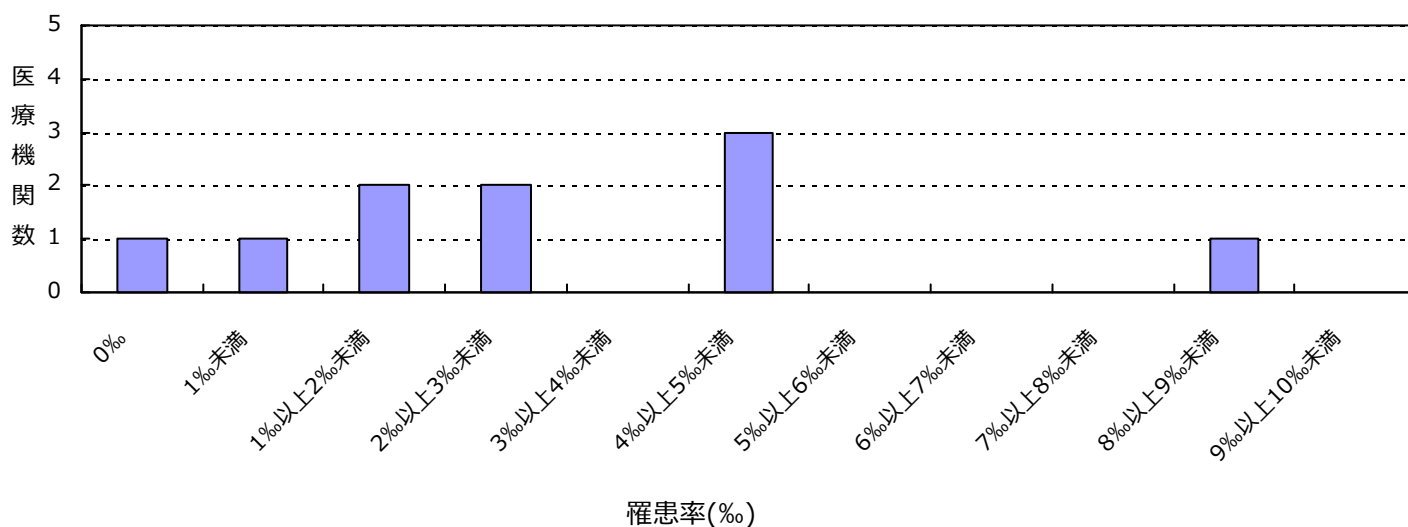


2. 新規感染症患者数と罹患率

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
MRSA	54,014	4	178	3.30%	0.00 2.86 8.34 ----- -----

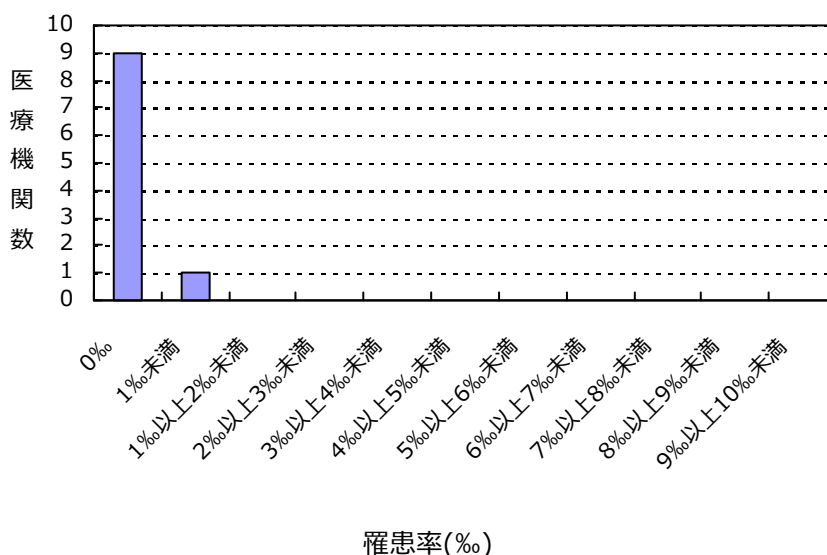
集計対象医療機関の罹患率(N=10)



ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
PRSP	54,014	0	1	0.02%	0.00 0.00 0.14 ----- -----

集計対象医療機関の罹患率(N=10)



(長崎県)

公開情報 2018年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)
院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

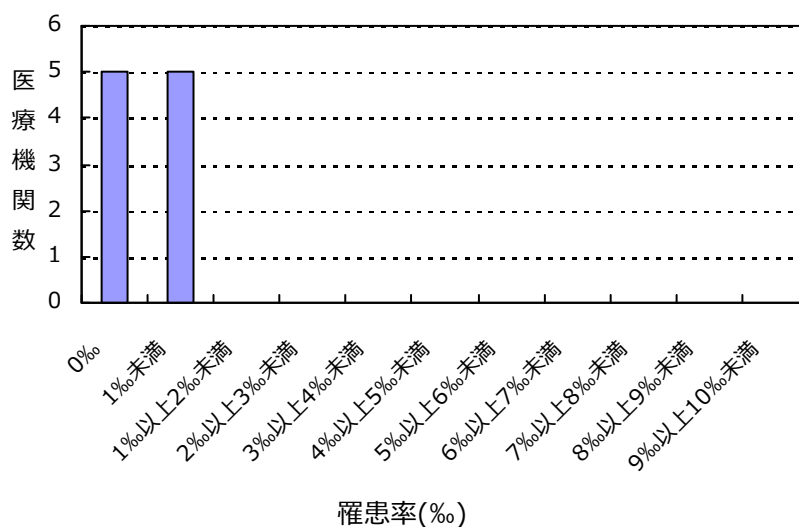


2. 新規感染症患者数と罹患率

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(‰)の分布
CRE	54,014	0	7	0.13‰	0.00 0.03 0.29

集計対象医療機関の罹患率(N=10)



(長崎県)

公開情報 2018年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌(VRSA)感染症の報告はありませんでした

バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性緑膿菌(MDRP)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性アシネトバクター属(MDRA)感染症の報告はありませんでした

総入院患者数、新規感染症患者数、罹患率の説明

総入院患者数 = (対象期間の各月の新規入院患者数の合計) + (対象期間の一番初めの月の継続入院患者数)

感染症患者数 = (新規感染症患者数) + (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)

新規感染症患者数 = 対象期間の各月の新規感染症患者数の合計

継続感染症患者数 = 対象期間の一番初めの月より前に新規感染症患者とされ、対象期間の一番初めの月に改めて検査した際にも、継続的に同じ耐性菌に感染していた患者の数

罹患率 = (新規感染症患者数) ÷ ((総入院患者数) - (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)) × 1000

全体の罹患率 = (集計対象医療機関の新規感染症患者数合計) ÷ ((集計対象医療機関の総入院患者数合計) - (集計対象医療機関の対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数合計)) × 1000

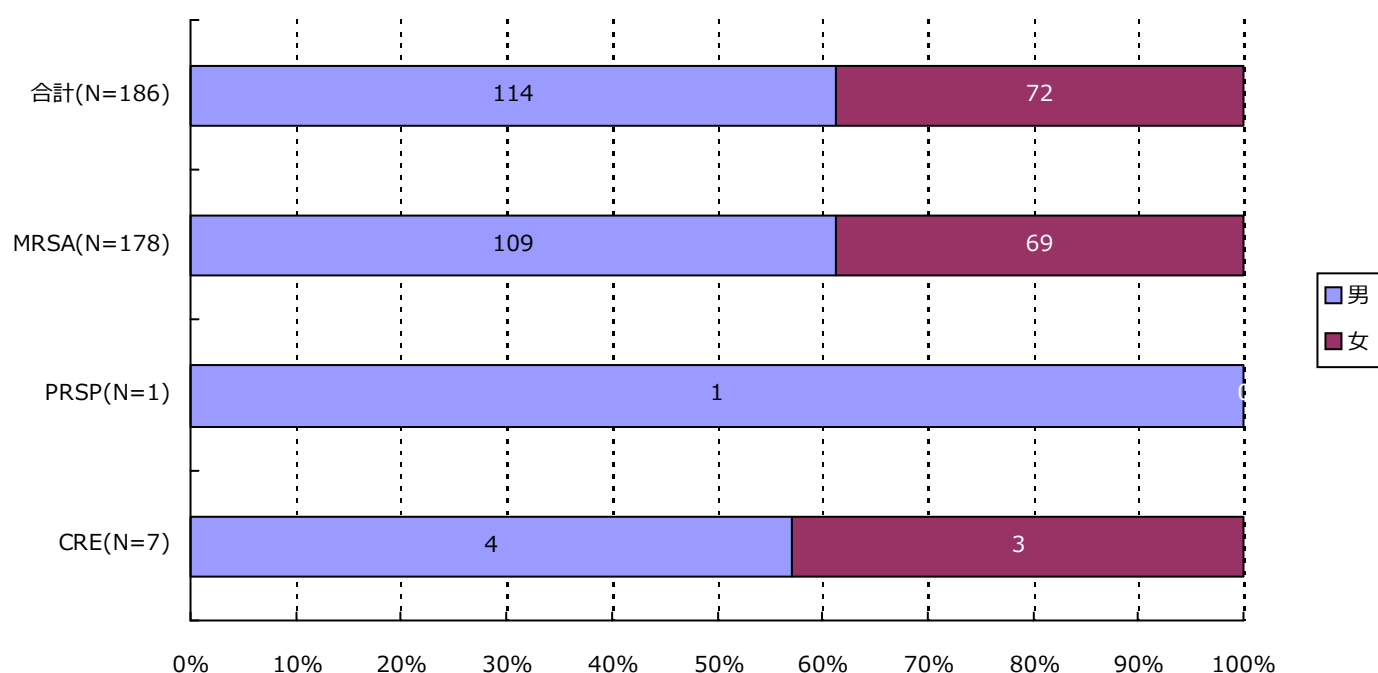
(長崎県)

公開情報 2018年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
男	114 (61.3%)	109 (61.2%)	0 (-)	0 (-)	1 (100.0%)	0 (-)	0 (-)	4 (57.1%)
女	72 (38.7%)	69 (38.8%)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	3 (42.9%)
合計	186	178	0	0	1	0	0	7

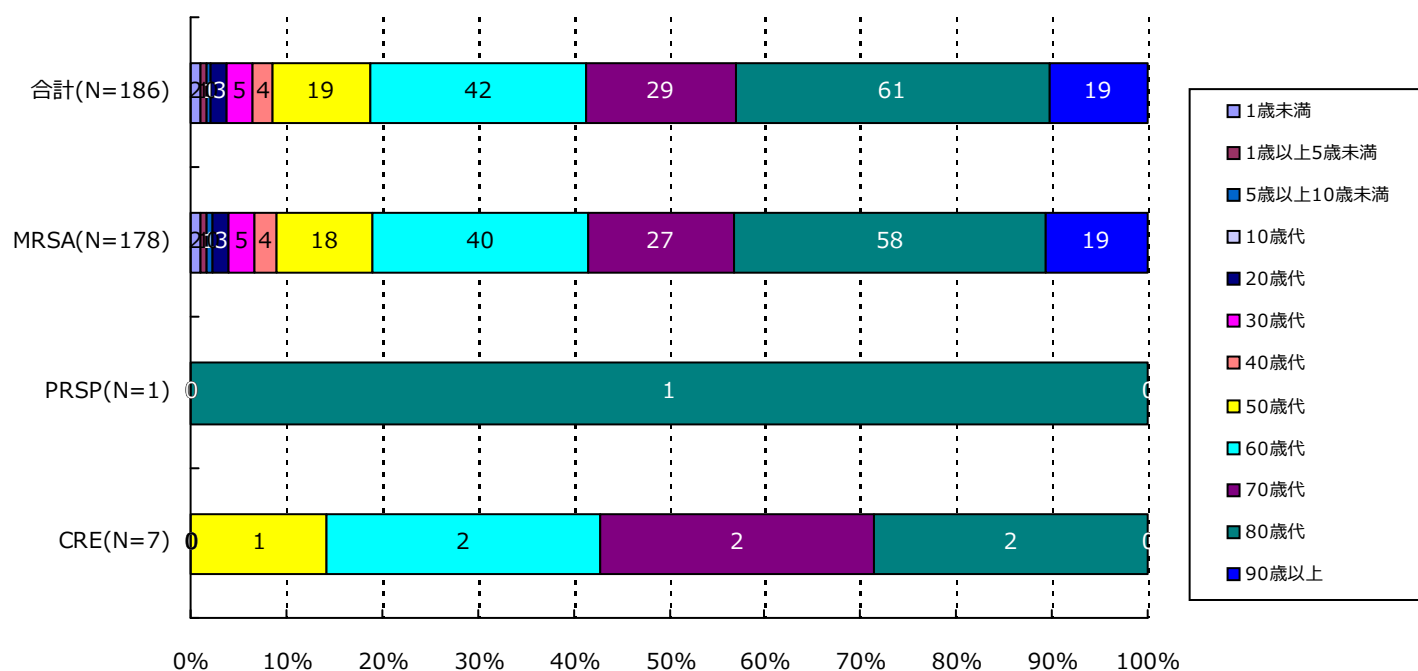
(長崎県)

公開情報 2018年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

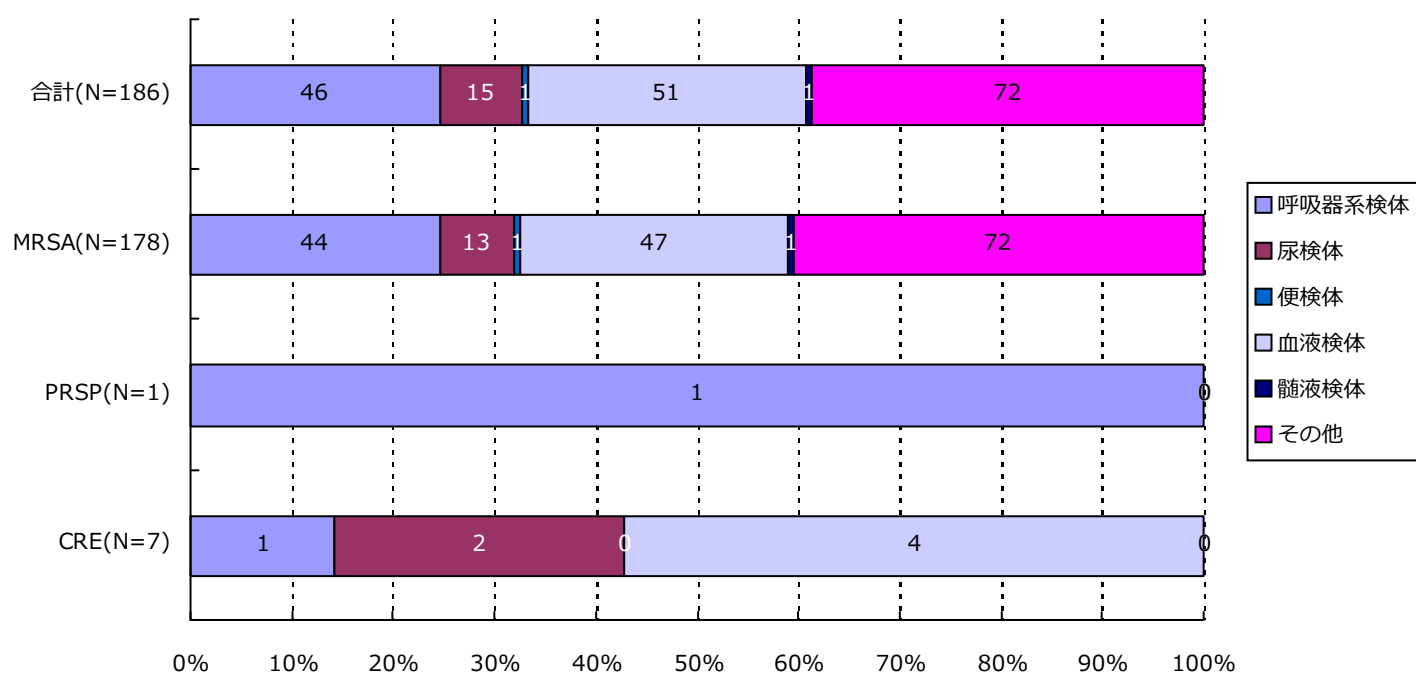


4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
1歳未満	2(1.1%)	2(1.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
1歳以上5歳未満	1(0.5%)	1(0.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
5歳以上10歳未満	1(0.5%)	1(0.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
10歳代	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
20歳代	3(1.6%)	3(1.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
30歳代	5(2.7%)	5(2.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
40歳代	4(2.2%)	4(2.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
50歳代	19(10.2%)	18(10.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(14.3%)
60歳代	42(22.6%)	40(22.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	2(28.6%)
70歳代	29(15.6%)	27(15.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	2(28.6%)
80歳代	61(32.8%)	58(32.6%)	0(-)	0(-)	1(100.0%)	0(-)	0(-)	2(28.6%)
90歳以上	19(10.2%)	19(10.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	186	178	0	0	1	0	0	7

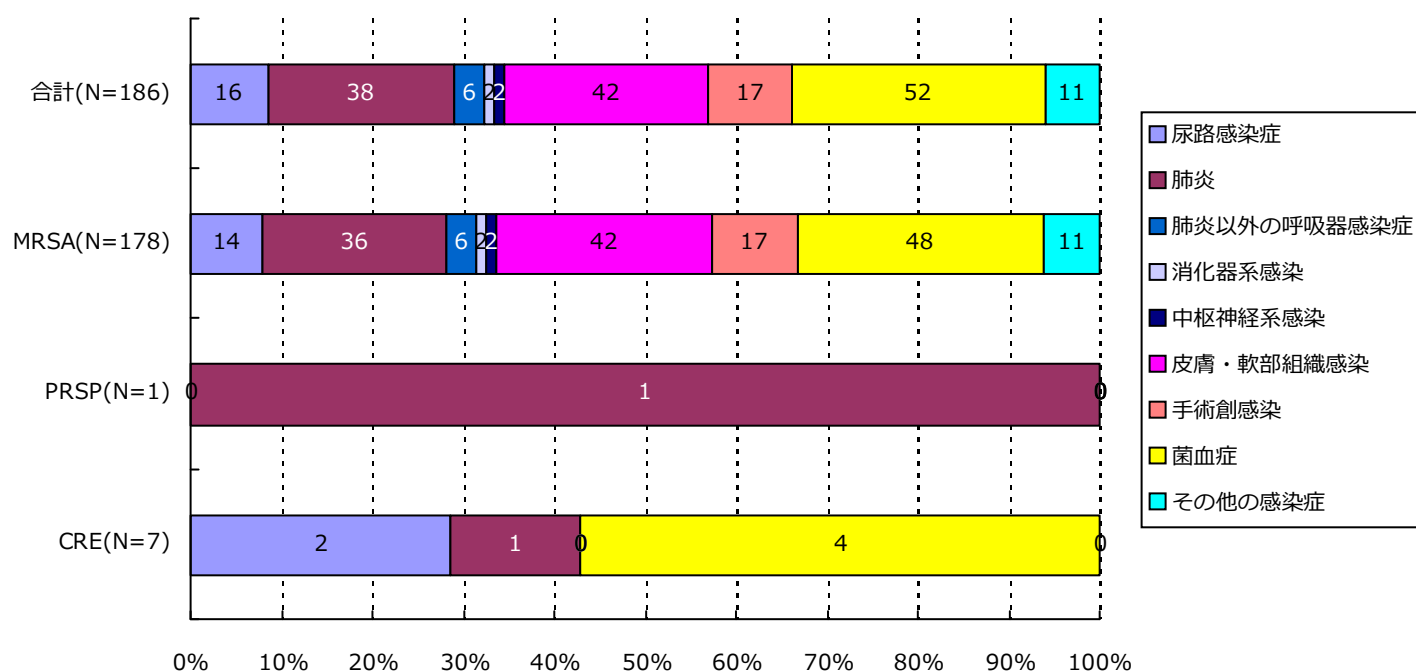
5. 耐性菌新規感染症患者の検体*内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
呼吸器系	46(24.7%)	44(24.7%)	0(-)	0(-)	1(100.0%)	0(-)	0(-)	1(14.3%)
尿検体	15(8.1%)	13(7.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	2(28.6%)
便検体	1(0.5%)	1(0.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
血液検体	51(27.4%)	47(26.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	4(57.1%)
髄液検体	1(0.5%)	1(0.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	72(38.7%)	72(40.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	186	178	0	0	1	0	0	7

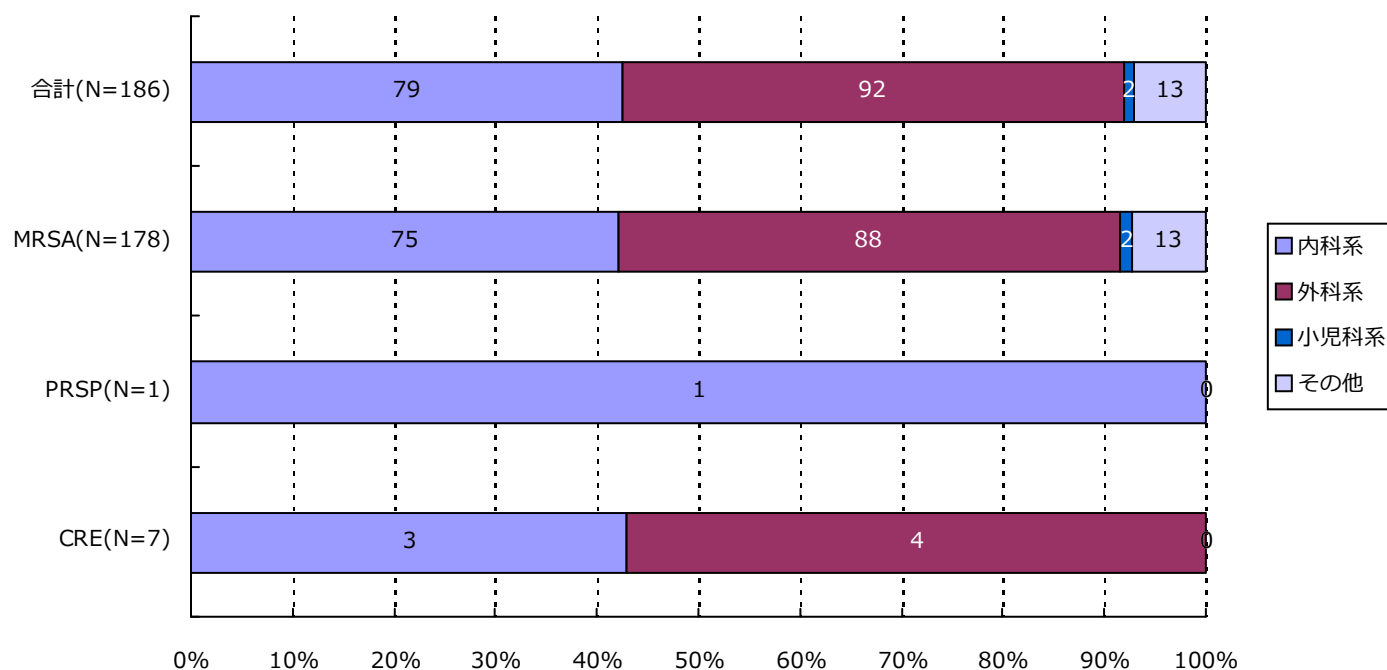
*検体区分については巻末の資料 1 を参照

6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
尿路	16(8.6%)	14(7.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	2(28.6%)
肺炎	38(20.4%)	36(20.2%)	0(-)	0(-)	1(100.0%)	0(-)	0(-)	1(14.3%)
肺炎以外	6(3.2%)	6(3.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
消化器系	2(1.1%)	2(1.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
中枢神経系	2(1.1%)	2(1.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
皮膚・軟部	42(22.6%)	42(23.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
手術創	17(9.1%)	17(9.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
菌血症	52(28.0%)	48(27.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	4(57.1%)
その他	11(5.9%)	11(6.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	186	178	0	0	1	0	0	7

7. 耐性菌新規感染症患者の診療科*別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
内科系	79(42.5%)	75(42.1%)	0(-)	0(-)	1(100.0%)	0(-)	0(-)	3(42.9%)
外科系	92(49.5%)	88(49.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	4(57.1%)
小児科系	2(1.1%)	2(1.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	13(7.0%)	13(7.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	186	178	0	0	1	0	0	7

*診療科の内訳については巻末の資料2を参照

・資料 1

呼吸器系検体	喀出痰
	気管内採痰
	気管支洗浄液
	咽頭粘液
	鼻腔内
	口腔内
	生検材料(肺)
	胸水
	その他(呼吸器)
尿検体	自然排尿
	採尿カテーテル
	留置カテーテル
	カテーテル尿
便検体	糞便
血液検体	静脈血
	動脈血
髄液検体	髄液
その他	尿道分泌液
	膣分泌液
	胃・十二指腸液
	胆汁
	生検材料(消化管)
	腹水
	関節液
	その他

・資料 2

内科系	内科	外科系	外科
	循環器内科		消化器外科
	神経内科		肛門科
	呼吸器内科		肝胆脾外科
	消化器内科		心臓血管外科
	胃腸科		内分泌外科
	内分泌・代謝内科		呼吸器外科
	腎臓内科		小児外科
	糖尿病内科		小児循環器外科
	アレルギー・膠原病内科		小児消化器外科
	膠原病内科		産婦人科
	アレルギー内科		産科
	リウマチ内科		婦人科
	血液内科		整形外科
	感染症内科		美容外科
	老人内科		眼科
	心療内科		耳鼻咽喉科
	その他		性病科
神経科		泌尿器科	
精神科		皮膚・泌尿器科	
放射線科		皮膚科	
総合診療部		脳神経外科	
救急部		形成外科	
救急・集中治療部		歯科口腔外科	
集中治療部(ICU)		歯科	
冠動脈疾患集中治療部(CCU)		小児歯科	
内視鏡科		矯正歯科	
透析科		口腔外科	
理学療法・リハビリテーション科		手術部	
理学療法科		移植・人工臓器科	
リハビリテーション科		小児科	
麻酔科		新生児科	
その他		新生児集中治療部(NICU)	
		周産期センター	

資料 3 厚生労働省 院内感染対策サーベイランス 薬剤耐性菌 判定基準 (Ver.3.1)

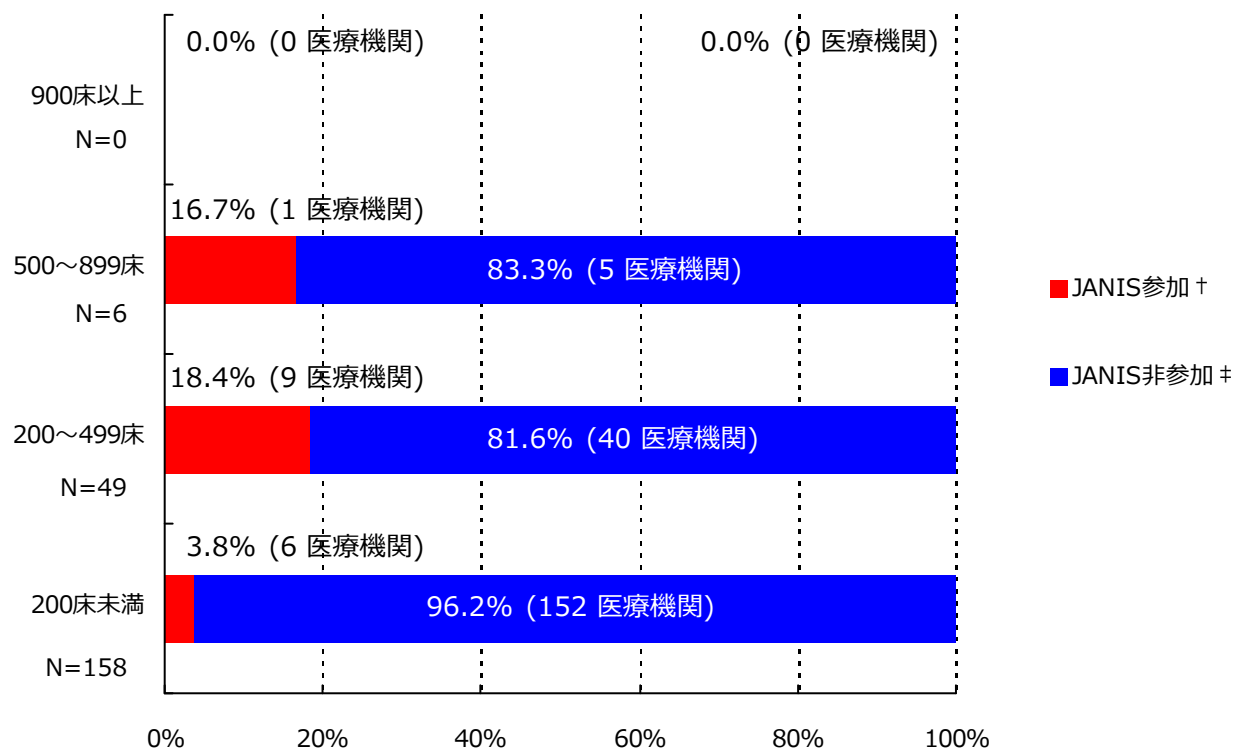
菌名	概要*	菌名コード	微量液体希釈法の基準*	ディスク拡散法の基準
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA)	MPIPC が “R” の <i>Staphylococcus aureus</i> (または CFX がディスク拡散法で “R”)、または選択培地で MRSA と確認された菌	1301、1303	MPIPC \geq 4 μ g/ml	MPIPC \leq 10mm または CFX \leq 21mm
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌 (VRSA)	VCM が微量液体希釈法で “R” の <i>Staphylococcus aureus</i>	1301、1303-1306	VCM \geq 16 μ g/ml	
バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)	下記のいずれかの条件を満たす <i>Enterococcus</i> spp. ・ VCM が微量液体希釈法で耐性 + ・ VCM がディスク拡散法で “R” ・ 選択培地で VRE と確認された菌 注) 種の同定が行われていない <i>Enterococcus</i> sp. は除く	1201、1202、1205、1206、1209、1210、1213-1217	VCM \geq 16 μ g/ml +	VCM \leq 14mm
ペニシリン耐性肺炎球菌 (PRSP)	PCG が微量液体希釈法で耐性 +、または MPIPC がディスク拡散法で “S 以外” の <i>Streptococcus pneumoniae</i>	1131	PCG \geq 0.125 μ g/ml +	MPIPC \leq 19mm または PCG が試薬会社の基準で “S 以外” (例 \leq 23mm) ‡
多剤耐性緑膿菌 (MDRP)	下記のすべての条件を満たす <i>Pseudomonas aeruginosa</i> ・ カルバペネム系 (IPM、MEPM のいずれか) が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (NFLX、OFLX、LVFX、LFLX、CPFX、GFLX のいずれか)	4001	IPM・MEPM \geq 16 μ g/ml + AMK \geq 32 μ g/ml + NFLX \geq 16 μ g/ml OFLX・LVFX・LFLX・GFLX \geq 8 μ g/ml CPFX \geq 4 μ g/ml	IPM・MEPM \leq 13mm + AMK \leq 14mm NFLX・OFLX \leq 12mm LVFX \leq 13mm、LFLX \leq 18mm CPFX \leq 15mm、GFLX \leq 14mm
多剤耐性アシネトバクター属 (MDRA)	下記のすべての条件を満たす <i>Acinetobacter</i> spp. ・ カルバペネム系が “R” (IPM、MEPM のいずれか) ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (LVFX、CPFX、GFLX のいずれか)	4400-4403	IPM・MEPM \geq 16 μ g/ml AMK \geq 32 μ g/ml + LVFX・GFLX \geq 8 μ g/ml CPFX \geq 4 μ g/ml	IPM・MEPM \leq 13mm AMK \leq 14mm LVFX \leq 13mm、GFLX \leq 14mm CPFX \leq 15mm
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌 (CRE)	下記のいずれかの条件を満たす腸内細菌科細菌 ・ MEPM が耐性 + ・ IPM が耐性 +、かつ CMZ が “R”	2000-2691、3150-3151	MEPM \geq 2 μ g/ml + IPM \geq 2 μ g/ml + かつ CMZ \geq 64 μ g/ml	MEPM \leq 22mm IPM \leq 22mm、かつ CMZ \leq 12mm

* 原則 S,I,R の判定は CLSI2012(M100-S22)に準拠

+ 感染症発生動向調査の基準に準拠

‡ PR(I)SP のスクリーニングにディスク拡散法で PCG を用いることは推奨されていないが、国内の現状を考慮し採用

1. データ提出医療機関*数(16医療機関)



*ここではデータ提出医療機関は集計対象医療機関を表す

† JANIS参加 = 2018年1月～12月 集計対象医療機関数

‡ JANIS非参加 = (2017年 都道府県別医療機関数¶) - (2018年1月～12月 集計対象医療機関数)

病床数	2017年 都道府県別医療機関数¶	2018年1月～12月 集計対象医療機関数 (都道府県別医療機関数に占める割合)
900床以上	0	0 (-)
500～899床	6	1 (16.7%)
200～499床	49	9 (18.4%)
200床未満	158	6 (3.8%)
病床数不明	-	0 (-)
合計	213	16 (7.5%)

¶2017年医療施設（動態）調査を参照した。

(熊本県)

公開情報 2018年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

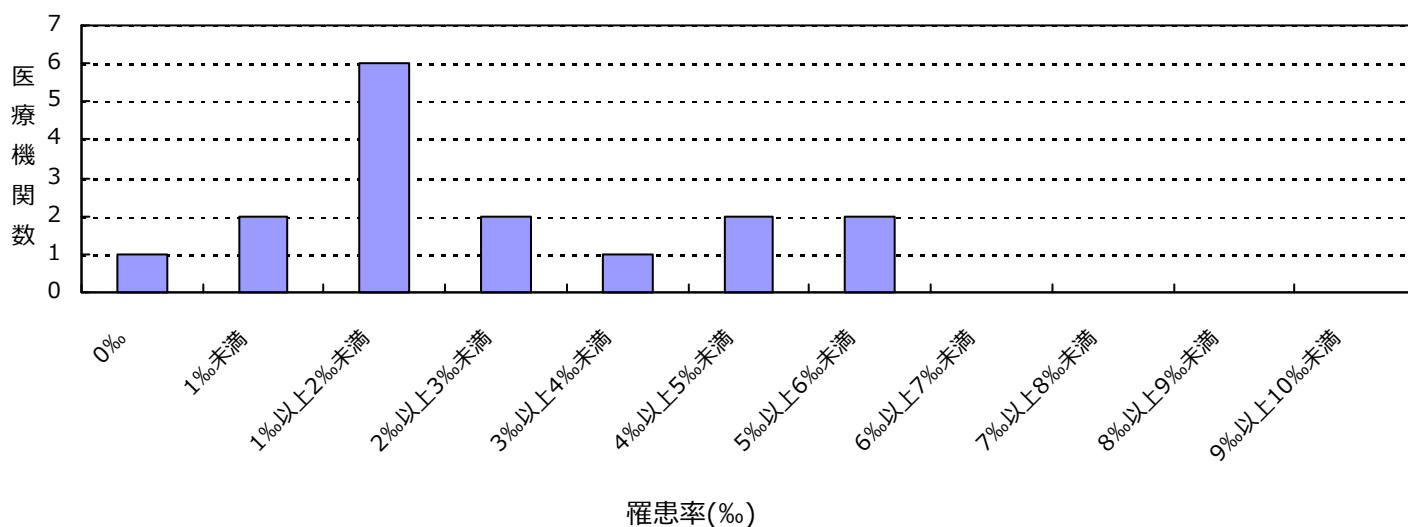


2. 新規感染症患者数と罹患率

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
MRSA	89,412	4	238	2.66%	0.00 1.83 5.82

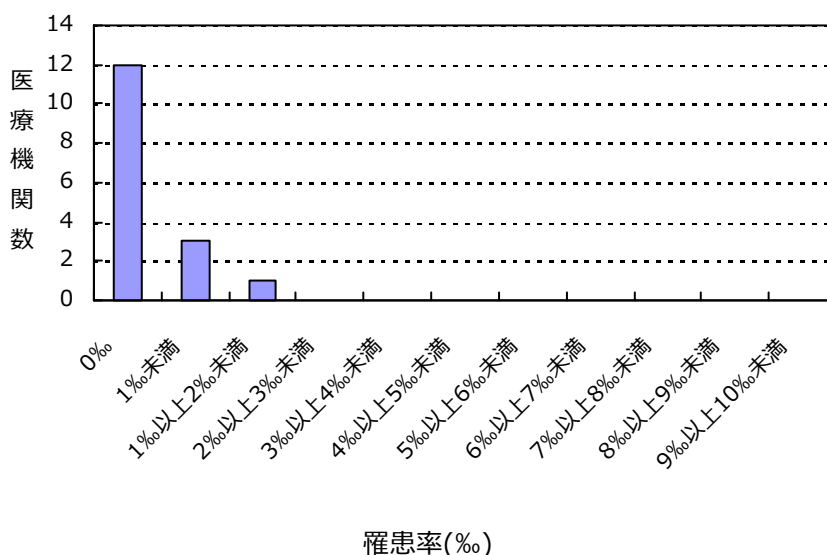
集計対象医療機関の罹患率(N=16)



ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
PRSP	89,412	0	29	0.32%	0.00 0.00 1.45

集計対象医療機関の罹患率(N=16)



(熊本県)

公開情報 2018年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)
院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

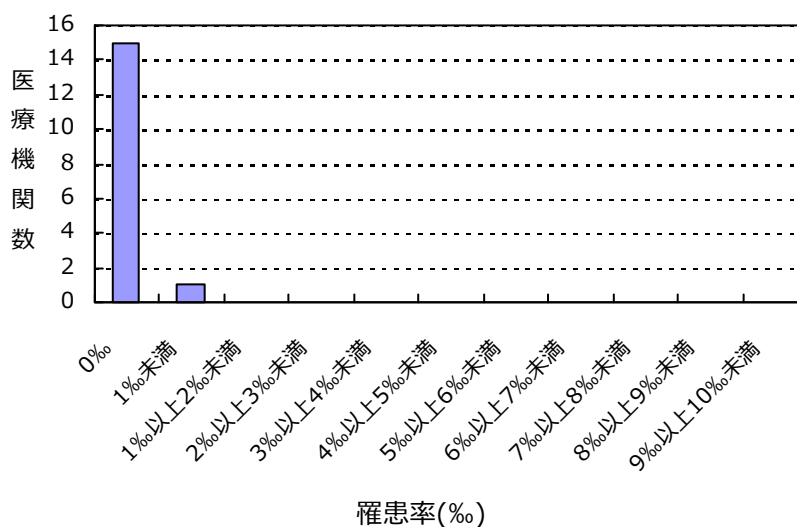


2. 新規感染症患者数と罹患率

多剤耐性緑膿菌(MDRP)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
MDRP	89,412	0	1	0.01%	0.00 0.00 0.24

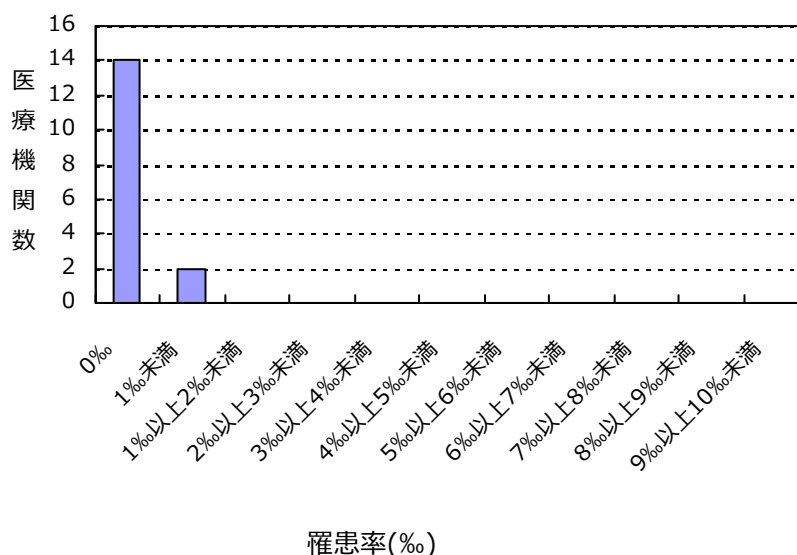
集計対象医療機関の罹患率(N=16)



カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
CRE	89,412	0	4	0.04%	0.00 0.00 0.20

集計対象医療機関の罹患率(N=16)



(熊本県)

公開情報 2018年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌(VRSA)感染症の報告はありませんでした

バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性アシネトバクター属(MDRA)感染症の報告はありませんでした

総入院患者数、新規感染症患者数、罹患率の説明

総入院患者数 = (対象期間の各月の新規入院患者数の合計) + (対象期間の一番初めの月の継続入院患者数)

感染症患者数 = (新規感染症患者数) + (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)

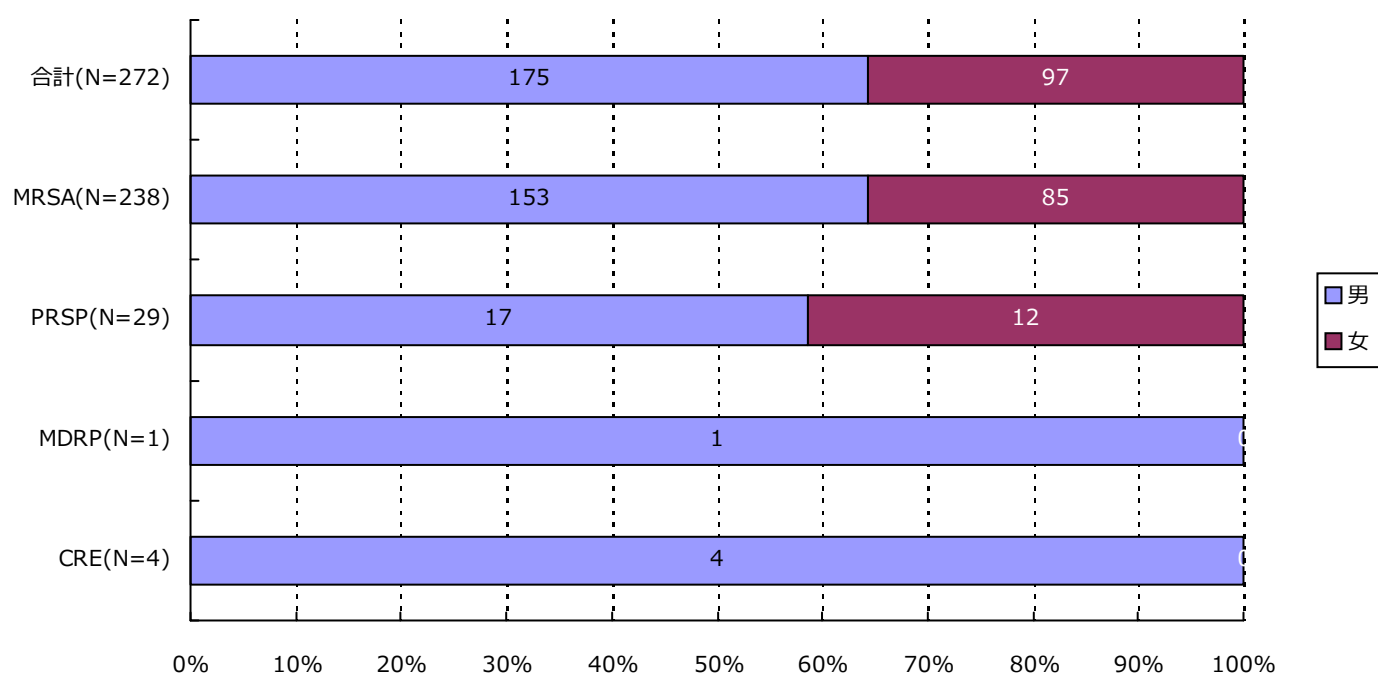
新規感染症患者数 = 対象期間の各月の新規感染症患者数の合計

継続感染症患者数 = 対象期間の一番初めの月より前に新規感染症患者とされ、対象期間の一番初めの月に改めて検査した際にも、継続的に同じ耐性菌に感染していた患者の数

罹患率 = (新規感染症患者数) ÷ ((総入院患者数) - (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)) × 1000

全体の罹患率 = (集計対象医療機関の新規感染症患者数合計) ÷ ((集計対象医療機関の総入院患者数合計) - (集計対象医療機関の対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数合計)) × 1000

3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
男	175 (64.3%)	153 (64.3%)	0 (-)	0 (-)	17 (58.6%)	1 (100.0%)	0 (-)	4 (100.0%)
女	97 (35.7%)	85 (35.7%)	0 (-)	0 (-)	12 (41.4%)	0 (-)	0 (-)	0 (-)
合計	272	238	0	0	29	1	0	4

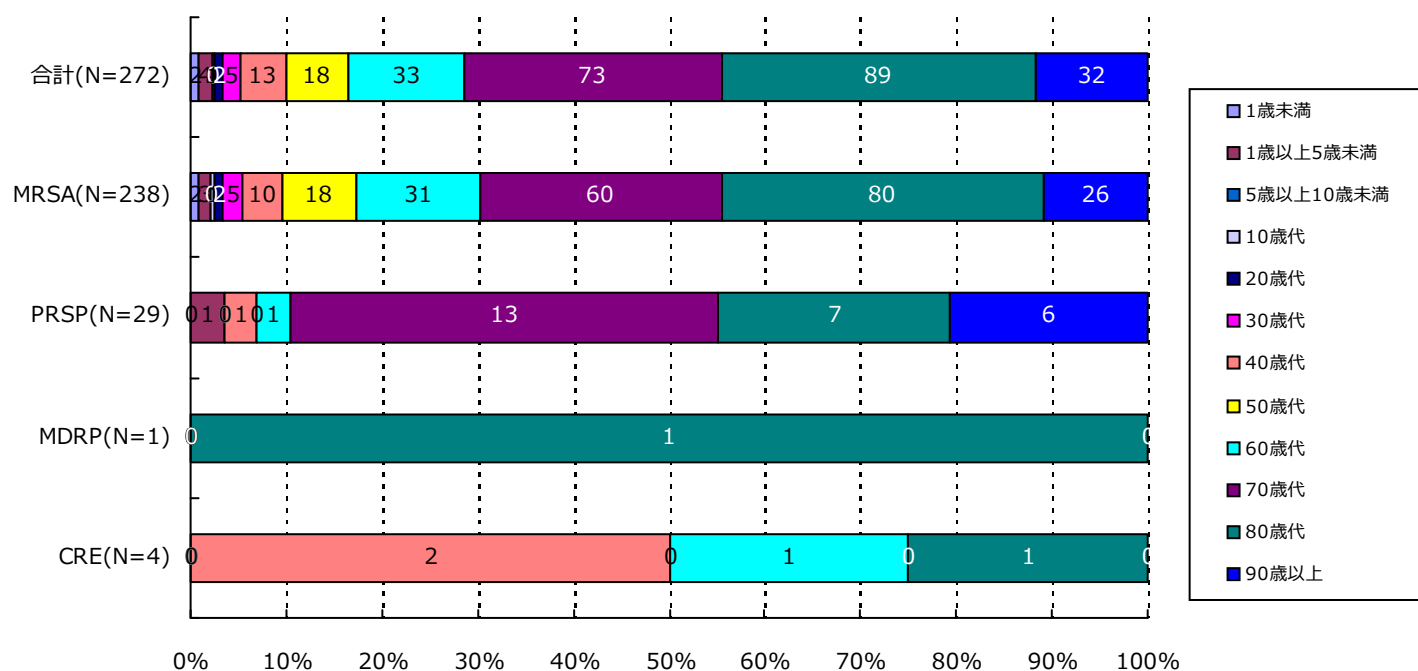
(熊本県)

公開情報 2018年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

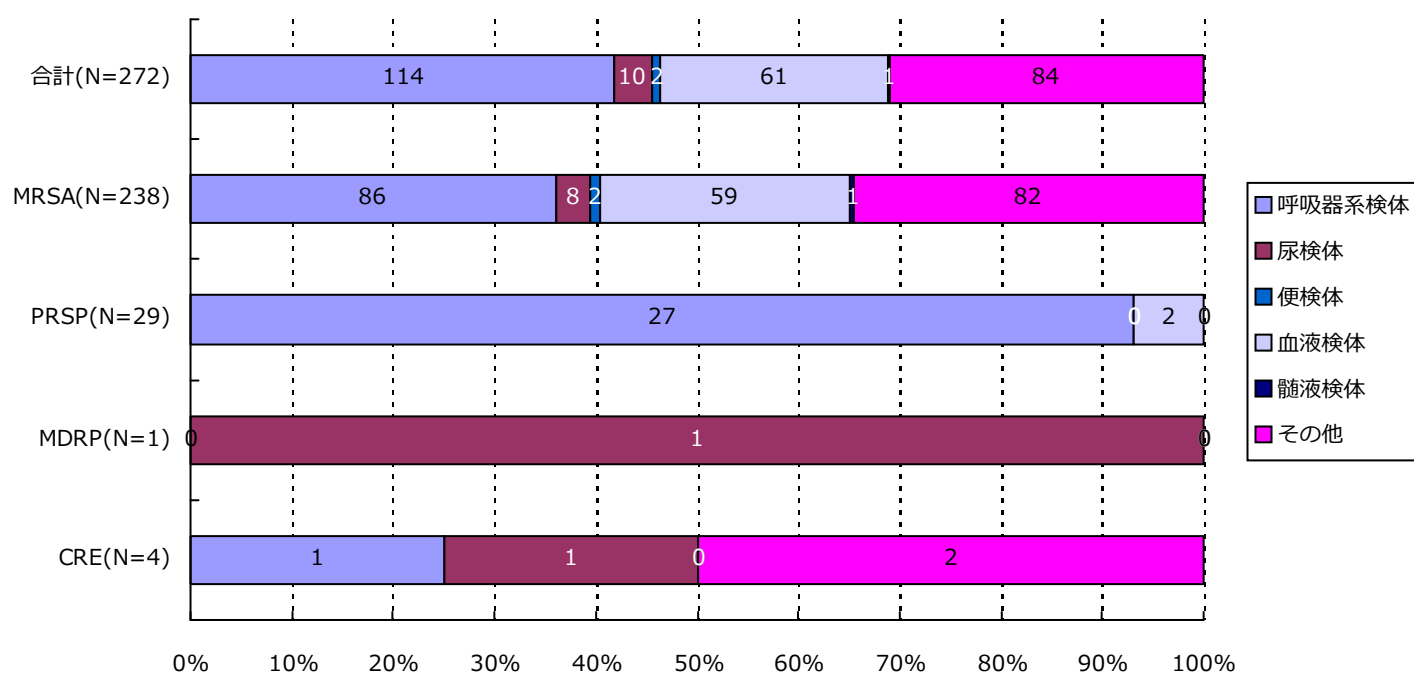


4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
1歳未満	2(0.7%)	2(0.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
1歳以上5歳未満	4(1.5%)	3(1.3%)	0(-)	0(-)	1(3.4%)	0(-)	0(-)	0(-)
5歳以上10歳未満	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
10歳代	1(0.4%)	1(0.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
20歳代	2(0.7%)	2(0.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
30歳代	5(1.8%)	5(2.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
40歳代	13(4.8%)	10(4.2%)	0(-)	0(-)	1(3.4%)	0(-)	0(-)	2(50.0%)
50歳代	18(6.6%)	18(7.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
60歳代	33(12.1%)	31(13.0%)	0(-)	0(-)	1(3.4%)	0(-)	0(-)	1(25.0%)
70歳代	73(26.8%)	60(25.2%)	0(-)	0(-)	13(44.8%)	0(-)	0(-)	0(-)
80歳代	89(32.7%)	80(33.6%)	0(-)	0(-)	7(24.1%)	1(100.0%)	0(-)	1(25.0%)
90歳以上	32(11.8%)	26(10.9%)	0(-)	0(-)	6(20.7%)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	272	238	0	0	29	1	0	4

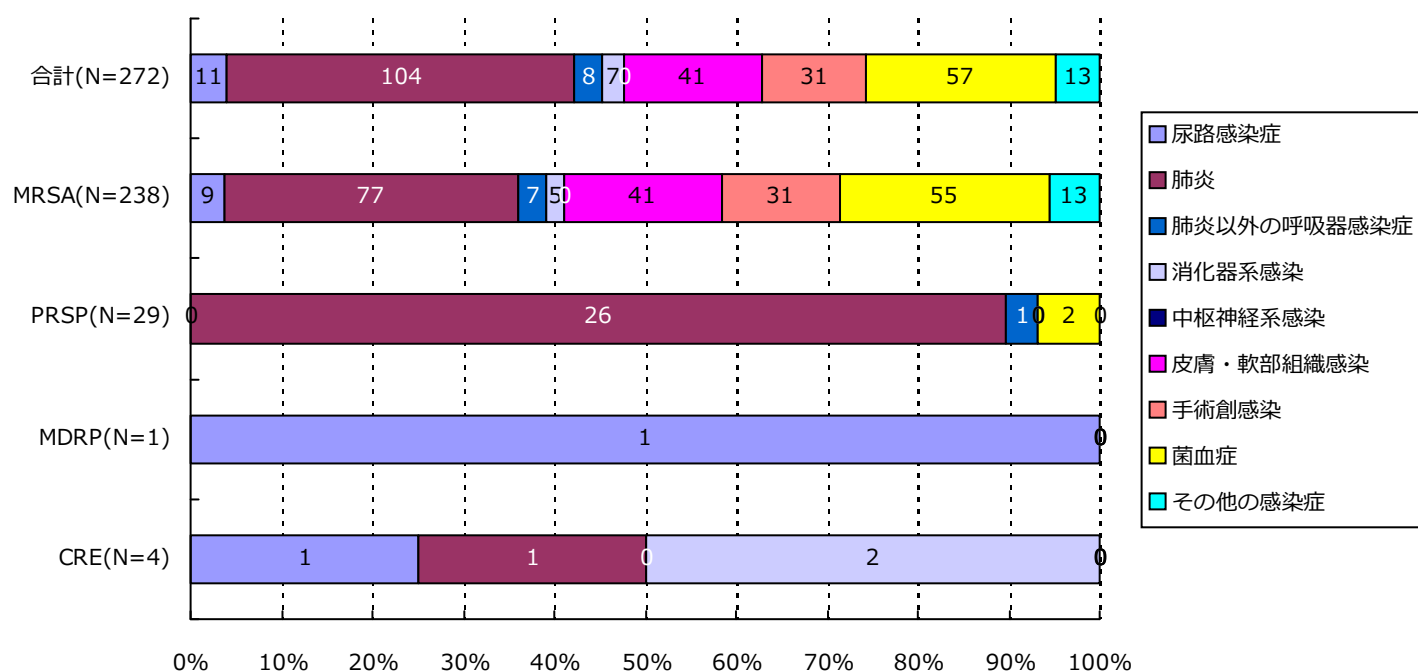
5. 耐性菌新規感染症患者の検体*内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
呼吸器系	114(41.9%)	86(36.1%)	0(-)	0(-)	27(93.1%)	0(-)	0(-)	1(25.0%)
尿検体	10(3.7%)	8(3.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(100.0%)	0(-)	1(25.0%)
便検体	2(0.7%)	2(0.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
血液検体	61(22.4%)	59(24.8%)	0(-)	0(-)	2(6.9%)	0(-)	0(-)	0(-)
髄液検体	1(0.4%)	1(0.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	84(30.9%)	82(34.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	2(50.0%)
合計	272	238	0	0	29	1	0	4

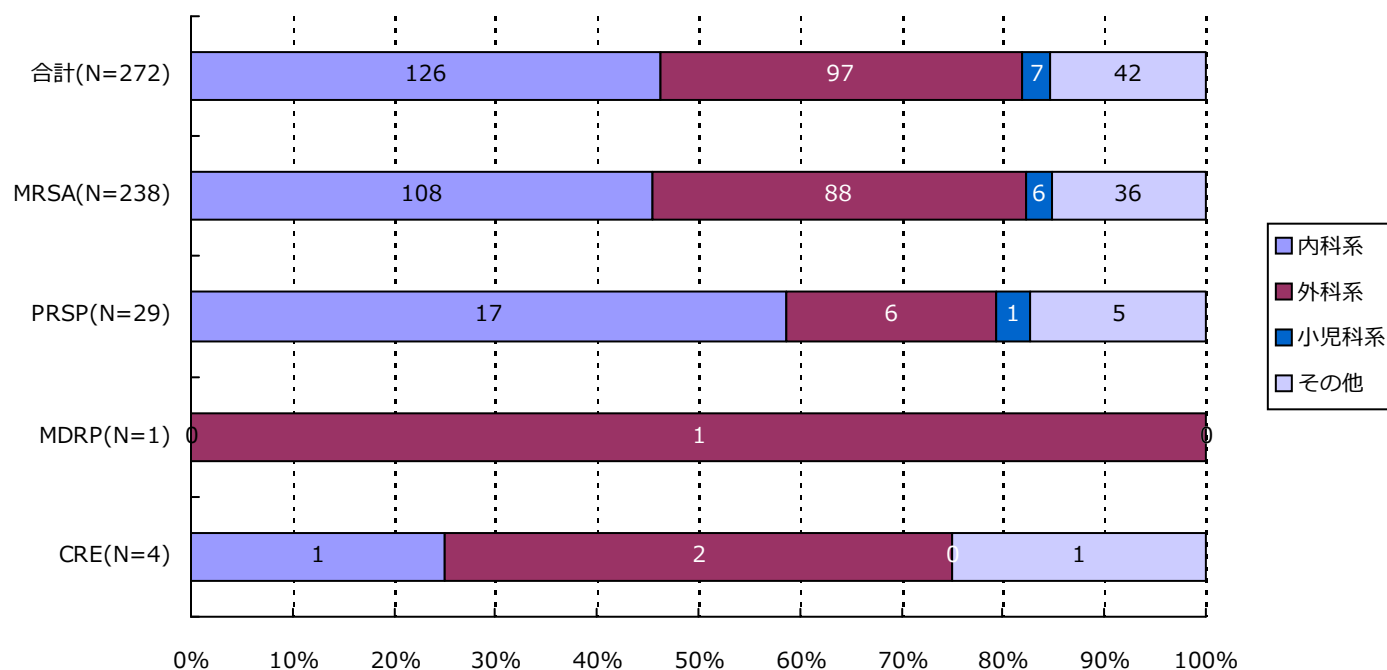
*検体区分については巻末の資料 1 を参照

6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
尿路	11(4.0%)	9(3.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(100.0%)	0(-)	1(25.0%)
肺炎	104(38.2%)	77(32.4%)	0(-)	0(-)	26(89.7%)	0(-)	0(-)	1(25.0%)
肺炎以外	8(2.9%)	7(2.9%)	0(-)	0(-)	1(3.4%)	0(-)	0(-)	0(-)
消化器系	7(2.6%)	5(2.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	2(50.0%)
中枢神経系	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
皮膚・軟部	41(15.1%)	41(17.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
手術創	31(11.4%)	31(13.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
菌血症	57(21.0%)	55(23.1%)	0(-)	0(-)	2(6.9%)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	13(4.8%)	13(5.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	272	238	0	0	29	1	0	4

7. 耐性菌新規感染症患者の診療科*別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
内科系	126(46.3%)	108(45.4%)	0(-)	0(-)	17(58.6%)	0(-)	0(-)	1(25.0%)
外科系	97(35.7%)	88(37.0%)	0(-)	0(-)	6(20.7%)	1(100.0%)	0(-)	2(50.0%)
小児科系	7(2.6%)	6(2.5%)	0(-)	0(-)	1(3.4%)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	42(15.4%)	36(15.1%)	0(-)	0(-)	5(17.2%)	0(-)	0(-)	1(25.0%)
合計	272	238	0	0	29	1	0	4

*診療科の内訳については巻末の資料2を参照

・資料 1

呼吸器系検体	喀出痰
	気管内採痰
	気管支洗浄液
	咽頭粘液
	鼻腔内
	口腔内
	生検材料(肺)
	胸水
	その他(呼吸器)
尿検体	自然排尿
	採尿カテーテル
	留置カテーテル
	カテーテル尿
便検体	糞便
血液検体	静脈血
	動脈血
髄液検体	髄液
その他	尿道分泌液
	膣分泌液
	胃・十二指腸液
	胆汁
	生検材料(消化管)
	腹水
	関節液
	その他

・資料 2

内科系	内科
	循環器内科
	神経内科
	呼吸器内科
	消化器内科
	胃腸科
	内分泌・代謝内科
	腎臓内科
	糖尿病内科
	アレルギー・膠原病内科
	膠原病内科
	アレルギー内科
	リウマチ内科
	血液内科
	感染症内科
	老人内科
	心療内科
	その他
神経科	
精神科	
放射線科	
総合診療部	
救急部	
救急・集中治療部	
集中治療部(ICU)	
冠動脈疾患集中治療部(CCU)	
内視鏡科	
透析科	
理学療法・リハビリテーション科	
理学療法科	
リハビリテーション科	
麻酔科	
その他	

外科系	外科
	消化器外科
	肛門科
	肝胆脾外科
	心臓血管外科
	内分泌外科
	呼吸器外科
	小児外科
	小児循環器外科
	小児消化器外科
	産婦人科
	産科
	婦人科
	整形外科
	美容外科
	眼科
	耳鼻咽喉科
	気管食道科
	泌尿器科
	皮膚・泌尿器科
皮膚科	
脳神経外科	
形成外科	
歯科口腔外科	
歯科	
小児歯科	
矯正歯科	
口腔外科	
手術部	
移植・人工臓器科	

小児科系	小児科
	新生児科
	新生児集中治療部(NICU)
	周産期センター

資料 3 厚生労働省 院内感染対策サーベイランス 薬剤耐性菌 判定基準 (Ver.3.1)

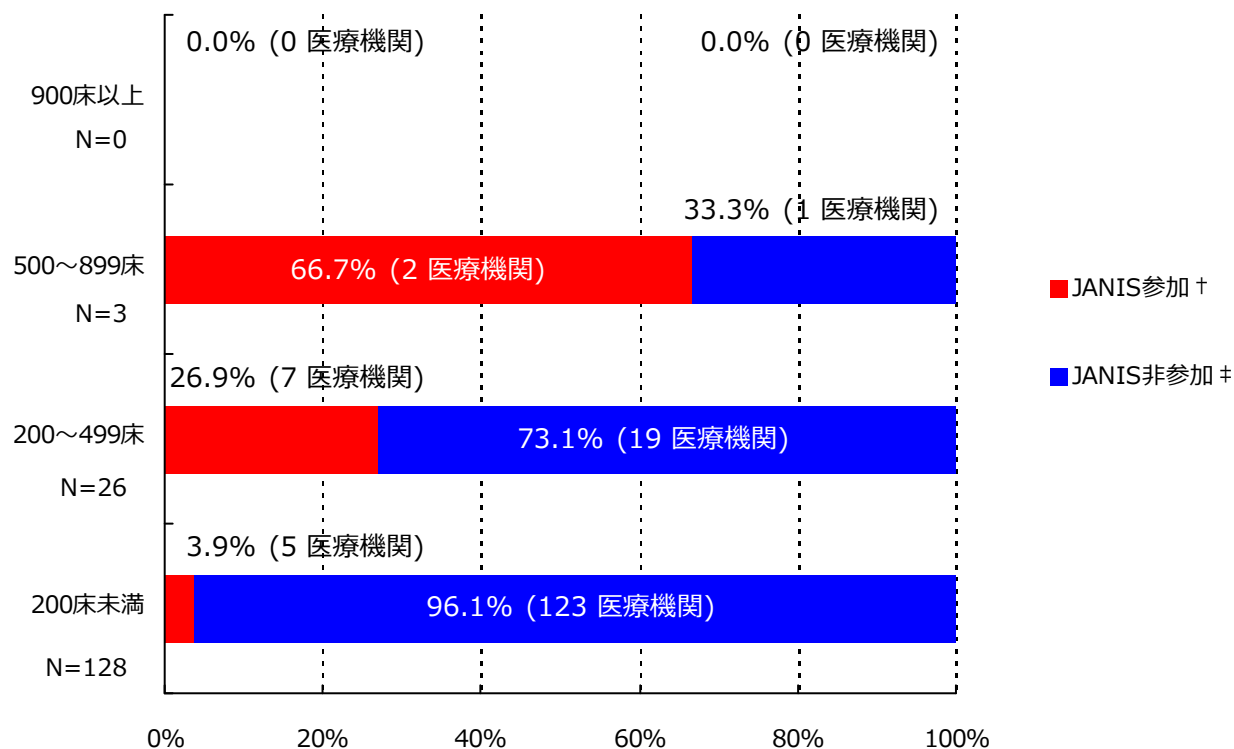
菌名	概要*	菌名コード	微量液体希釈法の基準*	ディスク拡散法の基準
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA)	MPIPC が “R” の <i>Staphylococcus aureus</i> (または CFX がディスク拡散法で “R”)、または選択培地で MRSA と確認された菌	1301、1303	MPIPC \geq 4 μ g/ml	MPIPC \leq 10mm または CFX \leq 21mm
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌 (VRSA)	VCM が微量液体希釈法で “R” の <i>Staphylococcus aureus</i>	1301、1303-1306	VCM \geq 16 μ g/ml	
バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)	下記のいずれかの条件を満たす <i>Enterococcus</i> spp. ・ VCM が微量液体希釈法で耐性 + ・ VCM がディスク拡散法で “R” ・ 選択培地で VRE と確認された菌 注) 種の同定が行われていない <i>Enterococcus</i> sp. は除く	1201、1202、1205、1206、1209、1210、1213-1217	VCM \geq 16 μ g/ml +	VCM \leq 14mm
ペニシリン耐性肺炎球菌 (PRSP)	PCG が微量液体希釈法で耐性 +、または MPIPC がディスク拡散法で “S 以外” の <i>Streptococcus pneumoniae</i>	1131	PCG \geq 0.125 μ g/ml +	MPIPC \leq 19mm または PCG が試薬会社の基準で “S 以外” (例 \leq 23mm) ‡
多剤耐性緑膿菌 (MDRP)	下記のすべての条件を満たす <i>Pseudomonas aeruginosa</i> ・ カルバペネム系 (IPM、MEPM のいずれか) が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (NFLX、OFLX、LVFX、LFLX、CPFX、GFLX のいずれか)	4001	IPM・MEPM \geq 16 μ g/ml + AMK \geq 32 μ g/ml + NFLX \geq 16 μ g/ml OFLX・LVFX・LFLX・GFLX \geq 8 μ g/ml CPFX \geq 4 μ g/ml	IPM・MEPM \leq 13mm + AMK \leq 14mm NFLX・OFLX \leq 12mm LVFX \leq 13mm、LFLX \leq 18mm CPFX \leq 15mm、GFLX \leq 14mm
多剤耐性アシネトバクター属 (MDRA)	下記のすべての条件を満たす <i>Acinetobacter</i> spp. ・ カルバペネム系が “R” (IPM、MEPM のいずれか) ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (LVFX、CPFX、GFLX のいずれか)	4400-4403	IPM・MEPM \geq 16 μ g/ml AMK \geq 32 μ g/ml + LVFX・GFLX \geq 8 μ g/ml CPFX \geq 4 μ g/ml	IPM・MEPM \leq 13mm AMK \leq 14mm LVFX \leq 13mm、GFLX \leq 14mm CPFX \leq 15mm
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌 (CRE)	下記のいずれかの条件を満たす腸内細菌科細菌 ・ MEPM が耐性 + ・ IPM が耐性 +、かつ CMZ が “R”	2000-2691、3150-3151	MEPM \geq 2 μ g/ml + IPM \geq 2 μ g/ml + かつ CMZ \geq 64 μ g/ml	MEPM \leq 22mm IPM \leq 22mm、かつ CMZ \leq 12mm

* 原則 S,I,R の判定は CLSI2012(M100-S22)に準拠

+ 感染症発生動向調査の基準に準拠

‡ PR(I)SP のスクリーニングにディスク拡散法で PCG を用いることは推奨されていないが、国内の現状を考慮し採用

1. データ提出医療機関*数(14医療機関)



*ここではデータ提出医療機関は集計対象医療機関を表す

† JANIS参加 = 2018年1月～12月 集計対象医療機関数

‡ JANIS非参加 = (2017年 都道府県別医療機関数¶) - (2018年1月～12月 集計対象医療機関数)

病床数	2017年 都道府県別医療機関数¶	2018年1月～12月 集計対象医療機関数 (都道府県別医療機関数に占める割合)
900床以上	0	0 (-)
500～899床	3	2 (66.7%)
200～499床	26	7 (26.9%)
200床未満	128	5 (3.9%)
病床数不明	-	0 (-)
合計	157	14 (8.9%)

¶2017年医療施設（動態）調査を参照した。

(大分県)

公開情報 2018年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

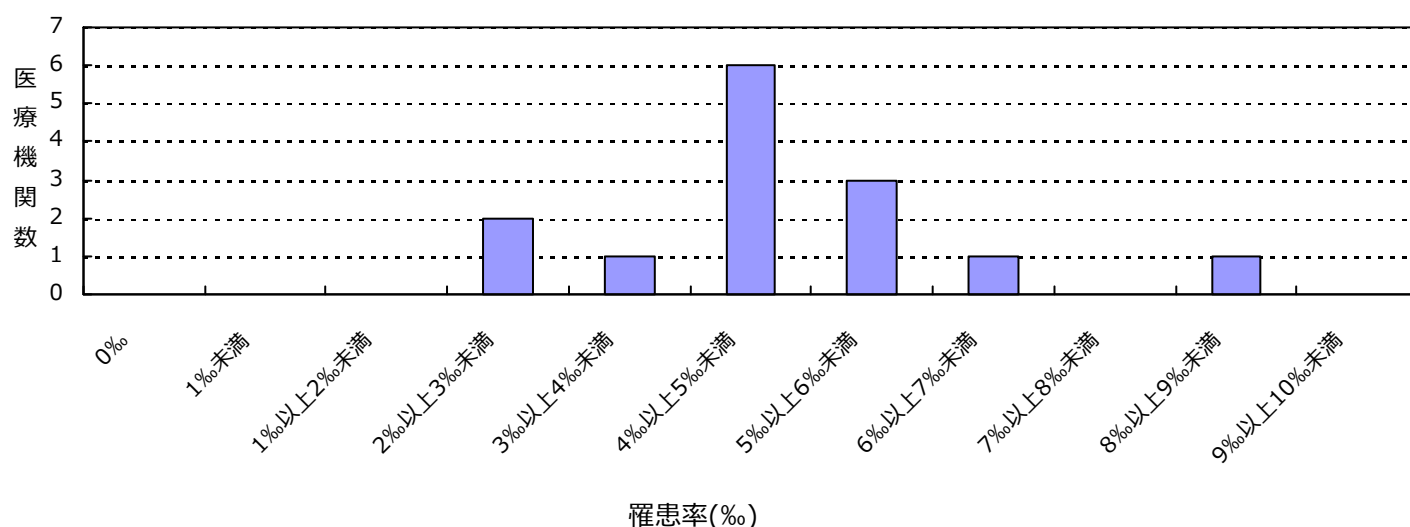


2. 新規感染症患者数と罹患率

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
MRSA	70,646	9	299	4.23%	2.22 4.58 8.33

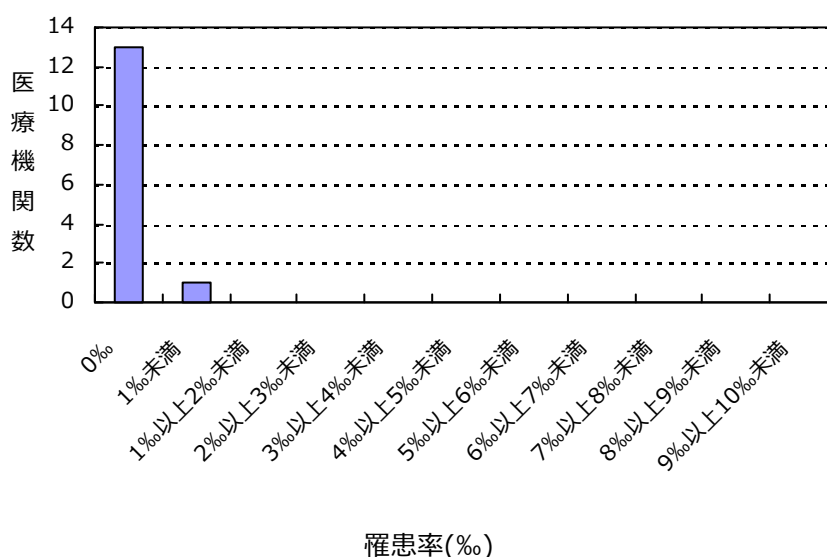
集計対象医療機関の罹患率(N=14)



ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
PRSP	70,646	0	2	0.03%	0.00 0.00 0.16

集計対象医療機関の罹患率(N=14)



(大分県)

公開情報 2018年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

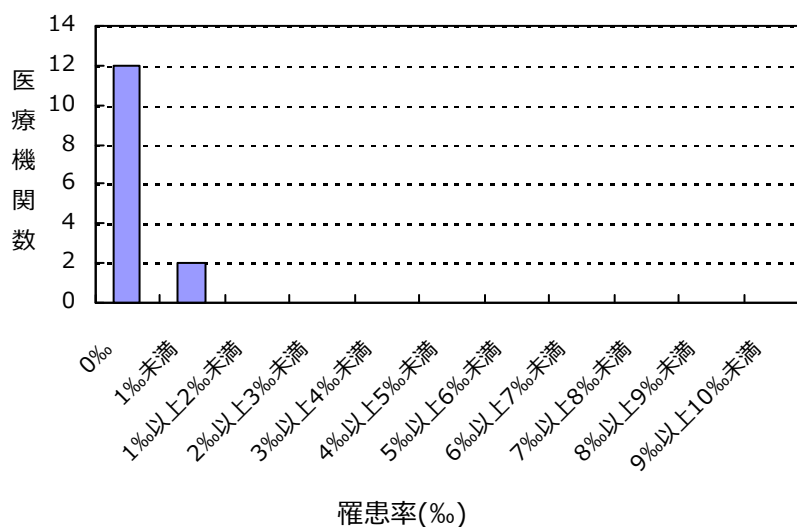


2. 新規感染症患者数と罹患率

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(‰)の分布
CRE	70,646	0	3	0.04‰	0.00 0.00 0.22

集計対象医療機関の罹患率(N=14)



(大分県)

公開情報 2018年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌(VRSA)感染症の報告はありませんでした

バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性緑膿菌(MDRP)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性アシネトバクター属(MDRA)感染症の報告はありませんでした

総入院患者数、新規感染症患者数、罹患率の説明

総入院患者数 = (対象期間の各月の新規入院患者数の合計) + (対象期間の一番初めの月の継続入院患者数)

感染症患者数 = (新規感染症患者数) + (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)

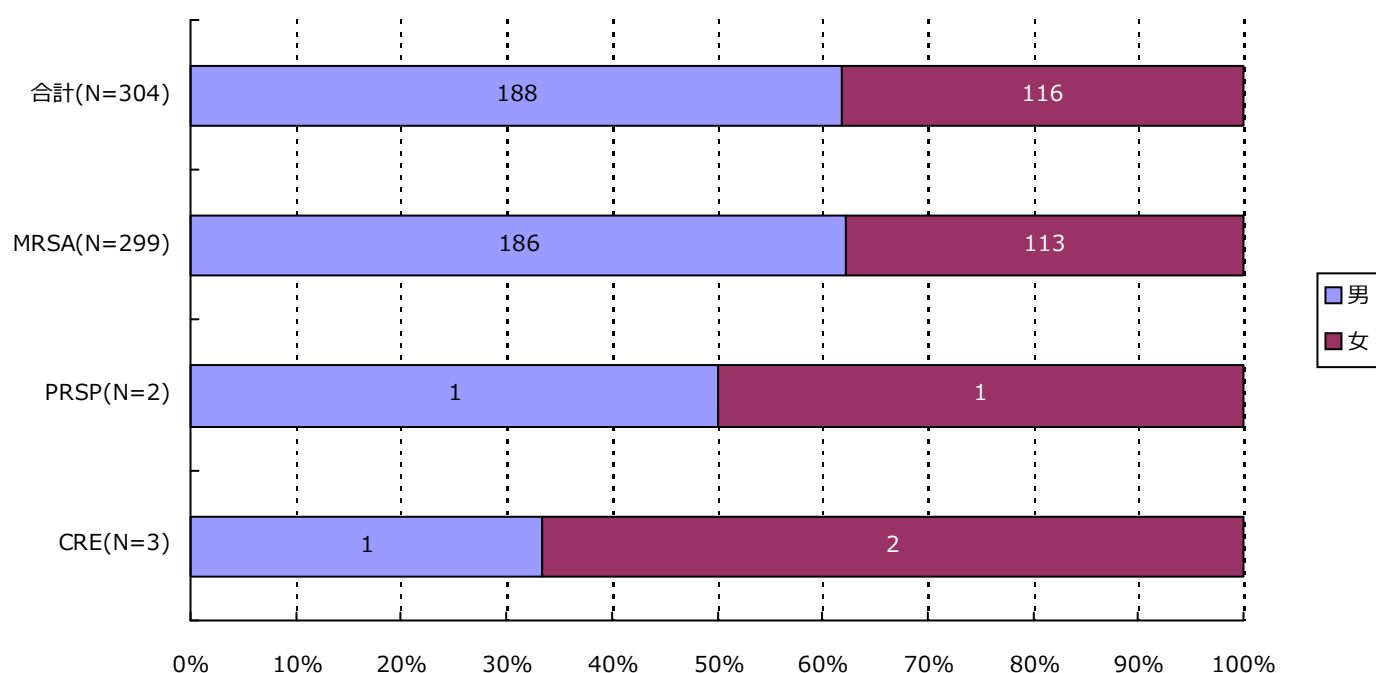
新規感染症患者数 = 対象期間の各月の新規感染症患者数の合計

継続感染症患者数 = 対象期間の一番初めの月より前に新規感染症患者とされ、対象期間の一番初めの月に改めて検査した際にも、継続的に同じ耐性菌に感染していた患者の数

罹患率 = (新規感染症患者数) ÷ ((総入院患者数) - (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)) × 1000

全体の罹患率 = (集計対象医療機関の新規感染症患者数合計) ÷ ((集計対象医療機関の総入院患者数合計) - (集計対象医療機関の対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数合計)) × 1000

3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
男	188 (61.8%)	186 (62.2%)	0 (-)	0 (-)	1 (50.0%)	0 (-)	0 (-)	1 (33.3%)
女	116 (38.2%)	113 (37.8%)	0 (-)	0 (-)	1 (50.0%)	0 (-)	0 (-)	2 (66.7%)
合計	304	299	0	0	2	0	0	3

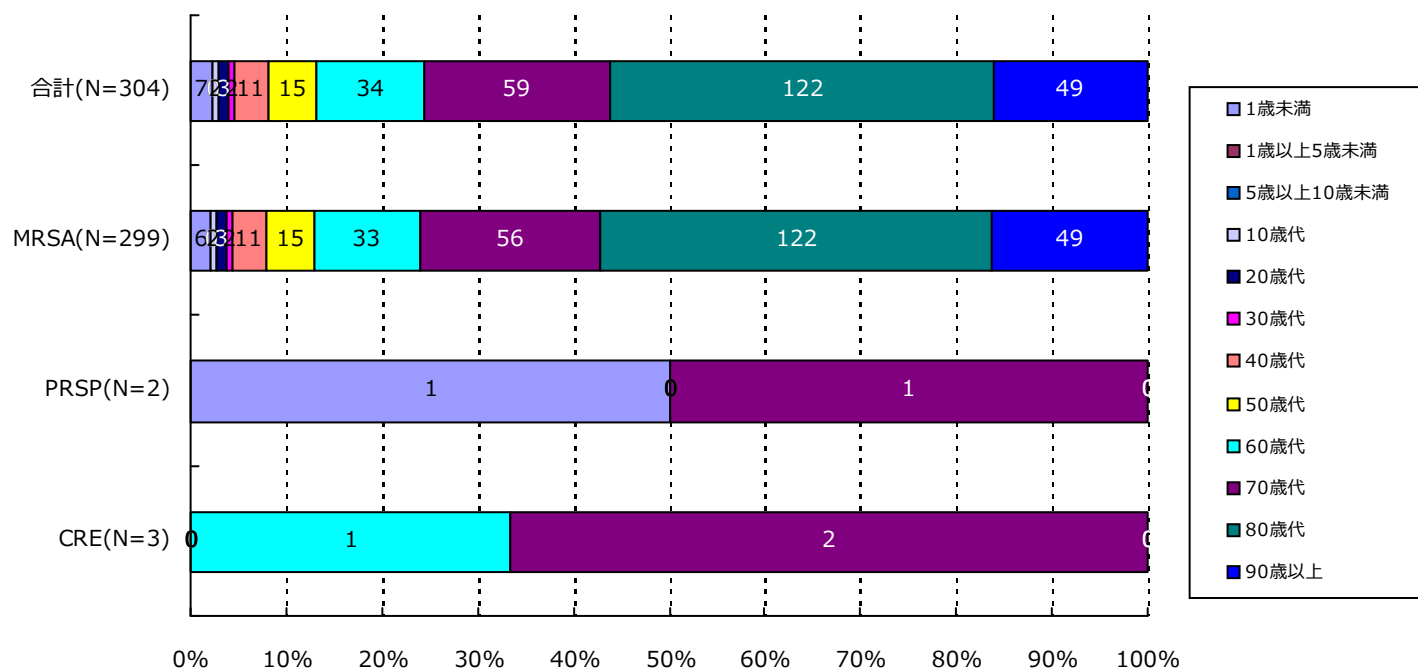
(大分県)

公開情報 2018年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

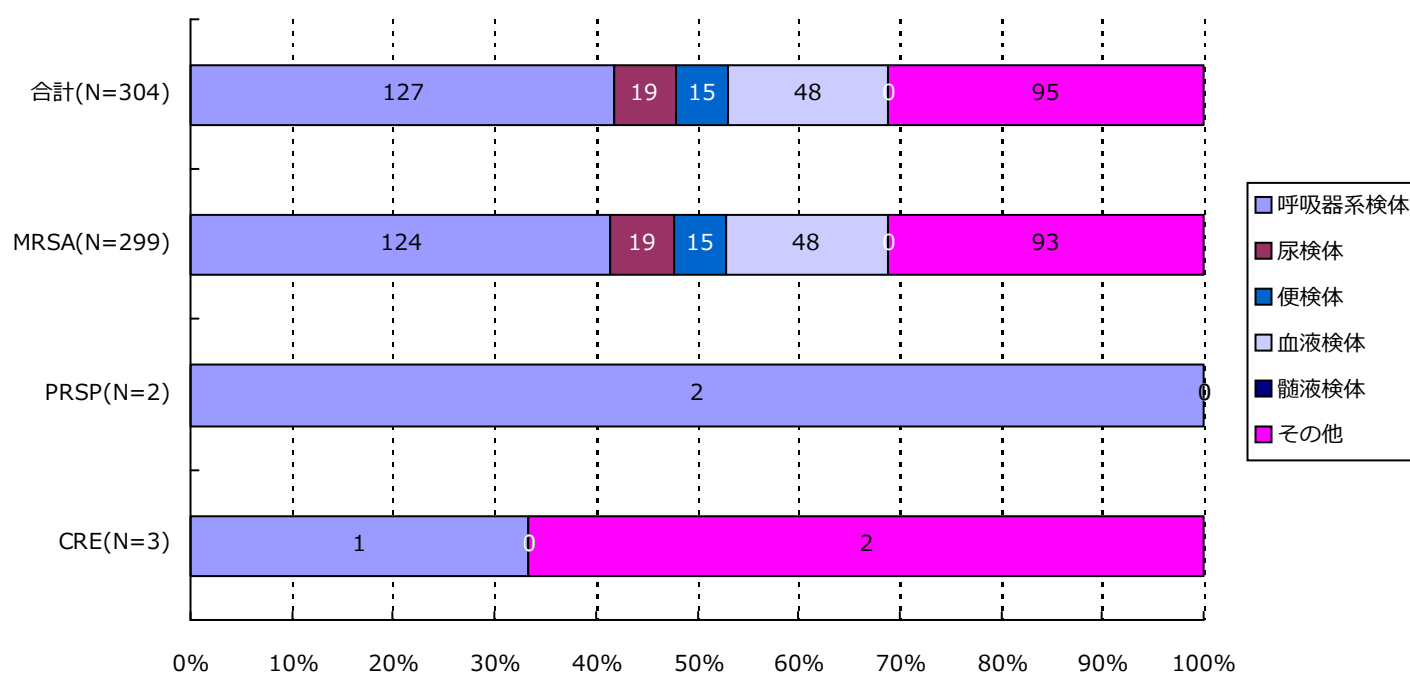


4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
1歳未満	7(2.3%)	6(2.0%)	0(-)	0(-)	1(50.0%)	0(-)	0(-)	0(-)
1歳以上5歳未満	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
5歳以上10歳未満	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
10歳代	2(0.7%)	2(0.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
20歳代	3(1.0%)	3(1.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
30歳代	2(0.7%)	2(0.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
40歳代	11(3.6%)	11(3.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
50歳代	15(4.9%)	15(5.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
60歳代	34(11.2%)	33(11.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(33.3%)
70歳代	59(19.4%)	56(18.7%)	0(-)	0(-)	1(50.0%)	0(-)	0(-)	2(66.7%)
80歳代	122(40.1%)	122(40.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
90歳以上	49(16.1%)	49(16.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	304	299	0	0	2	0	0	3

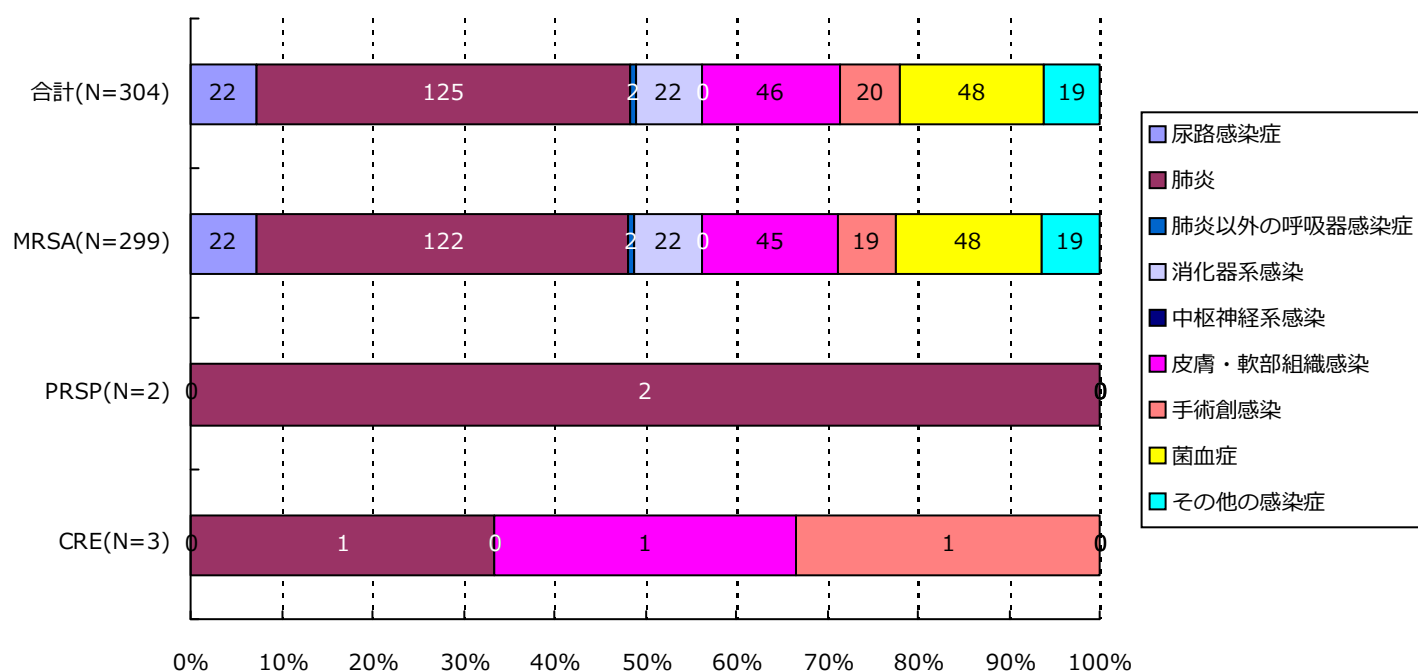
5. 耐性菌新規感染症患者の検体*内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
呼吸器系	127(41.8%)	124(41.5%)	0(-)	0(-)	2(100.0%)	0(-)	0(-)	1(33.3%)
尿検体	19(6.3%)	19(6.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
便検体	15(4.9%)	15(5.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
血液検体	48(15.8%)	48(16.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
髄液検体	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	95(31.3%)	93(31.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	2(66.7%)
合計	304	299	0	0	2	0	0	3

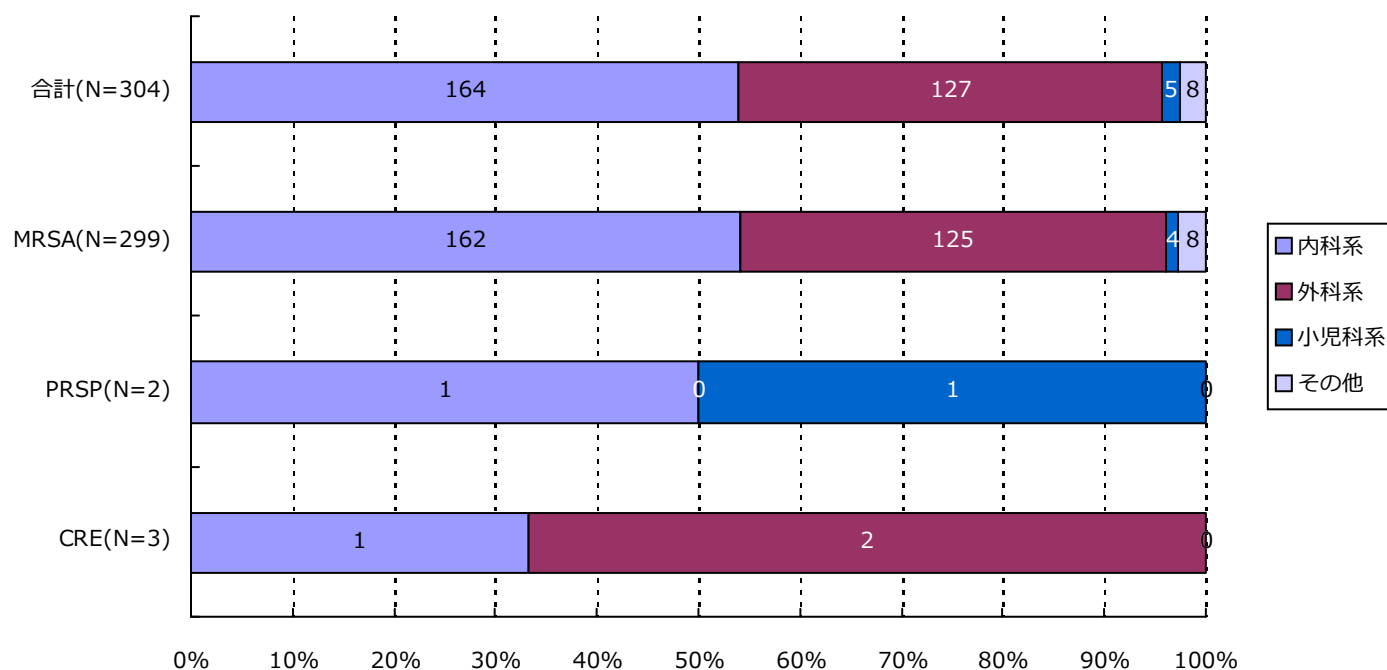
*検体区分については巻末の資料 1 を参照

6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
尿路	22(7.2%)	22(7.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
肺炎	125(41.1%)	122(40.8%)	0(-)	0(-)	2(100.0%)	0(-)	0(-)	1(33.3%)
肺炎以外	2(0.7%)	2(0.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
消化器系	22(7.2%)	22(7.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
中枢神経系	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
皮膚・軟部	46(15.1%)	45(15.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(33.3%)
手術創	20(6.6%)	19(6.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(33.3%)
菌血症	48(15.8%)	48(16.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	19(6.3%)	19(6.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	304	299	0	0	2	0	0	3

7. 耐性菌新規感染症患者の診療科*別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
内科系	164(53.9%)	162(54.2%)	0(-)	0(-)	1(50.0%)	0(-)	0(-)	1(33.3%)
外科系	127(41.8%)	125(41.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	2(66.7%)
小児科系	5(1.6%)	4(1.3%)	0(-)	0(-)	1(50.0%)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	8(2.6%)	8(2.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	304	299	0	0	2	0	0	3

*診療科の内訳については巻末の資料2を参照

・資料 1

呼吸器系検体	喀出痰
	気管内採痰
	気管支洗浄液
	咽頭粘液
	鼻腔内
	口腔内
	生検材料(肺)
	胸水
	その他(呼吸器)
尿検体	自然排尿
	採尿カテーテル
	留置カテーテル
	カテーテル尿
便検体	糞便
血液検体	静脈血
	動脈血
髄液検体	髄液
その他	尿道分泌液
	膣分泌液
	胃・十二指腸液
	胆汁
	生検材料(消化管)
	腹水
	関節液
	その他

・資料 2

内科系	内科
	循環器内科
	神経内科
	呼吸器内科
	消化器内科
	胃腸科
	内分泌・代謝内科
	腎臓内科
	糖尿病内科
	アレルギー・膠原病内科
	膠原病内科
	アレルギー内科
	リウマチ内科
	血液内科
	感染症内科
	老人内科
	心療内科
	その他
神経科	
精神科	
放射線科	
総合診療部	
救急部	
救急・集中治療部	
集中治療部(ICU)	
冠動脈疾患集中治療部(CCU)	
内視鏡科	
透析科	
理学療法・リハビリテーション科	
理学療法科	
リハビリテーション科	
麻酔科	
その他	

外科系	外科
	消化器外科
	肛門科
	肝胆脾外科
	心臓血管外科
	内分泌外科
	呼吸器外科
	小児外科
	小児循環器外科
	小児消化器外科
	産婦人科
	産科
	婦人科
	整形外科
	美容外科
	眼科
	耳鼻咽喉科
	気管食道科
	泌尿器科
	皮膚・泌尿器科
皮膚科	
脳神経外科	
形成外科	
歯科口腔外科	
歯科	
小児歯科	
矯正歯科	
口腔外科	
手術部	
移植・人工臓器科	
小児科系	小児科
	新生児科
	新生児集中治療部(NICU)
	周産期センター

資料 3 厚生労働省 院内感染対策サーベイランス 薬剤耐性菌 判定基準 (Ver.3.1)

菌名	概要*	菌名コード	微量液体希釈法の基準*	ディスク拡散法の基準
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA)	MPIPC が “R” の <i>Staphylococcus aureus</i> (または CFX がディスク拡散法で “R”)、または選択培地で MRSA と確認された菌	1301、1303	MPIPC \geq 4 μ g/ml	MPIPC \leq 10mm または CFX \leq 21mm
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌 (VRSA)	VCM が微量液体希釈法で “R” の <i>Staphylococcus aureus</i>	1301、1303-1306	VCM \geq 16 μ g/ml	
バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)	下記のいずれかの条件を満たす <i>Enterococcus</i> spp. ・ VCM が微量液体希釈法で耐性 + ・ VCM がディスク拡散法で “R” ・ 選択培地で VRE と確認された菌 注) 種の同定が行われていない <i>Enterococcus</i> sp. は除く	1201、1202、1205、1206、1209、1210、1213-1217	VCM \geq 16 μ g/ml +	VCM \leq 14mm
ペニシリン耐性肺炎球菌 (PRSP)	PCG が微量液体希釈法で耐性 +、または MPIPC がディスク拡散法で “S 以外” の <i>Streptococcus pneumoniae</i>	1131	PCG \geq 0.125 μ g/ml +	MPIPC \leq 19mm または PCG が試薬会社の基準で “S 以外” (例 \leq 23mm) ‡
多剤耐性緑膿菌 (MDRP)	下記のすべての条件を満たす <i>Pseudomonas aeruginosa</i> ・ カルバペネム系 (IPM、MEPM のいずれか) が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (NFLX、OFLX、LVFX、LFLX、CPFX、GFLX のいずれか)	4001	IPM・MEPM \geq 16 μ g/ml + AMK \geq 32 μ g/ml + NFLX \geq 16 μ g/ml OFLX・LVFX・LFLX・GFLX \geq 8 μ g/ml CPFX \geq 4 μ g/ml	IPM・MEPM \leq 13mm + AMK \leq 14mm NFLX・OFLX \leq 12mm LVFX \leq 13mm、LFLX \leq 18mm CPFX \leq 15mm、GFLX \leq 14mm
多剤耐性アシネトバクター属 (MDRA)	下記のすべての条件を満たす <i>Acinetobacter</i> spp. ・ カルバペネム系が “R” (IPM、MEPM のいずれか) ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (LVFX、CPFX、GFLX のいずれか)	4400-4403	IPM・MEPM \geq 16 μ g/ml AMK \geq 32 μ g/ml + LVFX・GFLX \geq 8 μ g/ml CPFX \geq 4 μ g/ml	IPM・MEPM \leq 13mm AMK \leq 14mm LVFX \leq 13mm、GFLX \leq 14mm CPFX \leq 15mm
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌 (CRE)	下記のいずれかの条件を満たす腸内細菌科細菌 ・ MEPM が耐性 + ・ IPM が耐性 +、かつ CMZ が “R”	2000-2691、3150-3151	MEPM \geq 2 μ g/ml + IPM \geq 2 μ g/ml + かつ CMZ \geq 64 μ g/ml	MEPM \leq 22mm IPM \leq 22mm、かつ CMZ \leq 12mm

* 原則 S,I,R の判定は CLSI2012(M100-S22)に準拠

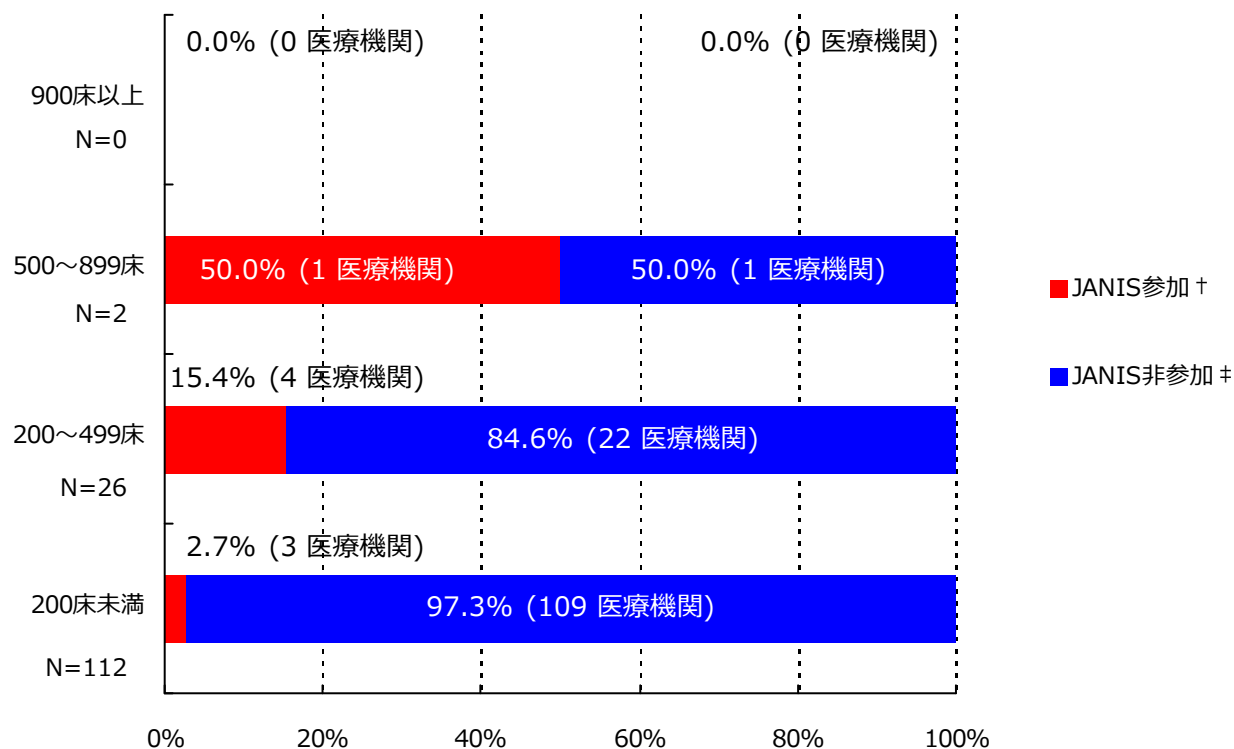
+ 感染症発生动向調査の基準に準拠

‡ PR(I)SP のスクリーニングにディスク拡散法で PCG を用いることは推奨されていないが、国内の現状を考慮し採用

(宮崎県)
公開情報 2018年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)
院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



1. データ提出医療機関*数(8医療機関)



*ここではデータ提出医療機関は集計対象医療機関を表す

† JANIS参加 = 2018年1月～12月 集計対象医療機関数

‡ JANIS非参加 = (2017年 都道府県別医療機関数¶) - (2018年1月～12月 集計対象医療機関数)

病床数	2017年 都道府県別医療機関数¶	2018年1月～12月 集計対象医療機関数 (都道府県別医療機関数に占める割合)
900床以上	0	0 (-)
500～899床	2	1 (50%)
200～499床	26	4 (15.4%)
200床未満	112	3 (2.7%)
病床数不明	-	0 (-)
合計	140	8 (5.7%)

¶2017年医療施設（動態）調査を参照した。

(宮崎県)

公開情報 2018年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

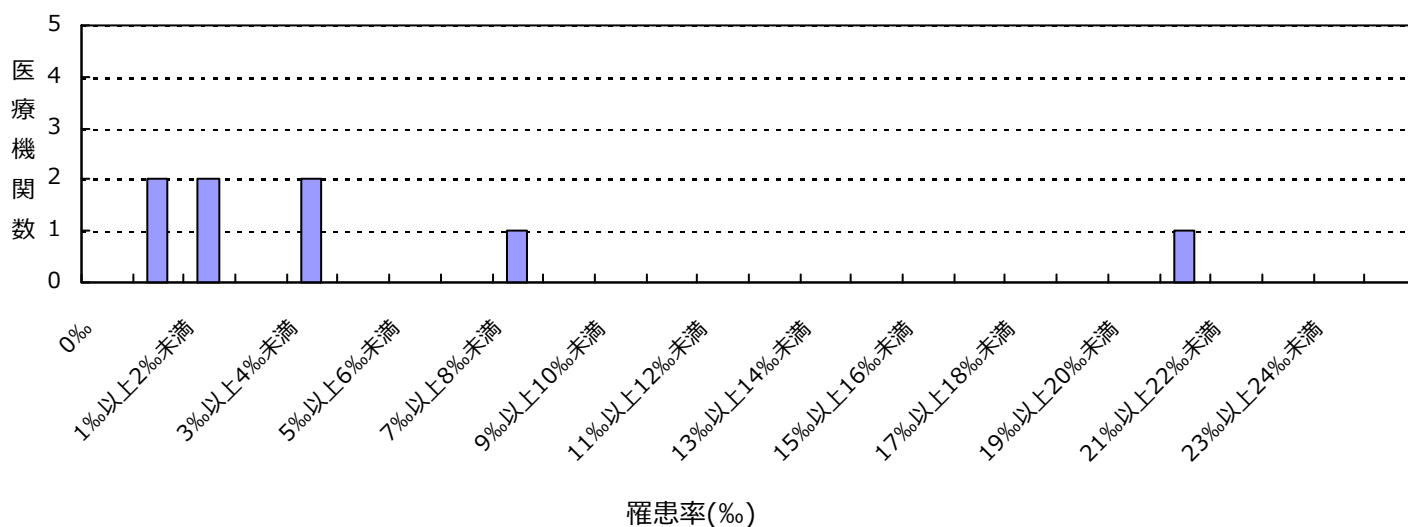


2. 新規感染症患者数と罹患率

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
MRSA	36,633	3	153	4.18%	0.56 2.45 20.51

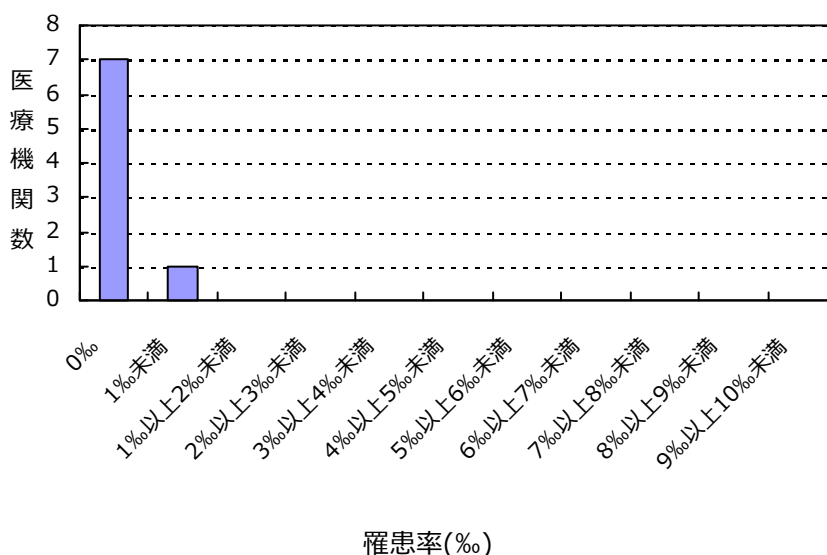
集計対象医療機関の罹患率(N=8)



ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
PRSP	36,633	0	8	0.22%	0.00 0.00 0.74

集計対象医療機関の罹患率(N=8)



(宮崎県)

公開情報 2018年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

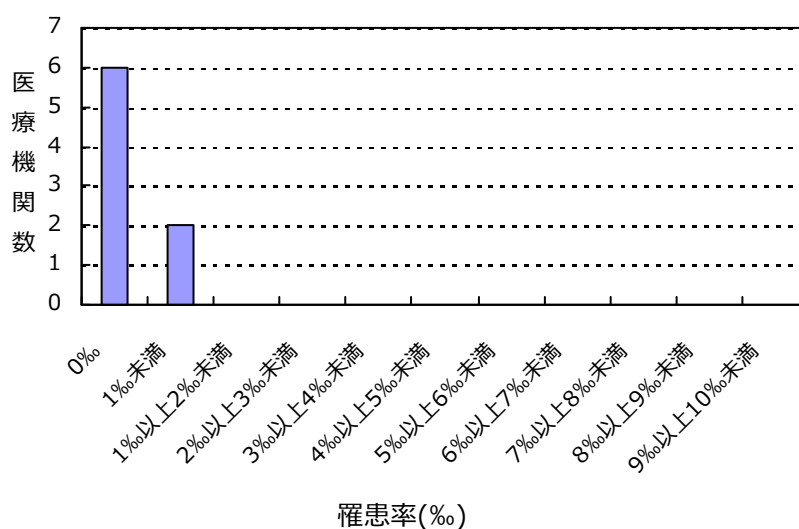


2. 新規感染症患者数と罹患率

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(‰)の分布
CRE	36,633	0	6	0.16‰	0.00 0.00 0.37

集計対象医療機関の罹患率(N=8)



(宮崎県)

公開情報 2018年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌(VRSA)感染症の報告はありませんでした

バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性緑膿菌(MDRP)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性アシネトバクター属(MDRA)感染症の報告はありませんでした

総入院患者数、新規感染症患者数、罹患率の説明

総入院患者数 = (対象期間の各月の新規入院患者数の合計) + (対象期間の一番初めの月の継続入院患者数)

感染症患者数 = (新規感染症患者数) + (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)

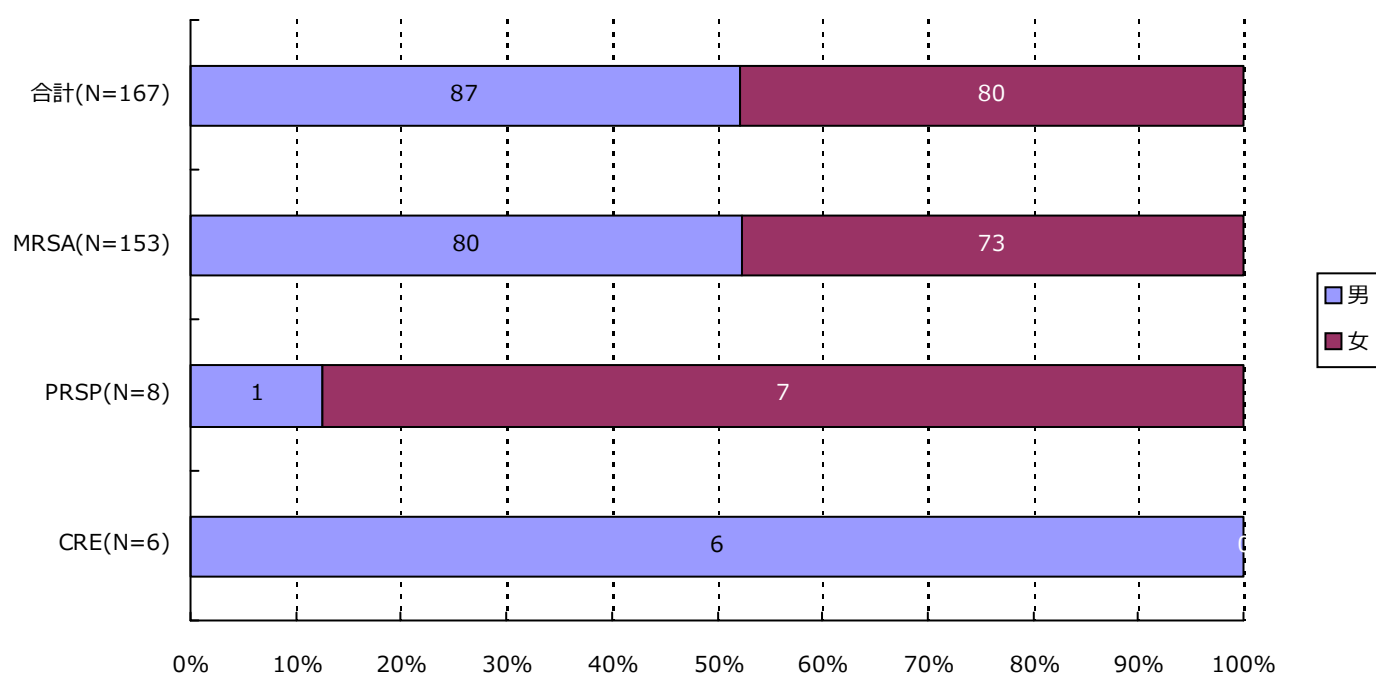
新規感染症患者数 = 対象期間の各月の新規感染症患者数の合計

継続感染症患者数 = 対象期間の一番初めの月より前に新規感染症患者とされ、対象期間の一番初めの月に改めて検査した際にも、継続的に同じ耐性菌に感染していた患者の数

罹患率 = (新規感染症患者数) ÷ ((総入院患者数) - (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)) × 1000

全体の罹患率 = (集計対象医療機関の新規感染症患者数合計) ÷ ((集計対象医療機関の総入院患者数合計) - (集計対象医療機関の対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数合計)) × 1000

3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
男	87 (52.1%)	80 (52.3%)	0 (-)	0 (-)	1 (12.5%)	0 (-)	0 (-)	6 (100.0%)
女	80 (47.9%)	73 (47.7%)	0 (-)	0 (-)	7 (87.5%)	0 (-)	0 (-)	0 (-)
合計	167	153	0	0	8	0	0	6

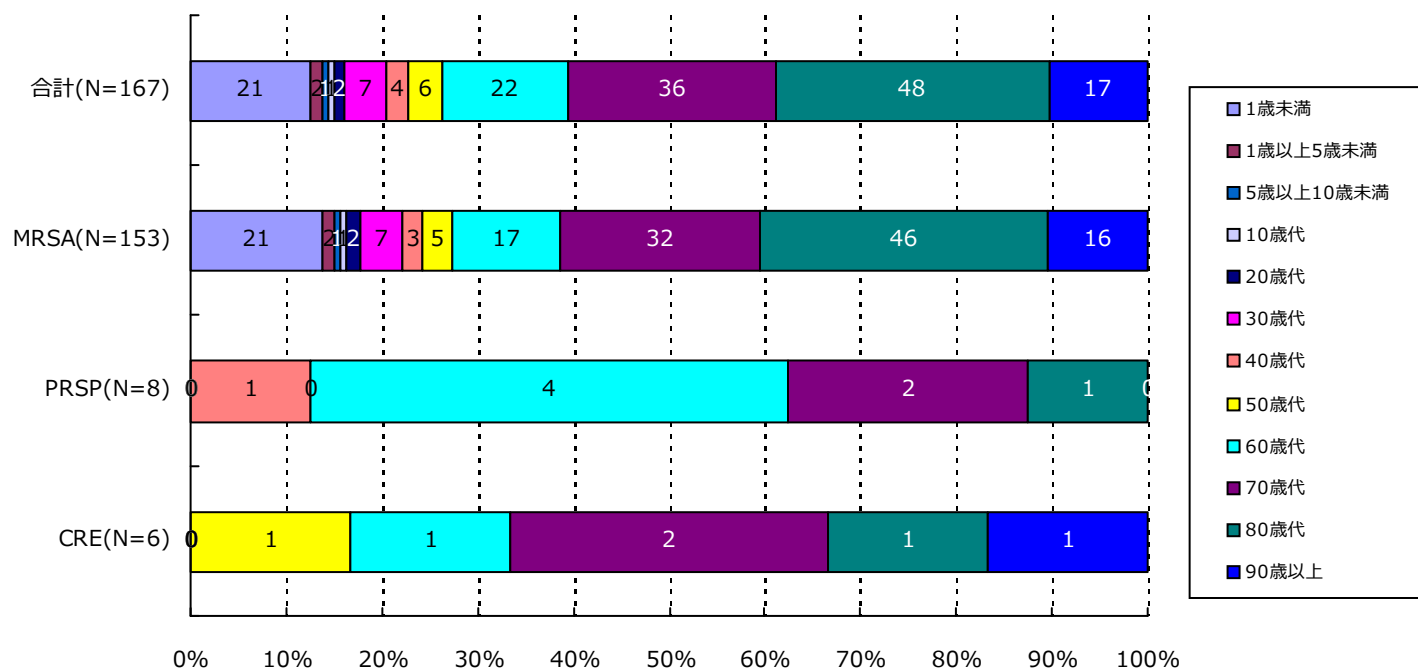
(宮崎県)

公開情報 2018年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

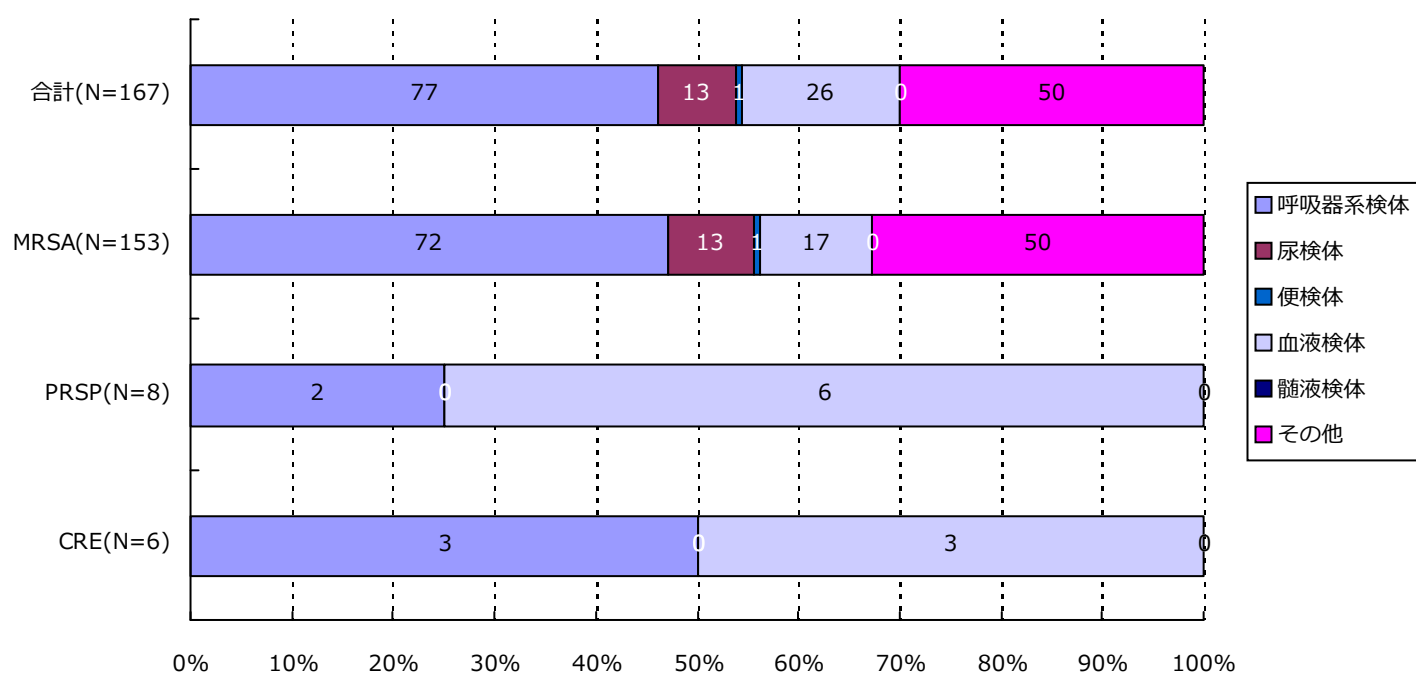


4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
1歳未満	21(12.6%)	21(13.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
1歳以上5歳未満	2(1.2%)	2(1.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
5歳以上10歳未満	1(0.6%)	1(0.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
10歳代	1(0.6%)	1(0.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
20歳代	2(1.2%)	2(1.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
30歳代	7(4.2%)	7(4.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
40歳代	4(2.4%)	3(2.0%)	0(-)	0(-)	1(12.5%)	0(-)	0(-)	0(-)
50歳代	6(3.6%)	5(3.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(16.7%)
60歳代	22(13.2%)	17(11.1%)	0(-)	0(-)	4(50.0%)	0(-)	0(-)	1(16.7%)
70歳代	36(21.6%)	32(20.9%)	0(-)	0(-)	2(25.0%)	0(-)	0(-)	2(33.3%)
80歳代	48(28.7%)	46(30.1%)	0(-)	0(-)	1(12.5%)	0(-)	0(-)	1(16.7%)
90歳以上	17(10.2%)	16(10.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(16.7%)
合計	167	153	0	0	8	0	0	6

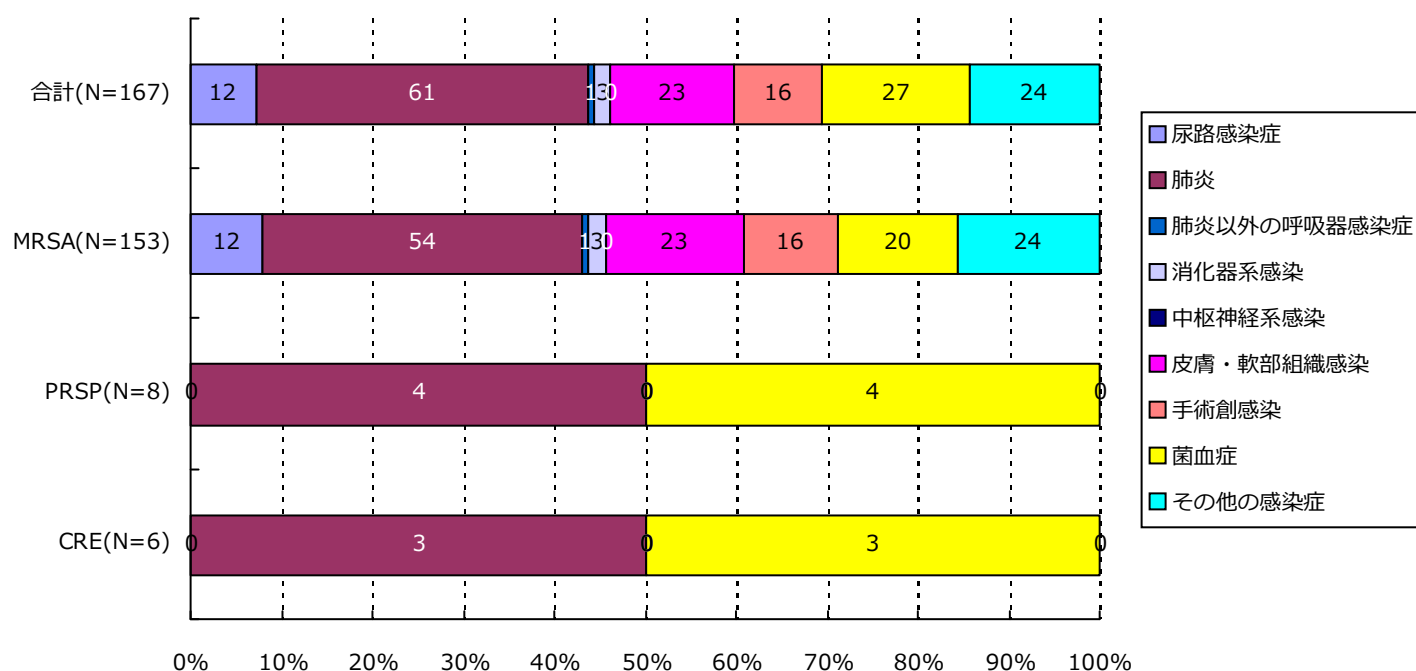
5. 耐性菌新規感染症患者の検体*内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
呼吸器系	77(46.1%)	72(47.1%)	0(-)	0(-)	2(25.0%)	0(-)	0(-)	3(50.0%)
尿検体	13(7.8%)	13(8.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
便検体	1(0.6%)	1(0.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
血液検体	26(15.6%)	17(11.1%)	0(-)	0(-)	6(75.0%)	0(-)	0(-)	3(50.0%)
髄液検体	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	50(29.9%)	50(32.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	167	153	0	0	8	0	0	6

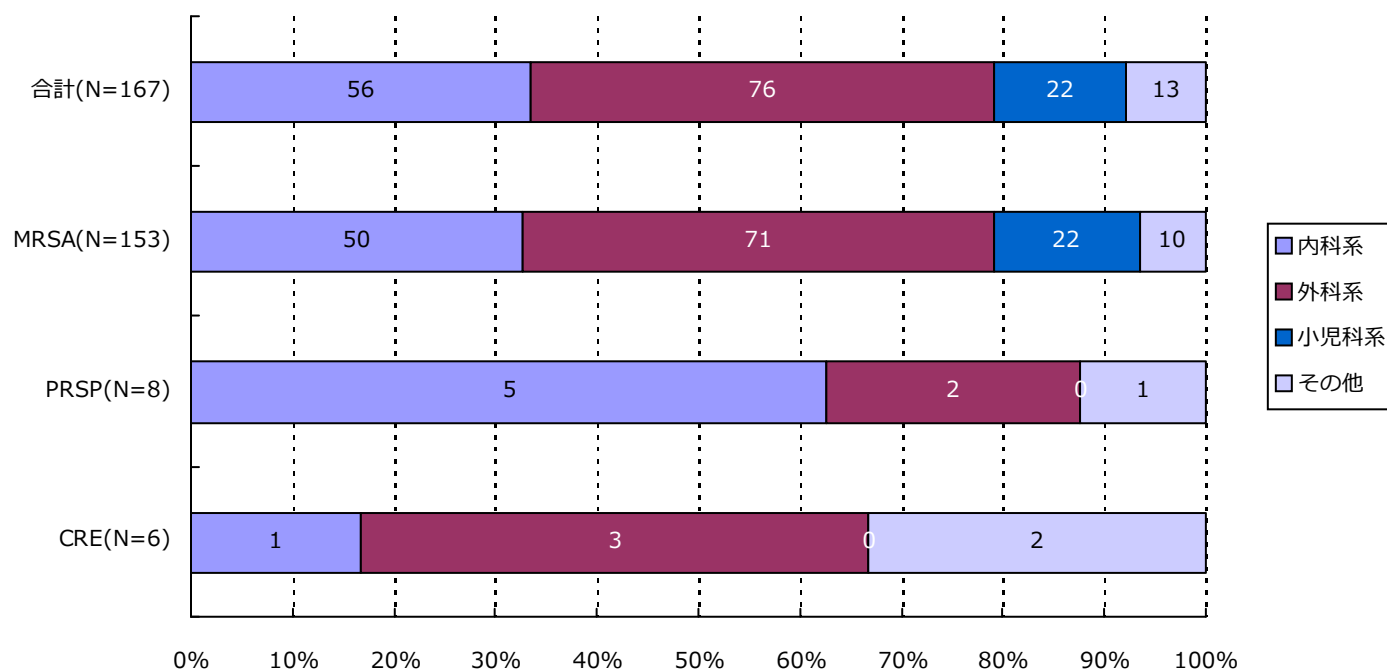
*検体区分については巻末の資料 1 を参照

6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
尿路	12(7.2%)	12(7.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
肺炎	61(36.5%)	54(35.3%)	0(-)	0(-)	4(50.0%)	0(-)	0(-)	3(50.0%)
肺炎以外	1(0.6%)	1(0.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
消化器系	3(1.8%)	3(2.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
中枢神経系	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
皮膚・軟部	23(13.8%)	23(15.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
手術創	16(9.6%)	16(10.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
菌血症	27(16.2%)	20(13.1%)	0(-)	0(-)	4(50.0%)	0(-)	0(-)	3(50.0%)
その他	24(14.4%)	24(15.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	167	153	0	0	8	0	0	6

7. 耐性菌新規感染症患者の診療科*別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
内科系	56(33.5%)	50(32.7%)	0(-)	0(-)	5(62.5%)	0(-)	0(-)	1(16.7%)
外科系	76(45.5%)	71(46.4%)	0(-)	0(-)	2(25.0%)	0(-)	0(-)	3(50.0%)
小児科系	22(13.2%)	22(14.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	13(7.8%)	10(6.5%)	0(-)	0(-)	1(12.5%)	0(-)	0(-)	2(33.3%)
合計	167	153	0	0	8	0	0	6

*診療科の内訳については巻末の資料2を参照

・資料 1

呼吸器系検体	喀出痰
	気管内採痰
	気管支洗浄液
	咽頭粘液
	鼻腔内
	口腔内
	生検材料(肺)
	胸水
	その他(呼吸器)
尿検体	自然排尿
	採尿カテーテル
	留置カテーテル
	カテーテル尿
便検体	糞便
血液検体	静脈血
	動脈血
髄液検体	髄液
その他	尿道分泌液
	膣分泌液
	胃・十二指腸液
	胆汁
	生検材料(消化管)
	腹水
	関節液
	その他

・資料 2

内科系	内科	外科系	外科	
	循環器内科		消化器外科	
	神経内科		肛門科	
	呼吸器内科		肝胆脾外科	
	消化器内科		心臓血管外科	
	胃腸科		内分泌外科	
	内分泌・代謝内科		呼吸器外科	
	腎臓内科		小児外科	
	糖尿病内科		小児循環器外科	
	アレルギー・膠原病内科		小児消化器外科	
	膠原病内科		産婦人科	
	アレルギー内科		産科	
	リウマチ内科		婦人科	
	血液内科		整形外科	
	感染症内科		美容外科	
その他	老人内科	眼科		
	心療内科	耳鼻咽喉科		
	性病科	気管食道科		
	神経科	泌尿器科		
	精神科	皮膚・泌尿器科		
	放射線科	皮膚科		
	総合診療部	脳神経外科		
	救急部	形成外科		
	救急・集中治療部	歯科口腔外科		
	集中治療部(ICU)	歯科		
	冠動脈疾患集中治療部(CCU)	小児歯科		
	内視鏡科	矯正歯科		
	透析科	口腔外科		
	理学療法・リハビリテーション科	手術部		
	理学療法科	移植・人工臓器科		
		リハビリテーション科	小児科系	小児科
		麻酔科		新生児科
その他		新生児集中治療部(NICU)		
		周産期センター		

資料 3 厚生労働省 院内感染対策サーベイランス 薬剤耐性菌 判定基準 (Ver.3.1)

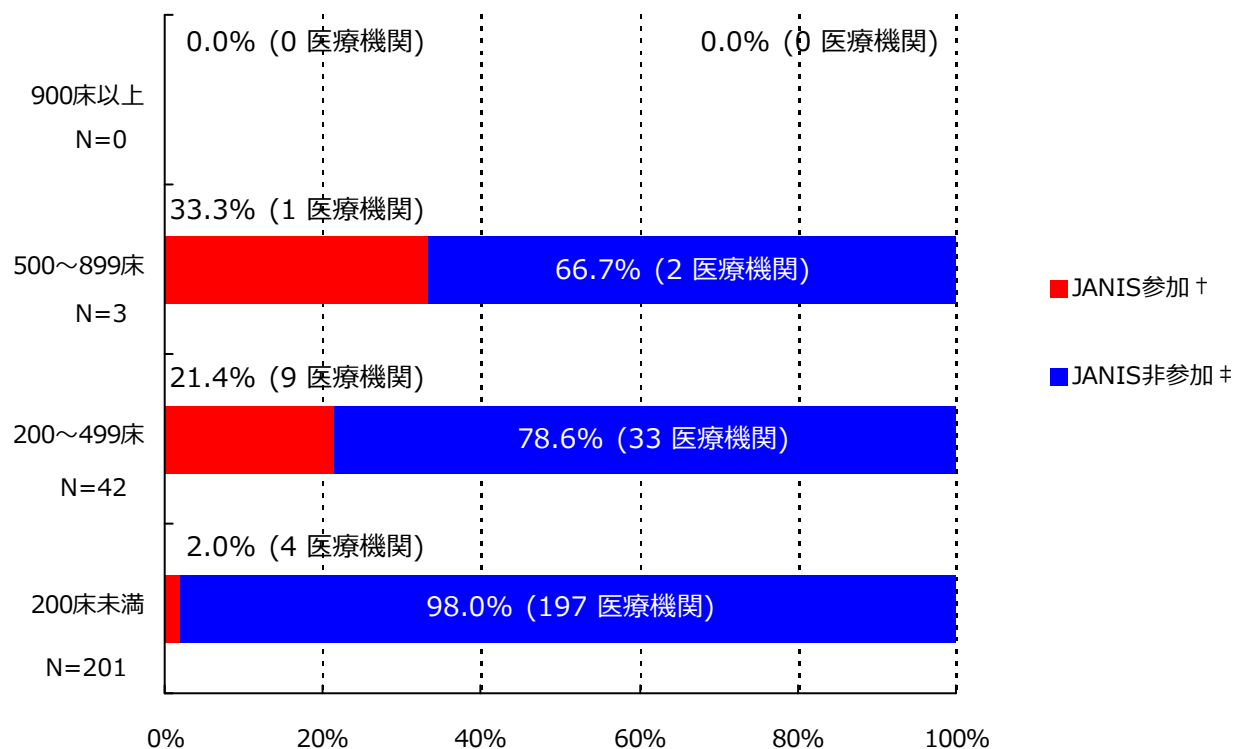
菌名	概要*	菌名コード	微量液体希釈法の基準*	ディスク拡散法の基準
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA)	MPIPC が “R” の <i>Staphylococcus aureus</i> (または CFX がディスク拡散法で “R”)、または選択培地で MRSA と確認された菌	1301、1303	MPIPC \geq 4 μ g/ml	MPIPC \leq 10mm または CFX \leq 21mm
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌 (VRSA)	VCM が微量液体希釈法で “R” の <i>Staphylococcus aureus</i>	1301、1303-1306	VCM \geq 16 μ g/ml	
バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)	下記のいずれかの条件を満たす <i>Enterococcus</i> spp. ・ VCM が微量液体希釈法で耐性 + ・ VCM がディスク拡散法で “R” ・ 選択培地で VRE と確認された菌 注) 種の同定が行われていない <i>Enterococcus</i> sp. は除く	1201、1202、1205、1206、1209、1210、1213-1217	VCM \geq 16 μ g/ml +	VCM \leq 14mm
ペニシリン耐性肺炎球菌 (PRSP)	PCG が微量液体希釈法で耐性 +、または MPIPC がディスク拡散法で “S 以外” の <i>Streptococcus pneumoniae</i>	1131	PCG \geq 0.125 μ g/ml +	MPIPC \leq 19mm または PCG が試薬会社の基準で “S 以外” (例 \leq 23mm) ‡
多剤耐性緑膿菌 (MDRP)	下記のすべての条件を満たす <i>Pseudomonas aeruginosa</i> ・ カルバペネム系 (IPM、MEPM のいずれか) が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (NFLX、OFLX、LVFX、LFLX、CPFX、GFLX のいずれか)	4001	IPM・MEPM \geq 16 μ g/ml + AMK \geq 32 μ g/ml + NFLX \geq 16 μ g/ml OFLX・LVFX・LFLX・GFLX \geq 8 μ g/ml CPFX \geq 4 μ g/ml	IPM・MEPM \leq 13mm + AMK \leq 14mm NFLX・OFLX \leq 12mm LVFX \leq 13mm、LFLX \leq 18mm CPFX \leq 15mm、GFLX \leq 14mm
多剤耐性アシネトバクター属 (MDRA)	下記のすべての条件を満たす <i>Acinetobacter</i> spp. ・ カルバペネム系が “R” (IPM、MEPM のいずれか) ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (LVFX、CPFX、GFLX のいずれか)	4400-4403	IPM・MEPM \geq 16 μ g/ml AMK \geq 32 μ g/ml + LVFX・GFLX \geq 8 μ g/ml CPFX \geq 4 μ g/ml	IPM・MEPM \leq 13mm AMK \leq 14mm LVFX \leq 13mm、GFLX \leq 14mm CPFX \leq 15mm
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌 (CRE)	下記のいずれかの条件を満たす腸内細菌科細菌 ・ MEPM が耐性 + ・ IPM が耐性 +、かつ CMZ が “R”	2000-2691、3150-3151	MEPM \geq 2 μ g/ml + IPM \geq 2 μ g/ml + かつ CMZ \geq 64 μ g/ml	MEPM \leq 22mm IPM \leq 22mm、かつ CMZ \leq 12mm

* 原則 S,I,R の判定は CLSI2012(M100-S22)に準拠

+ 感染症発生動向調査の基準に準拠

‡ PR(I)SP のスクリーニングにディスク拡散法で PCG を用いることは推奨されていないが、国内の現状を考慮し採用

1. データ提出医療機関*数(14医療機関)



*ここではデータ提出医療機関は集計対象医療機関を表す

† JANIS参加 = 2018年1月～12月 集計対象医療機関数

‡ JANIS非参加 = (2017年 都道府県別医療機関数¶) - (2018年1月～12月 集計対象医療機関数)

病床数	2017年 都道府県別医療機関数¶	2018年1月～12月 集計対象医療機関数 (都道府県別医療機関数に占める割合)
900床以上	0	0 (-)
500～899床	3	1 (33.3%)
200～499床	42	9 (21.4%)
200床未満	201	4 (2%)
病床数不明	-	0 (-)
合計	246	14 (5.7%)

¶2017年医療施設（動態）調査を参照した。

(鹿児島県)

公開情報 2018年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

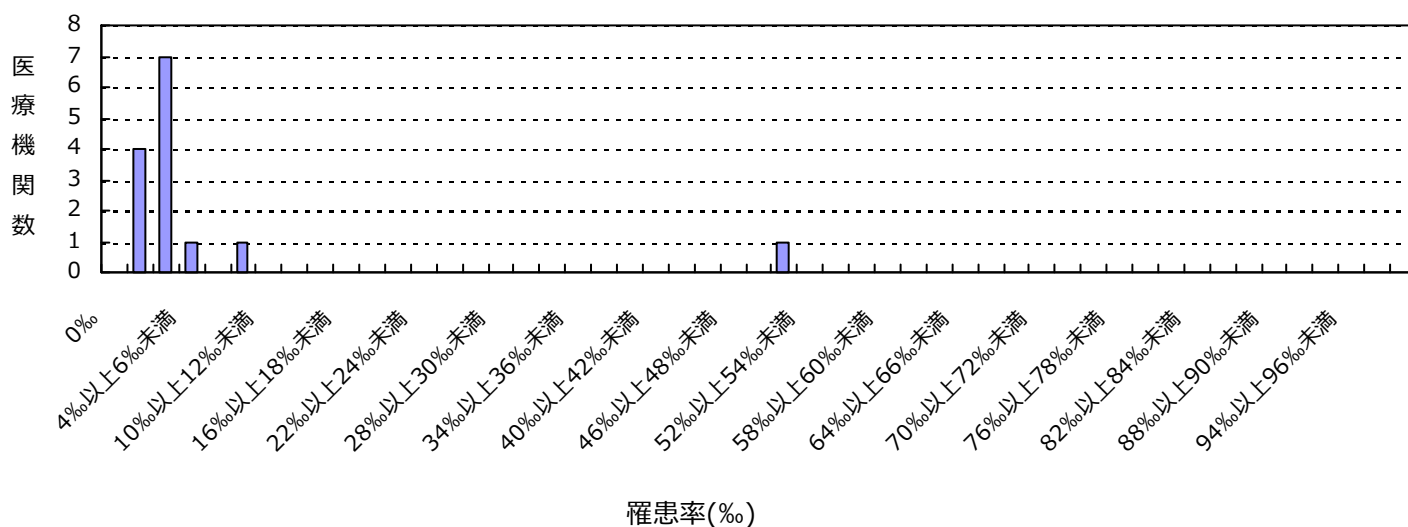


2. 新規感染症患者数と罹患率

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
MRSA	73,340	4	256	3.49%	0.25 2.59 51.08 -----

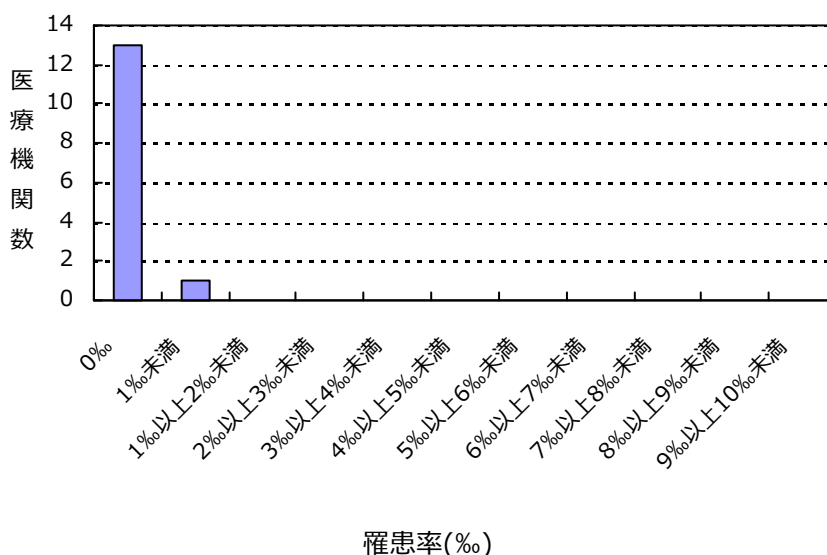
集計対象医療機関の罹患率(N=14)



ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
PRSP	73,340	0	5	0.07%	0.00 0.00 0.66 -----

集計対象医療機関の罹患率(N=14)



(鹿児島県)

公開情報 2018年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

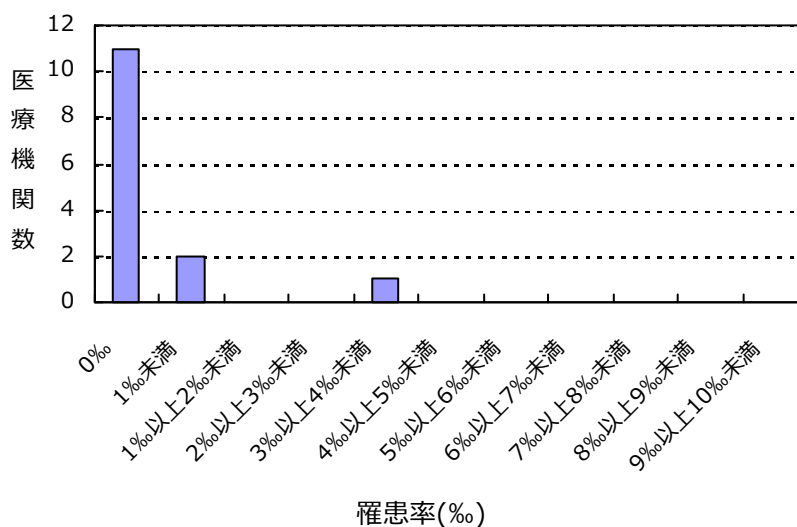


2. 新規感染症患者数と罹患率

多剤耐性緑膿菌(MDRP)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
MDRP	73,340	0	5	0.07%	0.00 0.00 3.39 H

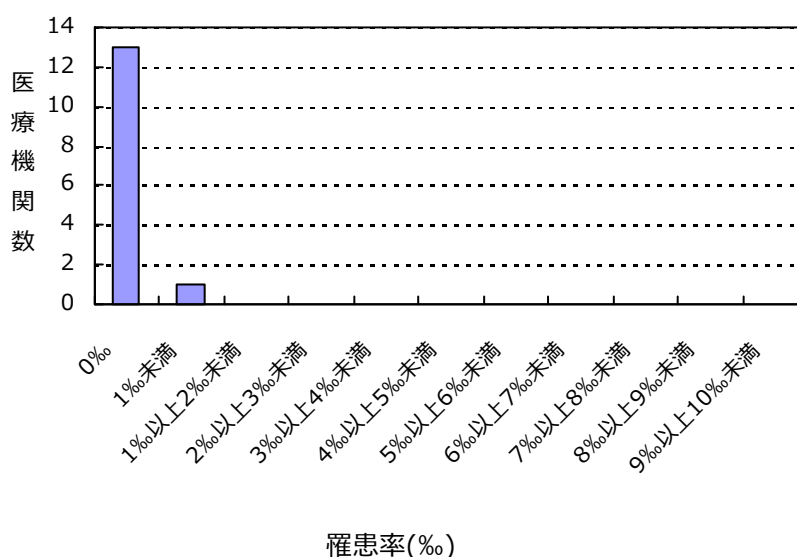
集計対象医療機関の罹患率(N=14)



多剤耐性アシネトバクター属(MDRA)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
MDRA	73,340	0	1	0.01%	0.00 0.00 0.07

集計対象医療機関の罹患率(N=14)



(鹿児島県)

公開情報 2018年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

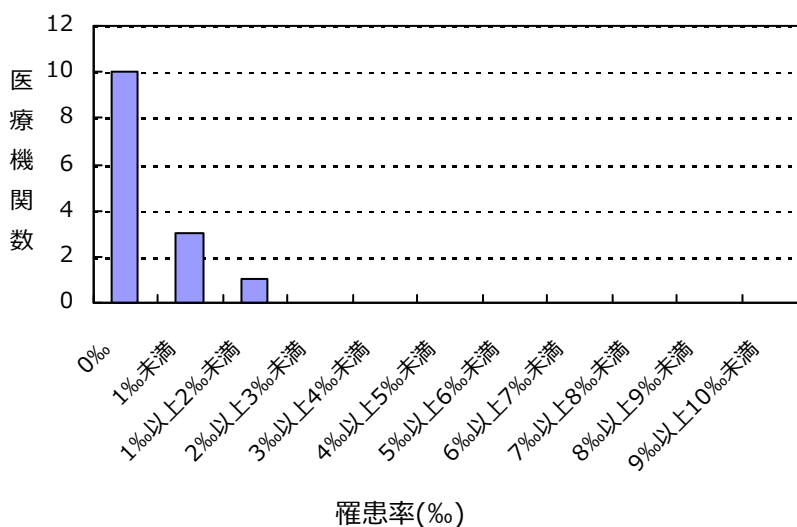


2. 新規感染症患者数と罹患率

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(‰)の分布
CRE	73,340	0	9	0.12‰	0.00 0.00 1.13

集計対象医療機関の罹患率(N=14)



(鹿児島県)

公開情報 2018年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌(VRSA)感染症の報告はありませんでした

バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)感染症の報告はありませんでした

総入院患者数、新規感染症患者数、罹患率の説明

総入院患者数 = (対象期間の各月の新規入院患者数の合計) + (対象期間の一番初めの月の継続入院患者数)

感染症患者数 = (新規感染症患者数) + (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)

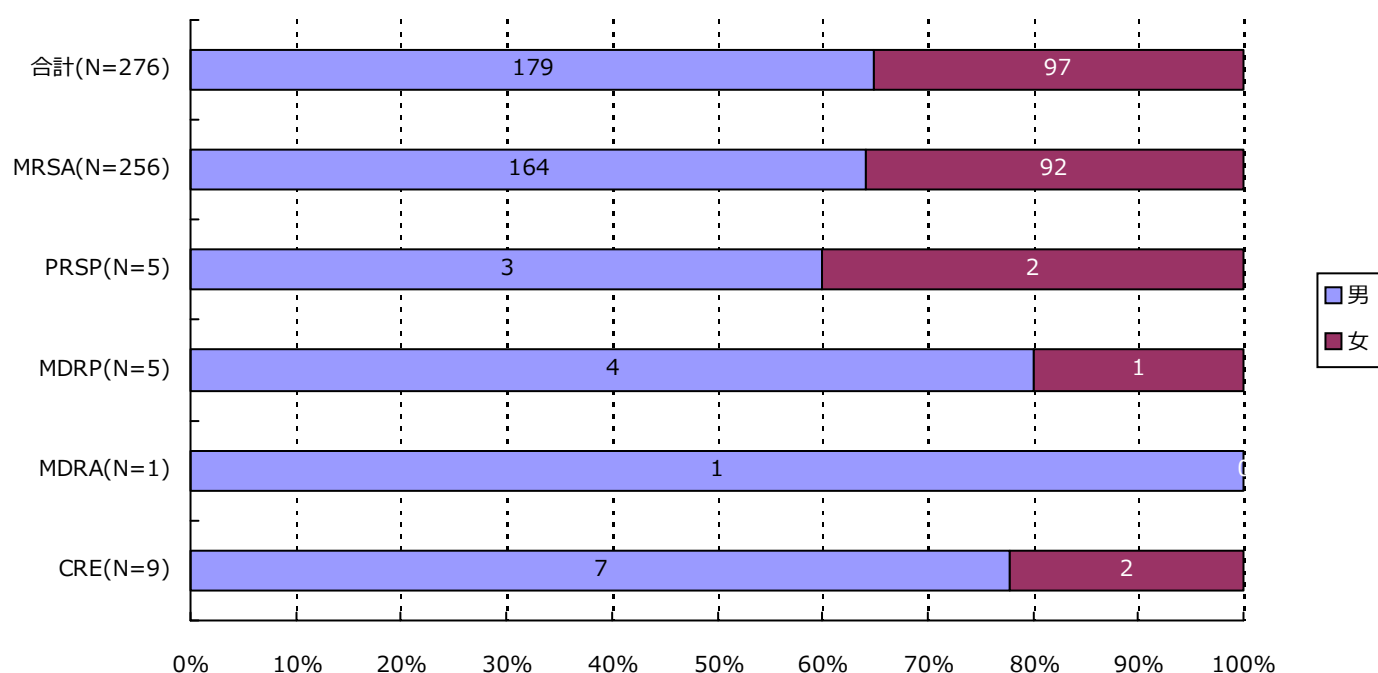
新規感染症患者数 = 対象期間の各月の新規感染症患者数の合計

継続感染症患者数 = 対象期間の一番初めの月より前に新規感染症患者とされ、対象期間の一番初めの月に改めて検査した際にも、継続的に同じ耐性菌に感染していた患者の数

罹患率 = (新規感染症患者数) ÷ ((総入院患者数) - (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)) × 1000

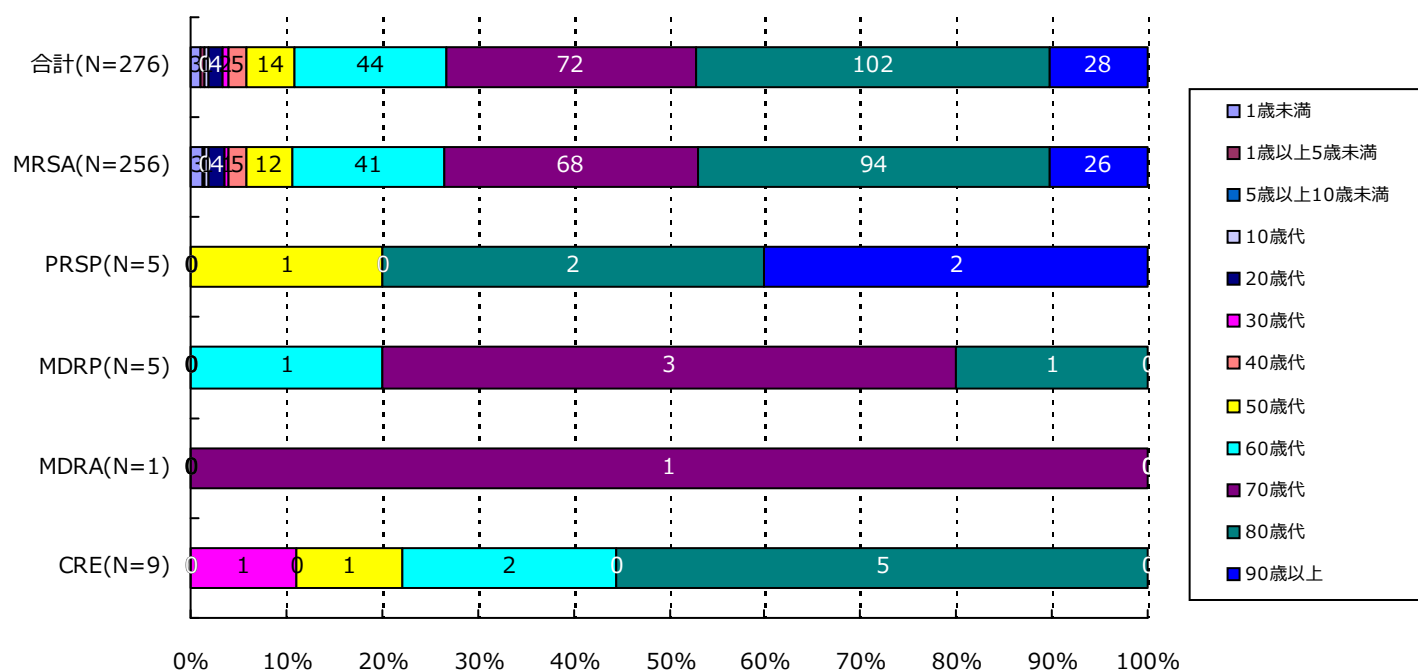
全体の罹患率 = (集計対象医療機関の新規感染症患者数合計) ÷ ((集計対象医療機関の総入院患者数合計) - (集計対象医療機関の対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数合計)) × 1000

3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳



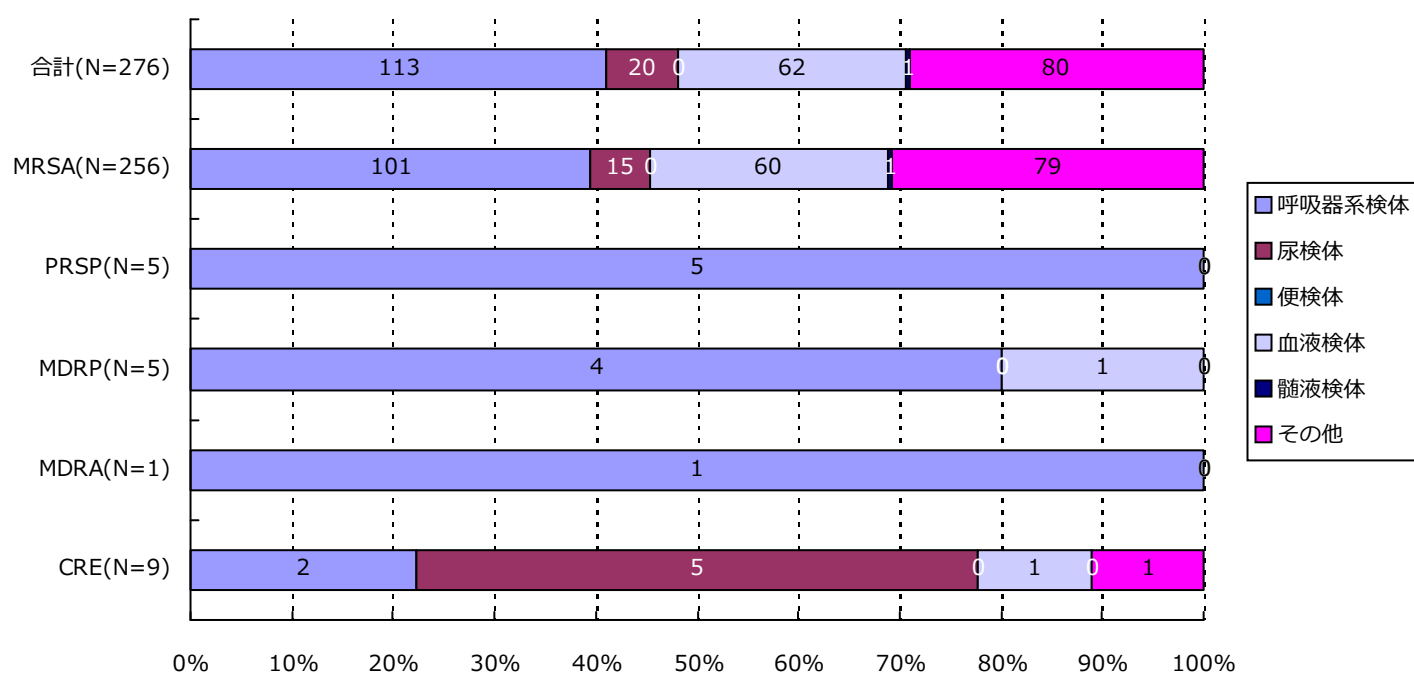
分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
男	179 (64.9%)	164 (64.1%)	0 (-)	0 (-)	3 (60.0%)	4 (80.0%)	1 (100.0%)	7 (77.8%)
女	97 (35.1%)	92 (35.9%)	0 (-)	0 (-)	2 (40.0%)	1 (20.0%)	0 (-)	2 (22.2%)
合計	276	256	0	0	5	5	1	9

4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
1歳未満	3(1.1%)	3(1.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
1歳以上5歳未満	1(0.4%)	1(0.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
5歳以上10歳未満	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
10歳代	1(0.4%)	1(0.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
20歳代	4(1.4%)	4(1.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
30歳代	2(0.7%)	1(0.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(11.1%)
40歳代	5(1.8%)	5(2.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
50歳代	14(5.1%)	12(4.7%)	0(-)	0(-)	1(20.0%)	0(-)	0(-)	1(11.1%)
60歳代	44(15.9%)	41(16.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(20.0%)	0(-)	2(22.2%)
70歳代	72(26.1%)	68(26.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	3(60.0%)	1(100.0%)	0(-)
80歳代	102(37.0%)	94(36.7%)	0(-)	0(-)	2(40.0%)	1(20.0%)	0(-)	5(55.6%)
90歳以上	28(10.1%)	26(10.2%)	0(-)	0(-)	2(40.0%)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	276	256	0	0	5	5	1	9

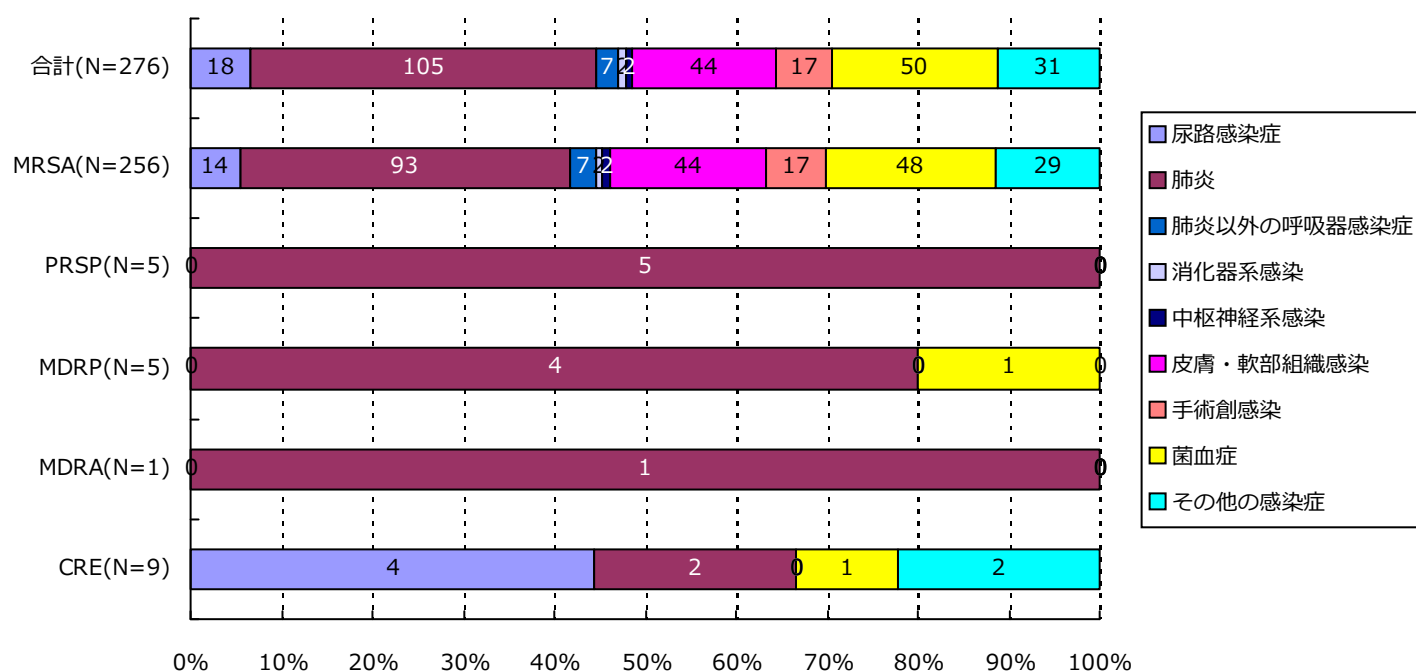
5. 耐性菌新規感染症患者の検体*内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
呼吸器系	113(40.9%)	101(39.5%)	0(-)	0(-)	5(100.0%)	4(80.0%)	1(100.0%)	2(22.2%)
尿検体	20(7.2%)	15(5.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	5(55.6%)
便検体	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
血液検体	62(22.5%)	60(23.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(20.0%)	0(-)	1(11.1%)
髄液検体	1(0.4%)	1(0.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	80(29.0%)	79(30.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(11.1%)
合計	276	256	0	0	5	5	1	9

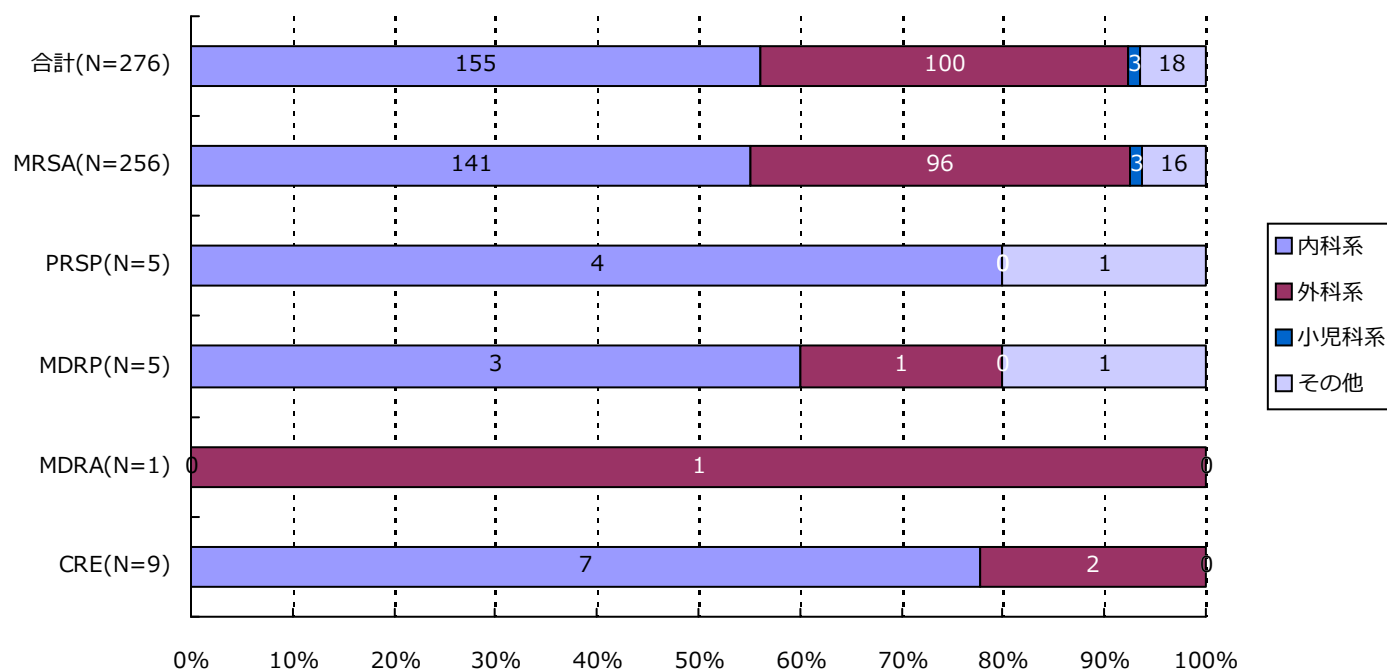
*検体区分については巻末の資料 1 を参照

6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
尿路	18(6.5%)	14(5.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	4(44.4%)
肺炎	105(38.0%)	93(36.3%)	0(-)	0(-)	5(100.0%)	4(80.0%)	1(100.0%)	2(22.2%)
肺炎以外	7(2.5%)	7(2.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
消化器系	2(0.7%)	2(0.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
中枢神経系	2(0.7%)	2(0.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
皮膚・軟部	44(15.9%)	44(17.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
手術創	17(6.2%)	17(6.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
菌血症	50(18.1%)	48(18.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(20.0%)	0(-)	1(11.1%)
その他	31(11.2%)	29(11.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	2(22.2%)
合計	276	256	0	0	5	5	1	9

7. 耐性菌新規感染症患者の診療科*別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
内科系	155(56.2%)	141(55.1%)	0(-)	0(-)	4(80.0%)	3(60.0%)	0(-)	7(77.8%)
外科系	100(36.2%)	96(37.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(20.0%)	1(100.0%)	2(22.2%)
小児科系	3(1.1%)	3(1.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	18(6.5%)	16(6.3%)	0(-)	0(-)	1(20.0%)	1(20.0%)	0(-)	0(-)
合計	276	256	0	0	5	5	1	9

*診療科の内訳については巻末の資料2を参照

・資料 1

呼吸器系検体	喀出痰
	気管内採痰
	気管支洗浄液
	咽頭粘液
	鼻腔内
	口腔内
	生検材料(肺)
	胸水
	その他(呼吸器)
尿検体	自然排尿
	採尿カテーテル
	留置カテーテル
	カテーテル尿
便検体	糞便
血液検体	静脈血
	動脈血
髄液検体	髄液
その他	尿道分泌液
	膣分泌液
	胃・十二指腸液
	胆汁
	生検材料(消化管)
	腹水
	関節液
	その他

・資料 2

内科系	内科
	循環器内科
	神経内科
	呼吸器内科
	消化器内科
	胃腸科
	内分泌・代謝内科
	腎臓内科
	糖尿病内科
	アレルギー・膠原病内科
	膠原病内科
	アレルギー内科
	リウマチ内科
	血液内科
	感染症内科
	老人内科
	心療内科
	その他
神経科	
精神科	
放射線科	
総合診療部	
救急部	
救急・集中治療部	
集中治療部(ICU)	
冠動脈疾患集中治療部(CCU)	
内視鏡科	
透析科	
理学療法・リハビリテーション科	
理学療法科	
リハビリテーション科	
麻酔科	
その他	

外科系	外科
	消化器外科
	肛門科
	肝胆脾外科
	心臓血管外科
	内分泌外科
	呼吸器外科
	小児外科
	小児循環器外科
	小児消化器外科
	産婦人科
	産科
	婦人科
	整形外科
	美容外科
	眼科
	耳鼻咽喉科
	気管食道科
	泌尿器科
	皮膚・泌尿器科
皮膚科	
脳神経外科	
形成外科	
歯科口腔外科	
歯科	
小児歯科	
矯正歯科	
口腔外科	
手術部	
移植・人工臓器科	

小児科系	小児科
	新生児科
	新生児集中治療部(NICU)
	周産期センター

・資料 3 厚生労働省 院内感染対策サーベイランス 薬剤耐性菌 判定基準 (Ver.3.1)

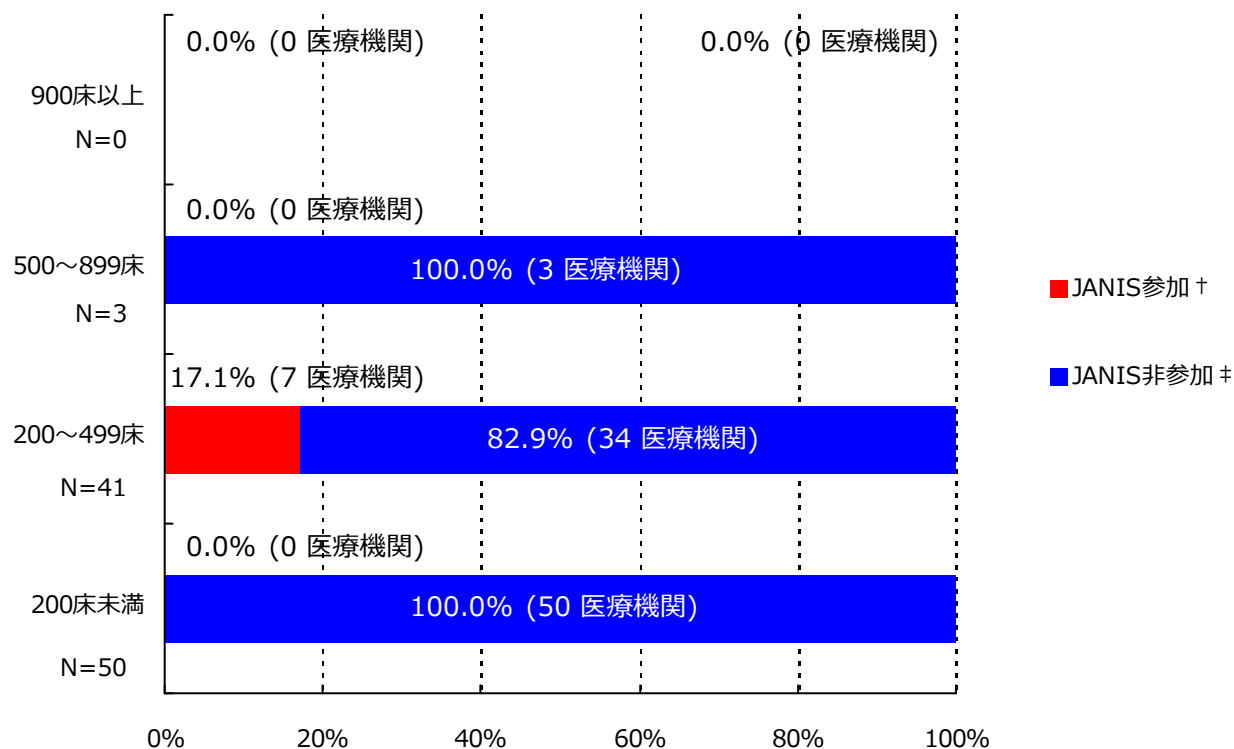
菌名	概要*	菌名コード	微量液体希釈法の基準*	ディスク拡散法の基準
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA)	MPIPC が “R” の <i>Staphylococcus aureus</i> (または CFX がディスク拡散法で “R”)、または選択培地で MRSA と確認された菌	1301、1303	MPIPC \geq 4 μ g/ml	MPIPC \leq 10mm または CFX \leq 21mm
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌 (VRSA)	VCM が微量液体希釈法で “R” の <i>Staphylococcus aureus</i>	1301、1303-1306	VCM \geq 16 μ g/ml	
バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)	下記のいずれかの条件を満たす <i>Enterococcus</i> spp. ・ VCM が微量液体希釈法で耐性 + ・ VCM がディスク拡散法で “R” ・ 選択培地で VRE と確認された菌 注) 種の同定が行われていない <i>Enterococcus</i> sp. は除く	1201、1202、1205、1206、1209、1210、1213-1217	VCM \geq 16 μ g/ml +	VCM \leq 14mm
ペニシリン耐性肺炎球菌 (PRSP)	PCG が微量液体希釈法で耐性 +、または MPIPC がディスク拡散法で “S 以外” の <i>Streptococcus pneumoniae</i>	1131	PCG \geq 0.125 μ g/ml +	MPIPC \leq 19mm または PCG が試薬会社の基準で “S 以外” (例 \leq 23mm) ‡
多剤耐性緑膿菌 (MDRP)	下記のすべての条件を満たす <i>Pseudomonas aeruginosa</i> ・ カルバペネム系 (IPM、MEPM のいずれか) が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (NFLX、OFLX、LVFX、LFLX、CPFX、GFLX のいずれか)	4001	IPM・MEPM \geq 16 μ g/ml + AMK \geq 32 μ g/ml + NFLX \geq 16 μ g/ml OFLX・LVFX・LFLX・GFLX \geq 8 μ g/ml CPFX \geq 4 μ g/ml	IPM・MEPM \leq 13mm + AMK \leq 14mm NFLX・OFLX \leq 12mm LVFX \leq 13mm、LFLX \leq 18mm CPFX \leq 15mm、GFLX \leq 14mm
多剤耐性アシネトバクター属 (MDRA)	下記のすべての条件を満たす <i>Acinetobacter</i> spp. ・ カルバペネム系が “R” (IPM、MEPM のいずれか) ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (LVFX、CPFX、GFLX のいずれか)	4400-4403	IPM・MEPM \geq 16 μ g/ml AMK \geq 32 μ g/ml + LVFX・GFLX \geq 8 μ g/ml CPFX \geq 4 μ g/ml	IPM・MEPM \leq 13mm AMK \leq 14mm LVFX \leq 13mm、GFLX \leq 14mm CPFX \leq 15mm
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌 (CRE)	下記のいずれかの条件を満たす腸内細菌科細菌 ・ MEPM が耐性 + ・ IPM が耐性 +、かつ CMZ が “R”	2000-2691、3150-3151	MEPM \geq 2 μ g/ml + IPM \geq 2 μ g/ml + かつ CMZ \geq 64 μ g/ml	MEPM \leq 22mm IPM \leq 22mm、かつ CMZ \leq 12mm

* 原則 S,I,R の判定は CLSI2012(M100-S22)に準拠

+ 感染症発生動向調査の基準に準拠

‡ PR(I)SP のスクリーニングにディスク拡散法で PCG を用いることは推奨されていないが、国内の現状を考慮し採用

1. データ提出医療機関*数(7医療機関)



*ここではデータ提出医療機関は集計対象医療機関を表す

† JANIS参加 = 2018年1月～12月 集計対象医療機関数

‡ JANIS非参加 = (2017年 都道府県別医療機関数¶) - (2018年1月～12月 集計対象医療機関数)

病床数	2017年 都道府県別医療機関数¶	2018年1月～12月 集計対象医療機関数 (都道府県別医療機関数に占める割合)
900床以上	0	0 (-)
500～899床	3	0 (0%)
200～499床	41	7 (17.1%)
200床未満	50	0 (0%)
病床数不明	-	0 (-)
合計	94	7 (7.4%)

¶2017年医療施設（動態）調査を参照した。

(沖縄県)

公開情報 2018年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)
院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

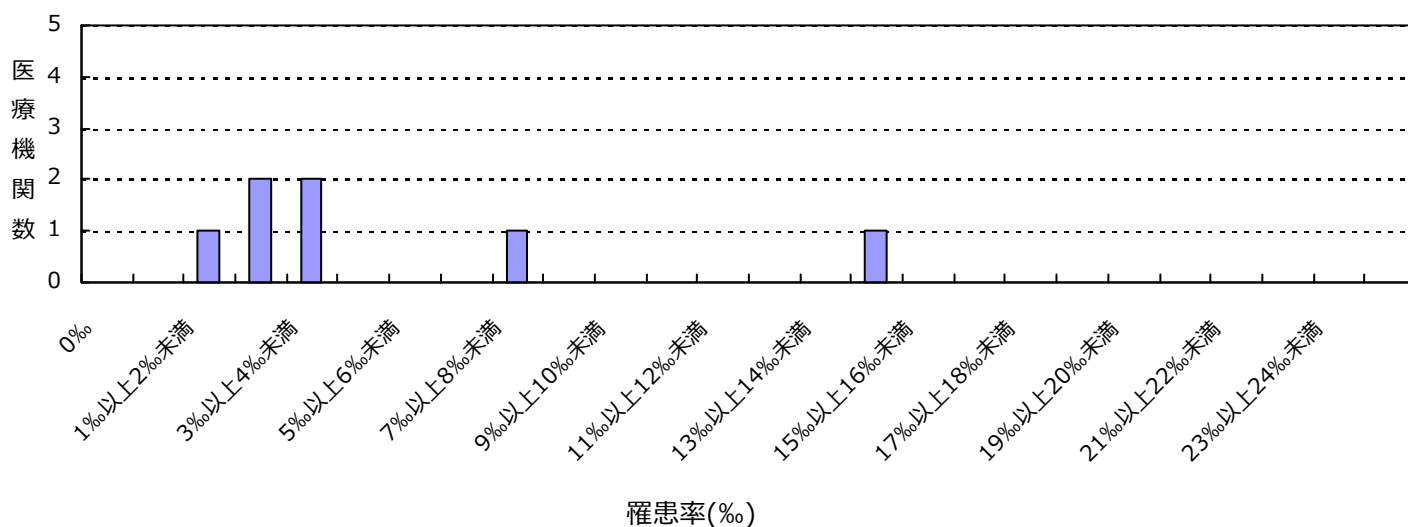


2. 新規感染症患者数と罹患率

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
MRSA	39,782	0	164	4.12%	1.24 3.45 14.39

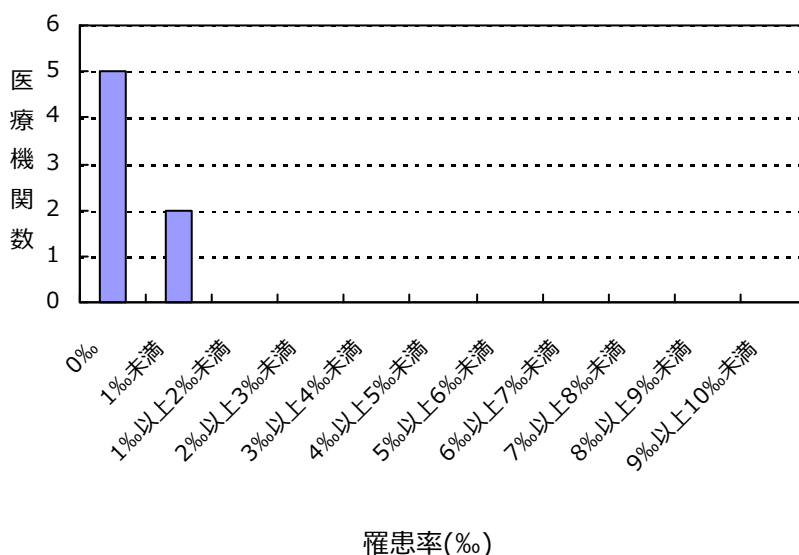
集計対象医療機関の罹患率(N=7)



バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
VRE	39,782	0	2	0.05%	0.00 0.00 0.12

集計対象医療機関の罹患率(N=7)



(沖縄県)

公開情報 2018年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)
院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

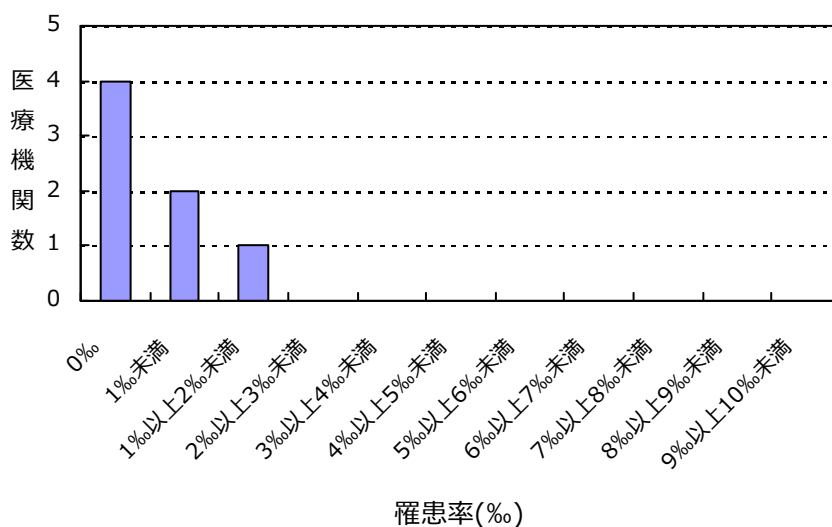


2. 新規感染症患者数と罹患率

ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(‰)の分布
PRSP	39,782	2	21	0.53‰	0.00 0.00 1.58

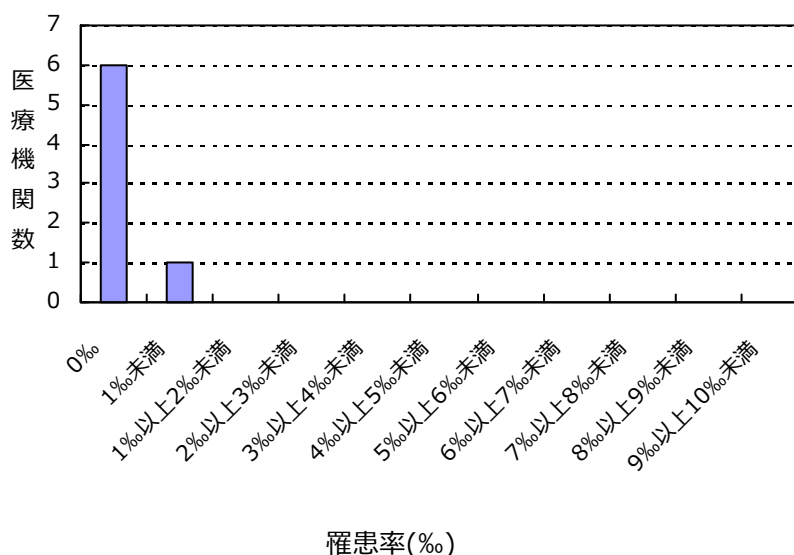
集計対象医療機関の罹患率(N=7)



多剤耐性緑膿菌(MDRP)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(‰)の分布
MDRP	39,782	0	2	0.05‰	0.00 0.00 0.24

集計対象医療機関の罹患率(N=7)



(沖縄県)

公開情報 2018年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

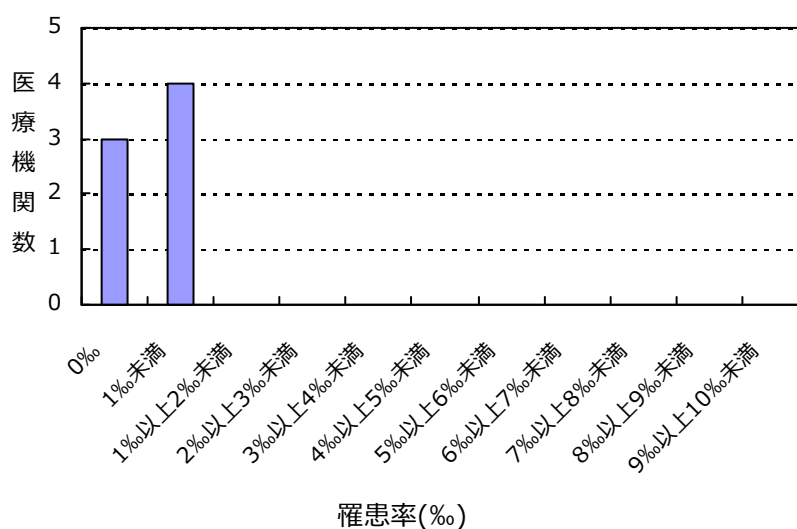


2. 新規感染症患者数と罹患率

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(‰)の分布
CRE	39,782	0	5	0.13‰	0.00 0.12 0.38

集計対象医療機関の罹患率(N=7)



(沖縄県)

公開情報 2018年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌(VRSA)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性アシネトバクター属(MDRA)感染症の報告はありませんでした

総入院患者数、新規感染症患者数、罹患率の説明

総入院患者数 = (対象期間の各月の新規入院患者数の合計) + (対象期間の一番初めの月の継続入院患者数)

感染症患者数 = (新規感染症患者数) + (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)

新規感染症患者数 = 対象期間の各月の新規感染症患者数の合計

継続感染症患者数 = 対象期間の一番初めの月より前に新規感染症患者とされ、対象期間の一番初めの月に改めて検査した際にも、継続的に同じ耐性菌に感染していた患者の数

罹患率 = (新規感染症患者数) ÷ ((総入院患者数) - (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)) × 1000

全体の罹患率 = (集計対象医療機関の新規感染症患者数合計) ÷ ((集計対象医療機関の総入院患者数合計) - (集計対象医療機関の対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数合計)) × 1000

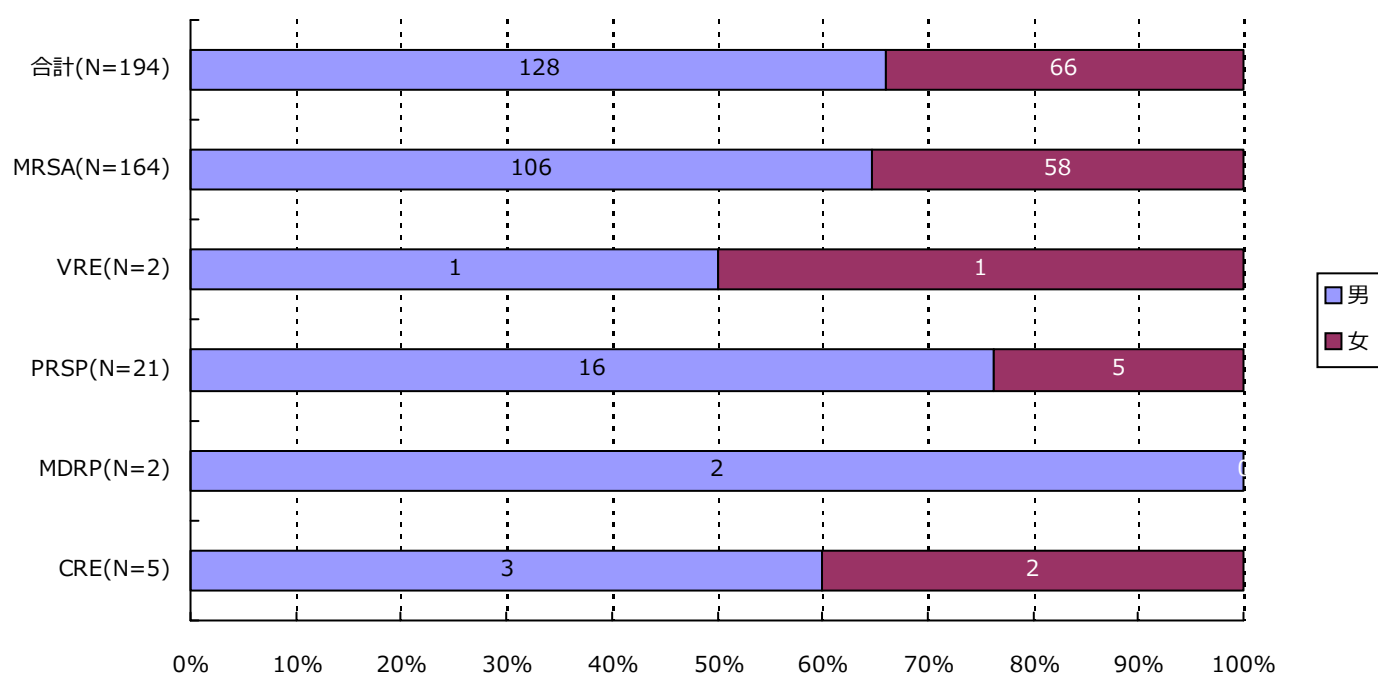
(沖縄県)

公開情報 2018年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
男	128 (66.0%)	106 (64.6%)	0 (-)	1 (50.0%)	16 (76.2%)	2 (100.0%)	0 (-)	3 (60.0%)
女	66 (34.0%)	58 (35.4%)	0 (-)	1 (50.0%)	5 (23.8%)	0 (-)	0 (-)	2 (40.0%)
合計	194	164	0	2	21	2	0	5

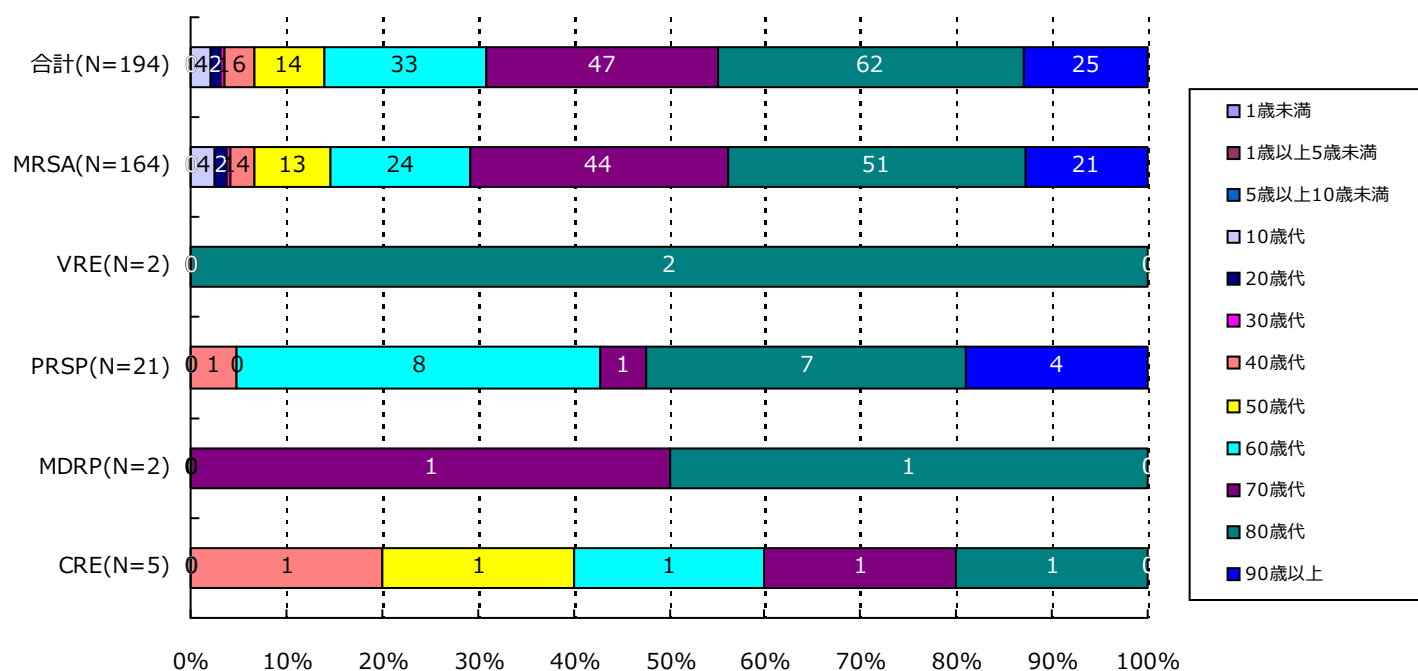
(沖縄県)

公開情報 2018年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

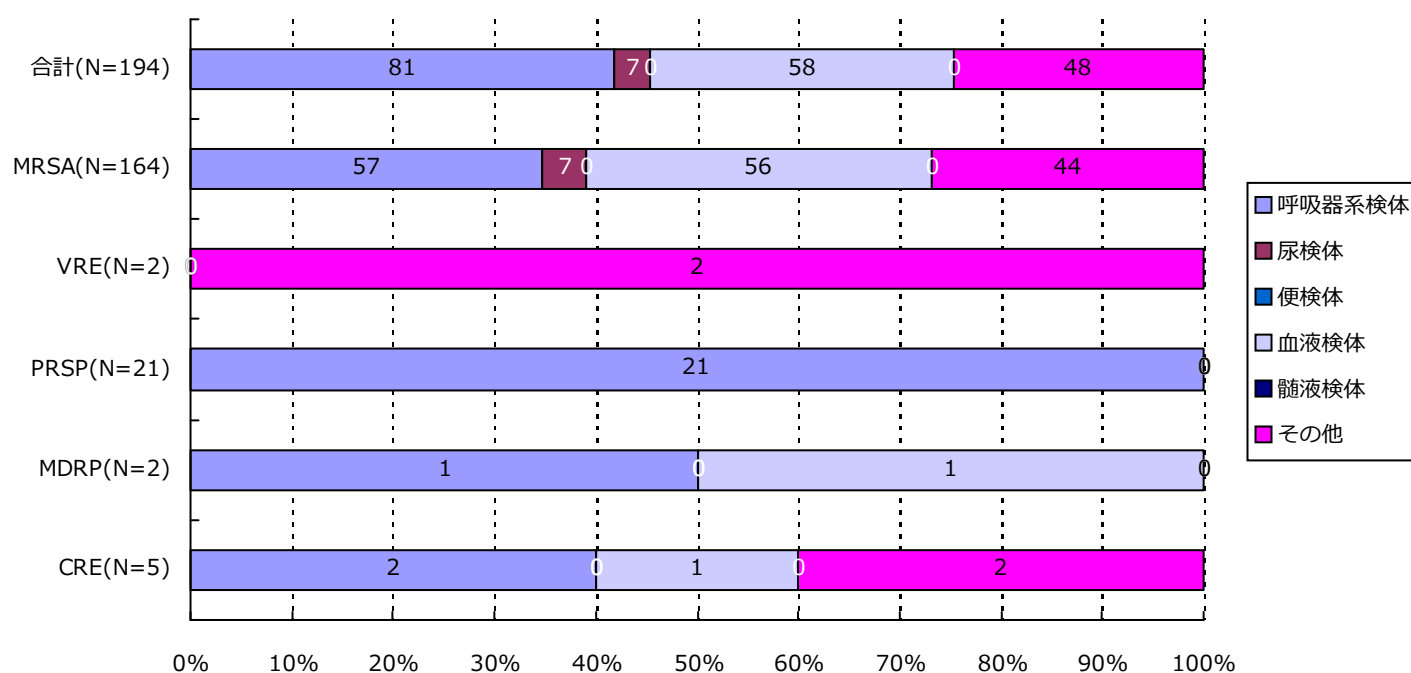


4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
1歳未満	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
1歳以上5歳未満	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
5歳以上10歳未満	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
10歳代	4(2.1%)	4(2.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
20歳代	2(1.0%)	2(1.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
30歳代	1(0.5%)	1(0.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
40歳代	6(3.1%)	4(2.4%)	0(-)	0(-)	1(4.8%)	0(-)	0(-)	1(20.0%)
50歳代	14(7.2%)	13(7.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(20.0%)
60歳代	33(17.0%)	24(14.6%)	0(-)	0(-)	8(38.1%)	0(-)	0(-)	1(20.0%)
70歳代	47(24.2%)	44(26.8%)	0(-)	0(-)	1(4.8%)	1(50.0%)	0(-)	1(20.0%)
80歳代	62(32.0%)	51(31.1%)	0(-)	2(100.0%)	7(33.3%)	1(50.0%)	0(-)	1(20.0%)
90歳以上	25(12.9%)	21(12.8%)	0(-)	0(-)	4(19.0%)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	194	164	0	2	21	2	0	5

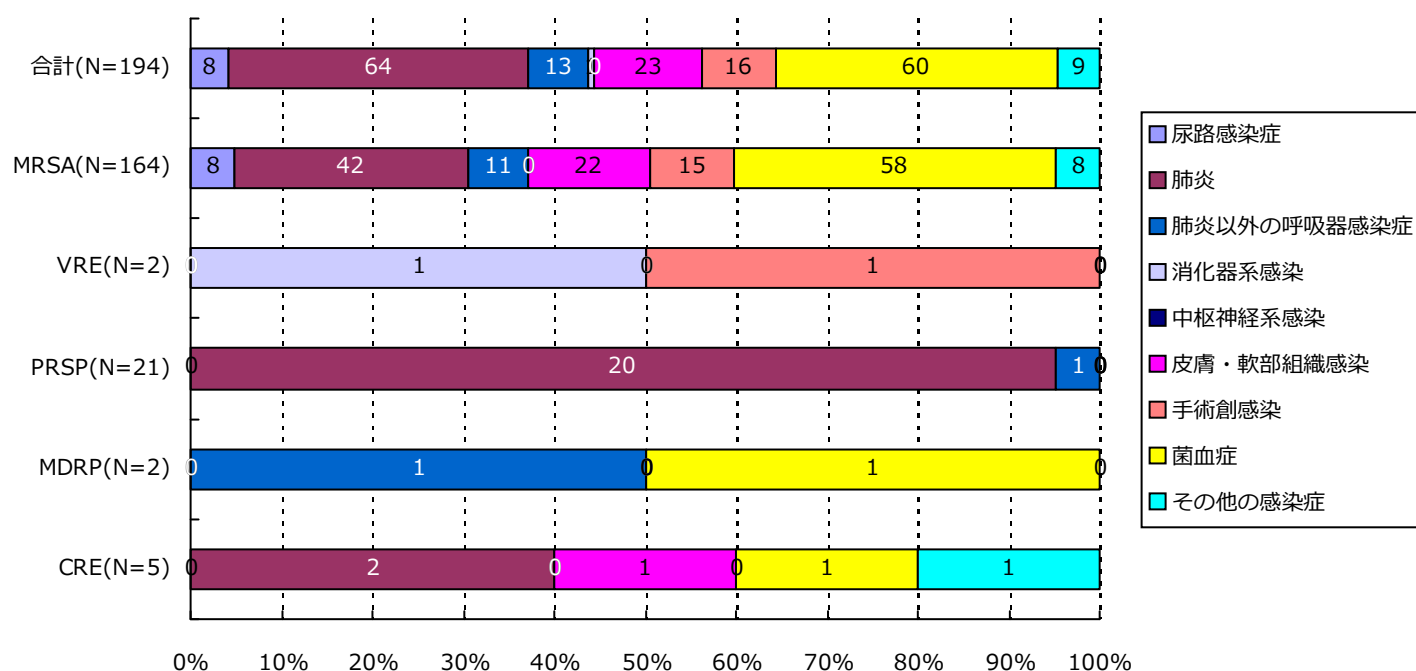
5. 耐性菌新規感染症患者の検体*内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
呼吸器系	81(41.8%)	57(34.8%)	0(-)	0(-)	21(100.0%)	1(50.0%)	0(-)	2(40.0%)
尿検体	7(3.6%)	7(4.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
便検体	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
血液検体	58(29.9%)	56(34.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(50.0%)	0(-)	1(20.0%)
髄液検体	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	48(24.7%)	44(26.8%)	0(-)	2(100.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	2(40.0%)
合計	194	164	0	2	21	2	0	5

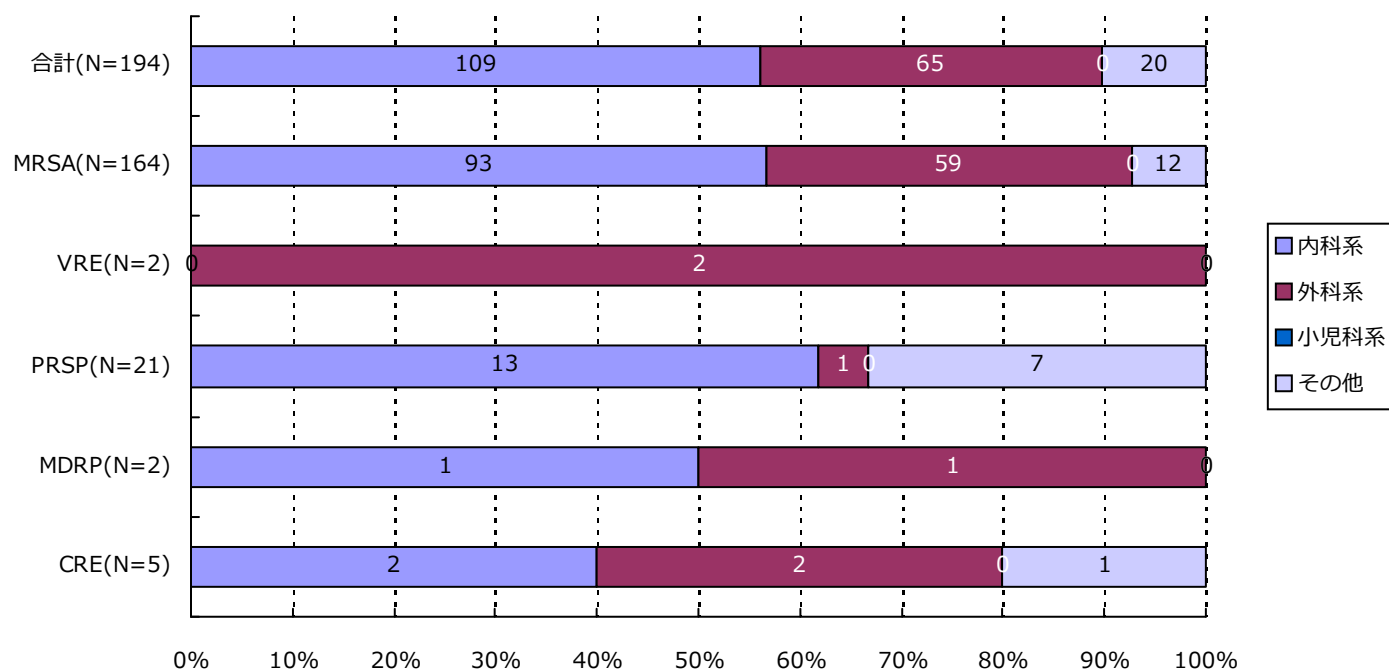
*検体区分については巻末の資料 1 を参照

6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
尿路	8(4.1%)	8(4.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
肺炎	64(33.0%)	42(25.6%)	0(-)	0(-)	20(95.2%)	0(-)	0(-)	2(40.0%)
肺炎以外	13(6.7%)	11(6.7%)	0(-)	0(-)	1(4.8%)	1(50.0%)	0(-)	0(-)
消化器系	1(0.5%)	0(-)	0(-)	1(50.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
中枢神経系	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
皮膚・軟部	23(11.9%)	22(13.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(20.0%)
手術創	16(8.2%)	15(9.1%)	0(-)	1(50.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
菌血症	60(30.9%)	58(35.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(50.0%)	0(-)	1(20.0%)
その他	9(4.6%)	8(4.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(20.0%)
合計	194	164	0	2	21	2	0	5

7. 耐性菌新規感染症患者の診療科*別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
内科系	109(56.2%)	93(56.7%)	0(-)	0(-)	13(61.9%)	1(50.0%)	0(-)	2(40.0%)
外科系	65(33.5%)	59(36.0%)	0(-)	2(100.0%)	1(4.8%)	1(50.0%)	0(-)	2(40.0%)
小児科系	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	20(10.3%)	12(7.3%)	0(-)	0(-)	7(33.3%)	0(-)	0(-)	1(20.0%)
合計	194	164	0	2	21	2	0	5

*診療科の内訳については巻末の資料2を参照

・資料 1

呼吸器系検体	喀出痰
	気管内採痰
	気管支洗浄液
	咽頭粘液
	鼻腔内
	口腔内
	生検材料(肺)
	胸水
	その他(呼吸器)
尿検体	自然排尿
	採尿カテーテル
	留置カテーテル
	カテーテル尿
便検体	糞便
血液検体	静脈血
	動脈血
髄液検体	髄液
その他	尿道分泌液
	膣分泌液
	胃・十二指腸液
	胆汁
	生検材料(消化管)
	腹水
	関節液
	その他

・資料 2

内科系	内科
	循環器内科
	神経内科
	呼吸器内科
	消化器内科
	胃腸科
	内分泌・代謝内科
	腎臓内科
	糖尿病内科
	アレルギー・膠原病内科
	膠原病内科
	アレルギー内科
	リウマチ内科
	血液内科
	感染症内科
	老人内科
	心療内科
	その他
神経科	
精神科	
放射線科	
総合診療部	
救急部	
救急・集中治療部	
集中治療部(ICU)	
冠動脈疾患集中治療部(CCU)	
内視鏡科	
透析科	
理学療法・リハビリテーション科	
理学療法科	
リハビリテーション科	
麻酔科	
その他	

外科系	外科
	消化器外科
	肛門科
	肝胆脾外科
	心臓血管外科
	内分泌外科
	呼吸器外科
	小児外科
	小児循環器外科
	小児消化器外科
	産婦人科
	産科
	婦人科
	整形外科
	美容外科
	眼科
	耳鼻咽喉科
	気管食道科
	泌尿器科
	皮膚・泌尿器科
皮膚科	
脳神経外科	
形成外科	
歯科口腔外科	
歯科	
小児歯科	
矯正歯科	
口腔外科	
手術部	
移植・人工臓器科	
小児科系	小児科
	新生児科
	新生児集中治療部(NICU)
	周産期センター

・資料 3 厚生労働省 院内感染対策サーベイランス 薬剤耐性菌 判定基準 (Ver.3.1)

菌名	概要*	菌名コード	微量液体希釈法の基準*	ディスク拡散法の基準
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA)	MPIPC が “R” の <i>Staphylococcus aureus</i> (または CFX がディスク拡散法で “R”)、または選択培地で MRSA と確認された菌	1301、1303	MPIPC \geq 4 μ g/ml	MPIPC \leq 10mm または CFX \leq 21mm
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌 (VRSA)	VCM が微量液体希釈法で “R” の <i>Staphylococcus aureus</i>	1301、1303-1306	VCM \geq 16 μ g/ml	
バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)	下記のいずれかの条件を満たす <i>Enterococcus</i> spp. ・ VCM が微量液体希釈法で耐性 + ・ VCM がディスク拡散法で “R” ・ 選択培地で VRE と確認された菌 注) 種の同定が行われていない <i>Enterococcus</i> sp. は除く	1201、1202、1205、1206、1209、1210、1213-1217	VCM \geq 16 μ g/ml +	VCM \leq 14mm
ペニシリン耐性肺炎球菌 (PRSP)	PCG が微量液体希釈法で耐性 +、または MPIPC がディスク拡散法で “S 以外” の <i>Streptococcus pneumoniae</i>	1131	PCG \geq 0.125 μ g/ml +	MPIPC \leq 19mm または PCG が試薬会社の基準で “S 以外” (例 \leq 23mm) ‡
多剤耐性緑膿菌 (MDRP)	下記のすべての条件を満たす <i>Pseudomonas aeruginosa</i> ・ カルバペネム系 (IPM、MEPM のいずれか) が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (NFLX、OFLX、LVFX、LFLX、CPFX、GFLX のいずれか)	4001	IPM・MEPM \geq 16 μ g/ml + AMK \geq 32 μ g/ml + NFLX \geq 16 μ g/ml OFLX・LVFX・LFLX・GFLX \geq 8 μ g/ml CPFX \geq 4 μ g/ml	IPM・MEPM \leq 13mm + AMK \leq 14mm NFLX・OFLX \leq 12mm LVFX \leq 13mm、LFLX \leq 18mm CPFX \leq 15mm、GFLX \leq 14mm
多剤耐性アシネトバクター属 (MDRA)	下記のすべての条件を満たす <i>Acinetobacter</i> spp. ・ カルバペネム系が “R” (IPM、MEPM のいずれか) ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (LVFX、CPFX、GFLX のいずれか)	4400-4403	IPM・MEPM \geq 16 μ g/ml AMK \geq 32 μ g/ml + LVFX・GFLX \geq 8 μ g/ml CPFX \geq 4 μ g/ml	IPM・MEPM \leq 13mm AMK \leq 14mm LVFX \leq 13mm、GFLX \leq 14mm CPFX \leq 15mm
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌 (CRE)	下記のいずれかの条件を満たす腸内細菌科細菌 ・ MEPM が耐性 + ・ IPM が耐性 +、かつ CMZ が “R”	2000-2691、3150-3151	MEPM \geq 2 μ g/ml + IPM \geq 2 μ g/ml + かつ CMZ \geq 64 μ g/ml	MEPM \leq 22mm IPM \leq 22mm、かつ CMZ \leq 12mm

* 原則 S,I,R の判定は CLSI2012(M100-S22)に準拠

+ 感染症発生動向調査の基準に準拠

‡ PR(I)SP のスクリーニングにディスク拡散法で PCG を用いることは推奨されていないが、国内の現状を考慮し採用